

**MultiCoder 300S2DC POS Printer**  
**LAN インターフェース対応**  
**OPOS-OCX ドライバ**  
**アプリケーションプログラマーズガイド**

**NECエンベデッドプロダクツ株式会社**

853-811067-008-A  
第3版

# 目次

<b>1. 概説</b>	<b>1</b>
1. 1. 本ドキュメント対象範囲	1
1. 2. OPOS コントロール概要	2
1. 3. 制限事項	5
1. 4. POS プリンタへの接続方法	7
<b>2. インストールについて</b>	<b>9</b>
2. 1. インストール条件	9
2. 2. インストール媒体	9
2. 3. インストール手順	10
インストーラによるインストール	10
手動インストール	15
2. 4. アンインストール手順	17
アンインストール	17
手動アンインストール	18
2. 5. インストールファイル一覧	19
2. 6. 設定プログラムの使用法について	21
<b>3. OPOS コントロール使用方法について</b>	<b>35</b>
3. 1. 共通	35
3. 2. POS プリンタ	35
3. 3. OPOS コントロール実装方法	36
<b>4. OPOS インターフェース仕様（プリンタ）</b>	<b>43</b>
4. 1. 一覧	43
4. 2. 印字データとエスケープシーケンス	51
4. 3. 共通プロパティ	58
BinaryConversion プロパティ R/W	58
CapCompareFirmwareVersion プロパティ	60
CapPowerReporting プロパティ	60
CapStatisticsReporting プロパティ	61
CapUpdateFirmware プロパティ	61
CapUpdateStatistics プロパティ	61
CheckHealthText プロパティ	61
Claimed プロパティ	61
ControlObjectDescription プロパティ	62
ControlObjectVersion プロパティ	62

DeviceDescription プロパティ .....	62
DeviceEnabled プロパティ R/W .....	63
DeviceName プロパティ .....	64
FreezeEvents プロパティ R/W .....	64
OpenResult プロパティ .....	65
OutputID プロパティ .....	65
PowerNotify プロパティ R/W .....	66
PowerState プロパティ .....	67
ResultCode プロパティ .....	68
ResultCodeExtended プロパティ .....	69
ServiceObjectDescription プロパティ .....	71
ServiceObjectVersion プロパティ .....	71
State プロパティ .....	71
<b>4. 4. 共通メソッド .....</b>	<b>72</b>
CheckHealth メソッド .....	72
ClaimDevice メソッド .....	73
ClearOutput メソッド .....	74
Close メソッド .....	74
CompareFirmwareVersion メソッド .....	75
DirectIO メソッド .....	76
Open メソッド .....	79
ReleaseDevice メソッド .....	80
ResetStatistics メソッド .....	80
RetrieveStatistics メソッド .....	80
UpdateFirmware メソッド .....	81
UpdateStatistics メソッド .....	82
<b>4. 5. 専用プロパティ .....</b>	<b>83</b>
AsyncMode プロパティ R/W .....	83
CapCharacterSet プロパティ .....	83
CapCoverSensor プロパティ .....	83
CapMapCharacterSet プロパティ .....	83
CapRec2Color プロパティ .....	84
CapRecBarcode プロパティ .....	84
CapRecBitmap プロパティ .....	84
CapRecBold プロパティ .....	84
CapRecCartridgeSensor プロパティ .....	84
CapRecColor プロパティ .....	85
CapRecDhigh プロパティ .....	85
CapRecDwide プロパティ .....	85
CapRecDwideDhigh プロパティ .....	85
CapRecEmptySensor プロパティ .....	85
CapRecItalic プロパティ .....	86
CapRecLeft90 プロパティ .....	86
CapRecMarkFeed プロパティ .....	86
CapRecNearEndSensor プロパティ .....	86
CapRecPageMode プロパティ .....	87

CapRecPapercut プロパティ .....	87
CapRecPresent プロパティ .....	87
CapRecRight90 プロパティ .....	87
CapRecRotate180 プロパティ .....	87
CapRecStamp プロパティ .....	88
CapRecUnderline プロパティ .....	88
CapTransaction プロパティ .....	88
CartridgeNotify プロパティ R/W .....	88
CharacterSet プロパティ R/W .....	89
CharacterSetList プロパティ .....	90
CoverOpen プロパティ .....	90
ErrorLevel プロパティ .....	90
ErrorStation プロパティ .....	90
ErrorString プロパティ .....	91
FlagWhenIdle プロパティ R/W .....	91
FontTypefaceList プロパティ .....	92
MapCharacterSet プロパティ R/W .....	92
MapMode プロパティ R/W .....	92
PageModeArea プロパティ .....	93
PageModeDescriptor プロパティ .....	93
PageModeHorizontalPosition プロパティ R/W .....	93
PageModePrintArea プロパティ R/W .....	93
PageModePrintDirection プロパティ R/W .....	93
PageModeStation プロパティ R/W .....	93
PageModeVerticalPosition プロパティ R/W .....	94
RecBarcodeRotationList プロパティ .....	94
RecBitmapRotationList プロパティ .....	94
RecCartridgeState プロパティ .....	95
RecCurrentCartridge プロパティ R/W .....	95
RecEmpty プロパティ .....	95
RecLetterQuality プロパティ R/W .....	96
RecLineChars プロパティ R/W .....	97
RecLineCharsList プロパティ .....	98
RecLineHeight プロパティ R/W .....	99
RecLineSpacing プロパティ R/W .....	100
RecLinesToPaperCut プロパティ .....	100
RecLineWidth プロパティ .....	101
RecNearEnd プロパティ .....	101
RecSidewaysMaxChars プロパティ .....	102
RecSidewaysMaxLines プロパティ .....	103
RotateSpecial プロパティ R/W .....	103
<b>4. 6. 専用メソッド .....</b>	<b>105</b>
BeginInsertion メソッド .....	105
BeginRemoval メソッド .....	105
ChangePrintSide メソッド .....	105
ClearPrintArea メソッド .....	105

CutPaper メソッド .....	106
EndInsertion メソッド .....	107
EndRemoval メソッド .....	107
MarkFeed メソッド .....	107
PageModePrint メソッド .....	107
PrintBarcode メソッド .....	108
PrintBitmap メソッド .....	122
PrintImmediate メソッド .....	124
PrintMemoryBitmap メソッド .....	125
PrintNormal メソッド .....	127
PrintTwoNormal メソッド .....	128
RotatePrint メソッド .....	129
SetBitmap メソッド .....	132
SetLogo メソッド .....	134
TransactionPrint メソッド .....	135
ValidateData メソッド .....	137
<b>4. 7. イベント .....</b>	<b>139</b>
DirectIOEvent イベント .....	139
ErrorEvent イベント .....	140
OutputCompleteEvent イベント .....	141
StatusUpdateEvent イベント .....	141
<b>5. OCXが使用するレジストリについて .....</b>	<b>142</b>
<b>5. 1. POS プリンタ(LAN インターフェース用) .....</b>	<b>143</b>
<b>5. 2. レジストリ項目の説明(POS プリンタ) .....</b>	<b>145</b>
<b>6. ログファイルについて .....</b>	<b>148</b>
<b>7. プリンタ複数台の使用について .....</b>	<b>150</b>
<b>8. プリンタの入れ替え .....</b>	<b>151</b>

# 1. 概説

---

MultiCoder 300S2DC POS プリンタ OPOS コントロールおよび、ドロワーOPOS コントロールは、NEC MultiCoder 300S2DC POS プリンタ（以下「MultiCoder 300S2DC」）、ならびにそれに接続されたドロワーを制御する、OPOS 1.10 POS プリンタデバイス、ドロワーデバイス準拠の OPOS コントロールです。MultiCoder 300S2DC OPOS コントロールの利用にあたっては、「OpenPOS for OLE Application Programmer's Guide 日本版仕様書 第 1.10 版」(OPOS-APG V1.10) も併せて参照ください。

なお、本書では、「OPOS コントロール」と「OPOS OCX」という表現を同じ意味で使用しています。

## 1. 1. 本ドキュメント対象範囲

本仕様書（アプリケーションプログラマーズガイド）では、MultiCoder 300S2DC OPOS コントロールを使用するアプリケーション開発者が主に参照することを目的とし、その為に必要な以下の内容を記述しています。

- ・ MultiCoder 300S2DC OPOS コントロールのインストール方法について
- ・ MultiCoder 300S2DCOPOS コントロールの使用方法について
- ・ MultiCoder 300S2DC OPOS コントロールの制限事項
- ・ MultiCoder 300S2DC OPOS コントロールのインターフェース（プロパティ／メソッド／イベント）の説明
- ・ MultiCoder 300S2DC OPOS コントロールの設定項目の説明

### （注意）

本仕様書（アプリケーションプログラマーズガイド）は、LAN インタフェースについて記載してあります。  
尚、LAN インタフェースのドロワは未サポートです。

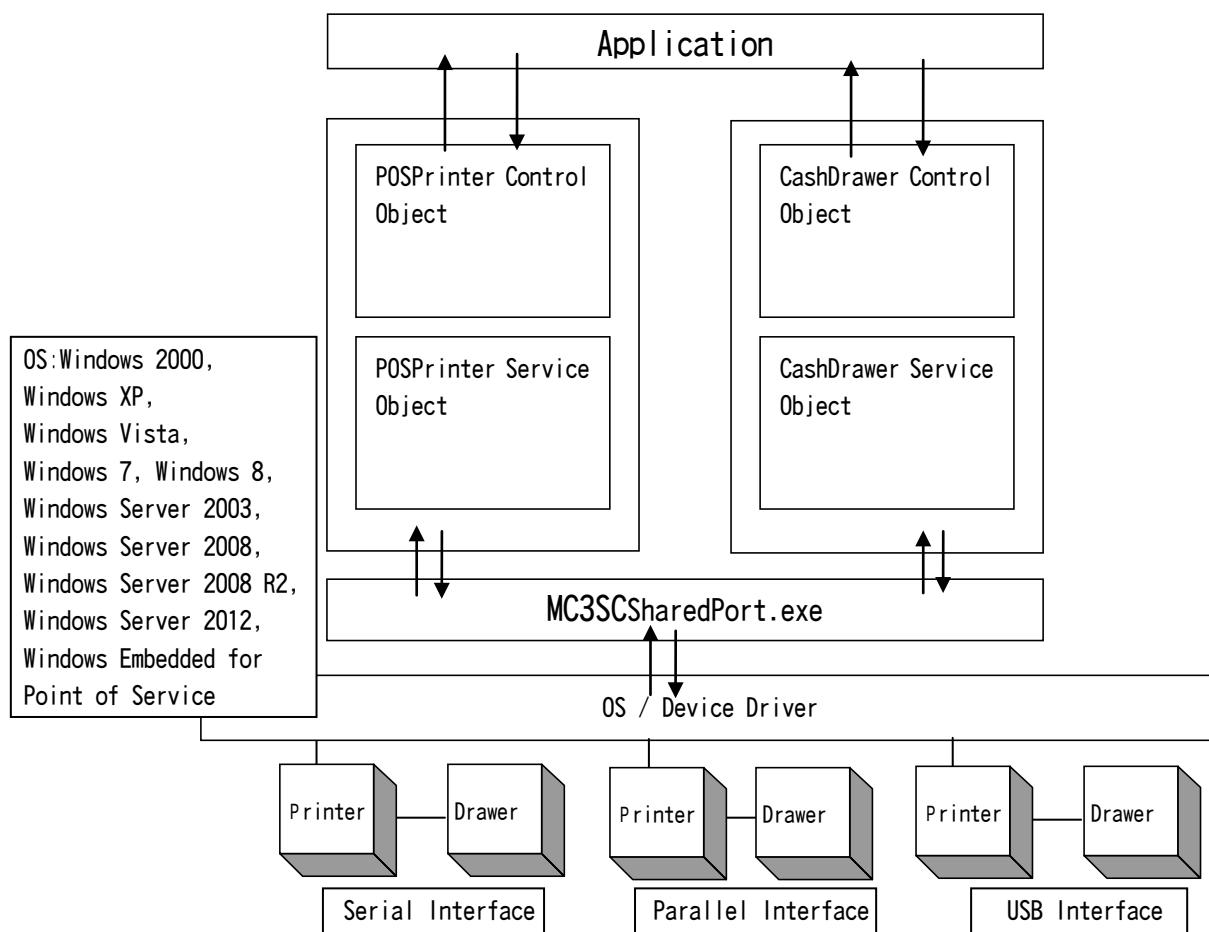
## 1. 2. OPOS コントロール概要

### (1) OPOS コントロール構造図

OPOS コントロールは ActiveX コントロール仕様に準拠します。プロパティ、メソッド、イベントをアプリケーションに提供します。コントロールはアプリケーションの実行時には UI 上には見えず、それを使用するアプリケーションだけが、メソッドおよびプロパティを通じて処理要求を行います。アプリケーションは、メソッドの戻り値とパラメータ、プロパティ、イベントを通じて、処理結果を受け取ります。本 OPOS コントロールはインプロセスサーバとして実装されています。

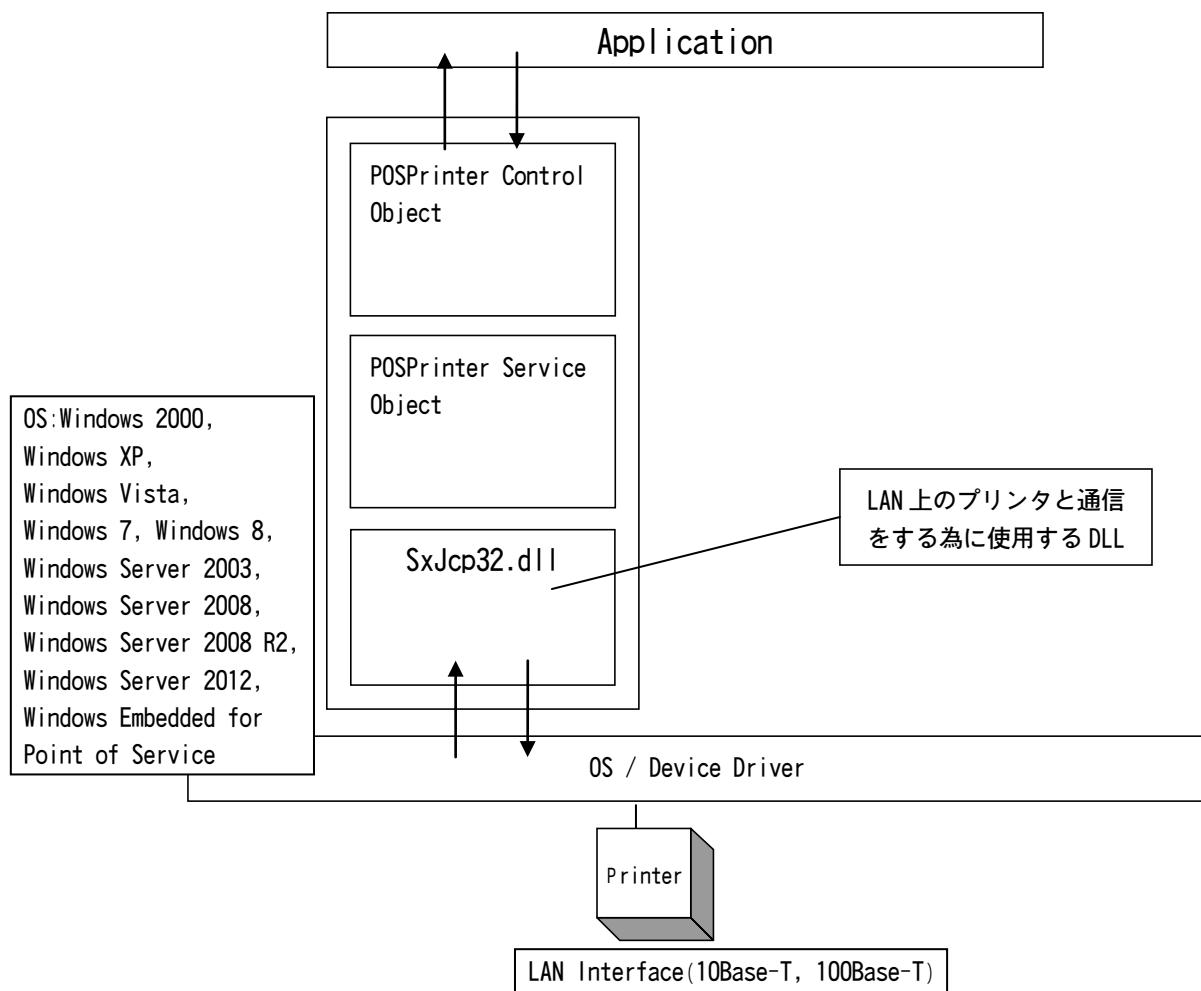
本 OCX ドライバは、シリアル・パラレル・USB・LAN インターフェースプリンタ並びに各々のプリンタに接続される最大 2 台のドロワーの制御をサポートします。複数のインターフェース、複数台のプリンタを設定することが可能です。シリアル・パラレル・USB インターフェースプリンタは最大 2 台、LAN インターフェースプリンタは最大 255 台までの同時接続が可能です。

#### ■シリアル・パラレル・USB インターフェースの場合



※本プリンタには、シリアルインターフェースモデル、及びパラレルインターフェースモデルはありません。

### ■LAN インターフェースの場合



尚、本 OCX は、STA(シングル・スレッド・アパートメント)のスレッドモデルにて動作します。  
複数のプロセスから動作をさせるには、レジストリの” Apartment” 設定値を” 1” に変更する必要があります。(5.2. レジストリ項目の説明(POS プリンタ)を参照)  
また、ネットワーク接続は 10Base-T, 100Base-T に対応しています。

## (2) 用語

①コントロールオブジェクト (Control Object ; CO)

デバイスクラスごとに、プロパティ、メソッド、イベントのセットをアプリケーションに提供するものです。本ドキュメントではこれらの API について説明します。

②サービスオブジェクト (Service Object ; SO)

コントロールオブジェクトより呼び出され OPOS が規定する機能を、各デバイス向けに実行するものです。

### 1. 3. 制限事項

以下の制限事項が存在します。

#### (1) POS プリンタ

##### 【OPOS 仕様上の制限】

OPOS POS プリンタデバイスの全てのインターフェースが提供されますが、以下の制限があります。

- ① ジャーナル印刷とジャーナルに関するプロパティ設定はサポートしません。
- ② スリップ印刷とスリップに関するプロパティ設定はサポートしません。
- ③ イタリック、カスタムカラー、網掛け印刷、カートリッジ機能はサポートしません。
- ④ レシート印刷の文字フォントの変更はサポートしません。(印字フォント変更)
- ⑤ 以下のメソッドは、イネーブル後はいずれも必ず OPOS\_E\_ILLEGAL(106) を返します。

PrintTwoNormal メソッド

BeginInsertion メソッド

EndInsertion メソッド

BeginRemoval メソッド

EndRemoval メソッド

ChangePrintSide メソッド

MarkFeed メソッド

ResetStatistics メソッド

RetrieveStatistics メソッド

UpdateStatistics メソッド

##### 【ケーブル抜き挿しによる動作の制限】

イネーブル状態での LAN ケーブル抜き挿しについて、以下の制限があります。

- ① PC に接続されている LAN ケーブルが抜けた場合の動作はサポートしません。  
イネーブル中に LAN ケーブルが抜けた場合、アプリケーションを再起動しても、OCX はイネーブルに失敗する可能性があります。
- ② プリンタに接続されている LAN ケーブルが抜けた場合、その後 OCX とプリンタの接続が復旧するまでの間にディセーブル動作を行った場合の動作はサポートしません。  
上記タイミングでディセーブルを行った場合、アプリケーションを再起動しても、OCX はイネーブルに失敗する可能性があります。  
印刷中に LAN ケーブルが外れた場合は、LAN ケーブルを接続しプリンタの電源を OFF/ON してください。

(2) POS プリンタ、ドロワー共通の制限事項

OPOS コントロールはスレッドセーフではありません。異なるスレッドからメソッド、プロパティにアクセスした場合、予期せぬ結果が発生する場合があります。マルチスレッド環境では、プロパティのアクセスやメソッドの実行はクリティカルセクション等の排他処理を実装して、同時にメソッド、プロパティが実行されないようにしてください。

(3) LAN インターフェース接続時の、Apartment="0" 設定について

レジストリ設定の Apartment の値を "0" に設定した場合、1 つのプロセス内から、複数のプリンタを制御することができます。ただし、2つ以上のプロセスで OCX (LAN インターフェース) を同時に Open した場合、予期せぬ結果が発生する場合があります。

(4) LAN インターフェース接続時の、Apartment="1" 設定について

レジストリ設定の Apartment の値を "1" に設定した場合、複数プロセスからプリンタを制御することができます。この時、使用するプリンタ (LAN インターフェース) の台数は、1 プロセス当たり 1 台以下であることが保障される必要があります。1 プロセス当たり 2 台以上のプリンタを使用した場合、予期せぬ結果が発生する場合があります。

以下に Apartment="1" が成立する構成、成立しない構成の例を示します。(OCX は全て LAN インターフェースを使用するとします)

**成立する例**

プロセス A・・・プリンタ OCX  
プロセス B・・・プリンタ OCX

**成立しない例 1**

プロセス A・・・プリンタ OCX、プリンタ OCX  
プロセス B・・・プリンタ OCX  
(プロセス A にプリンタ OCX が2つ存在する)

## 1. 4. POS プリンタへの接続方法

POS プリンタの設定は以下の設定(編みかけ部分)で動作するようにしてください。その他の値は、レジストリによる設定やインストーラに付属する設定プログラムにて設定可能な値です。

メモリスイッチ

No	設定項目	詳細設定項目
1	電源 ON 通知	※レジストリから設定
2	受信バッファ	4K バイト
3	受信エラー処理	?印字
4	自動改行	常時無効
5	DSR(#6)リセット	無効
6	INT(#25)リセット	無効
7	INT(#31)リセット	有効
8	電源投入時の頭出し	実行する
9	カバーオープン	自動復帰エラー
10	BUSY 条件	バッファフル

カスタマイズバリュー

No	設定項目	詳細設定項目
1	ユーザーNV メモリ	192K バイト
2	グラフィックメモリ	384K バイト
3	用紙幅	※設定プログラムから設定
4	印字濃度	※設定プログラムから設定
5	印字色	※設定プログラムから設定
6	2 色時の黒濃度	※設定プログラムから設定
7	印字速度	※設定プログラムから設定
8	低消費電力	※設定プログラムから設定

**その他**

No	設定項目	詳細設定項目
1	ACK パルス幅	$1\mu s$
2	カッタ動作	※設定プログラムから設定
3	BM センサ	※設定プログラムから設定
4	頭出し時のカット	※設定プログラムから設定
5	エラー復帰	コマンド
6	プロセス ID	標準
7	PNE 検出	※設定プログラムから設定
8	フォント B	モード 1
9	USB	プリンタ
10	ブザー	プリンタ設定に従う
11	印刷 MODE	逐次

## 2. インストールについて

MultiCoder 300S2DC OPOS コントロールのインストールは下記手順で行います。

### 2. 1. インストール条件

#### 動作環境

- ・ OS : Windows 2000, Windows XP, Windows Vista, Windows 7, Windows 8, Windows Server 2003, Windows Server 2008, Windows Server 2008 R2, Windows Server 2012, Windows Embedded for Point of Service(以下 WEPOS と略記)
- ・ CPU : Pentium3 550MHz 以上を推奨
- ・ RAM : 128MB 以上を推奨
- ・ HDD : 2MB 以上の空き領域

※ WEPOS にインストールする場合は、WEPOS 最少構成に "Local Management Support" がインストールされていることが前提となります。

### 2. 2. インストール媒体

インストール媒体は CD として提供されます。

CD の構成は以下のようになります。

¥ (ルート)

¥OPOS\_LAN¥MC53S2DC¥jp

¥APS . . . . 本マニュアルが入っているフォルダです。

¥Driver . . . . インストーラのルートフォルダです。

¥Disk1 . . . . Setup.exe, Setup64.exe

¥Driver\_x32 . . . . ドライバ(32bit)のフォルダです。

※32bitOS でインストーラを使用しない場合に使用します。

¥Driver\_x64 . . . . ドライバ(64bit)のフォルダです。

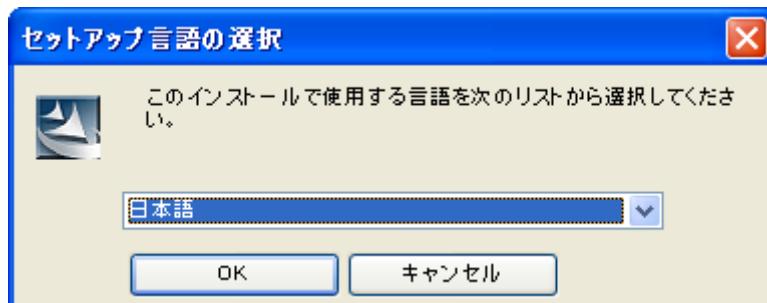
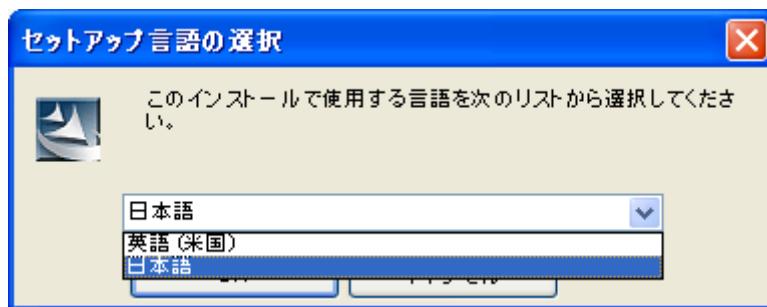
※64bitOS でインストーラを使用しない場合に使用します。

※設定プログラムは英語版のみとなります。

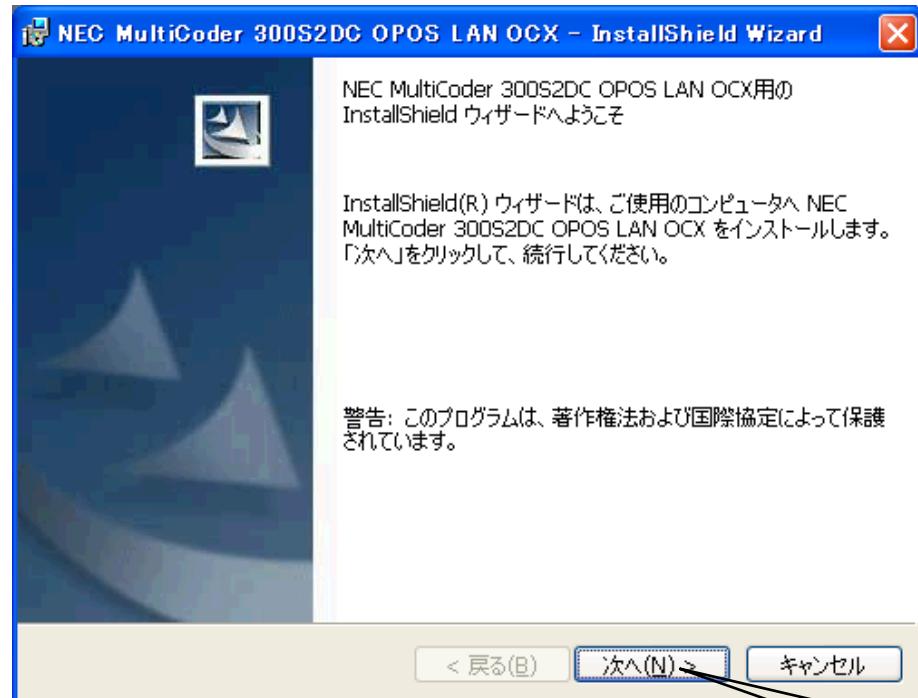
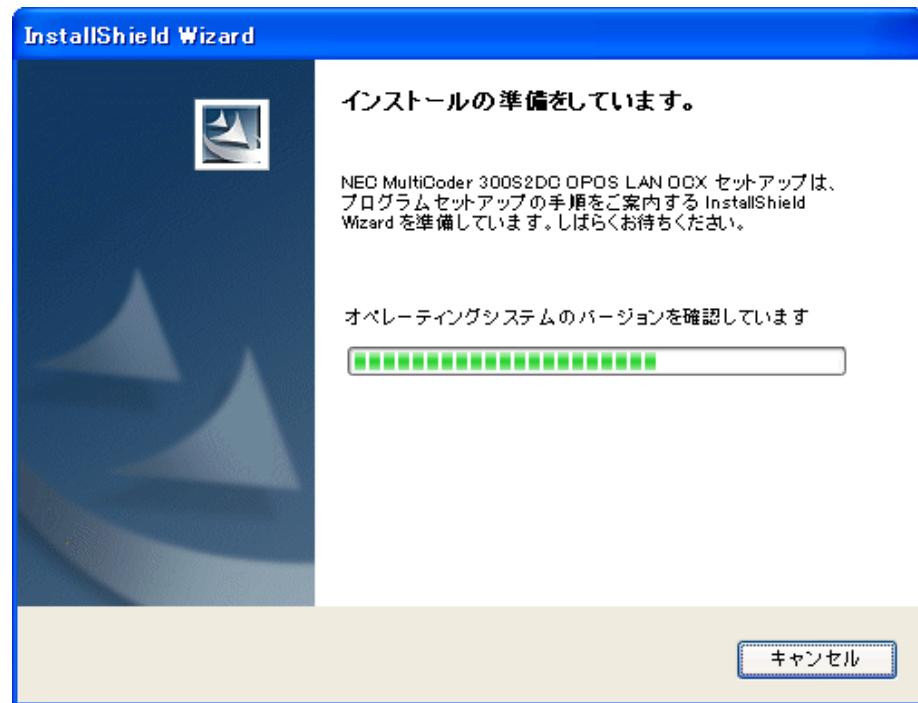
## 2. 3. インストール手順

### インストーラによるインストール

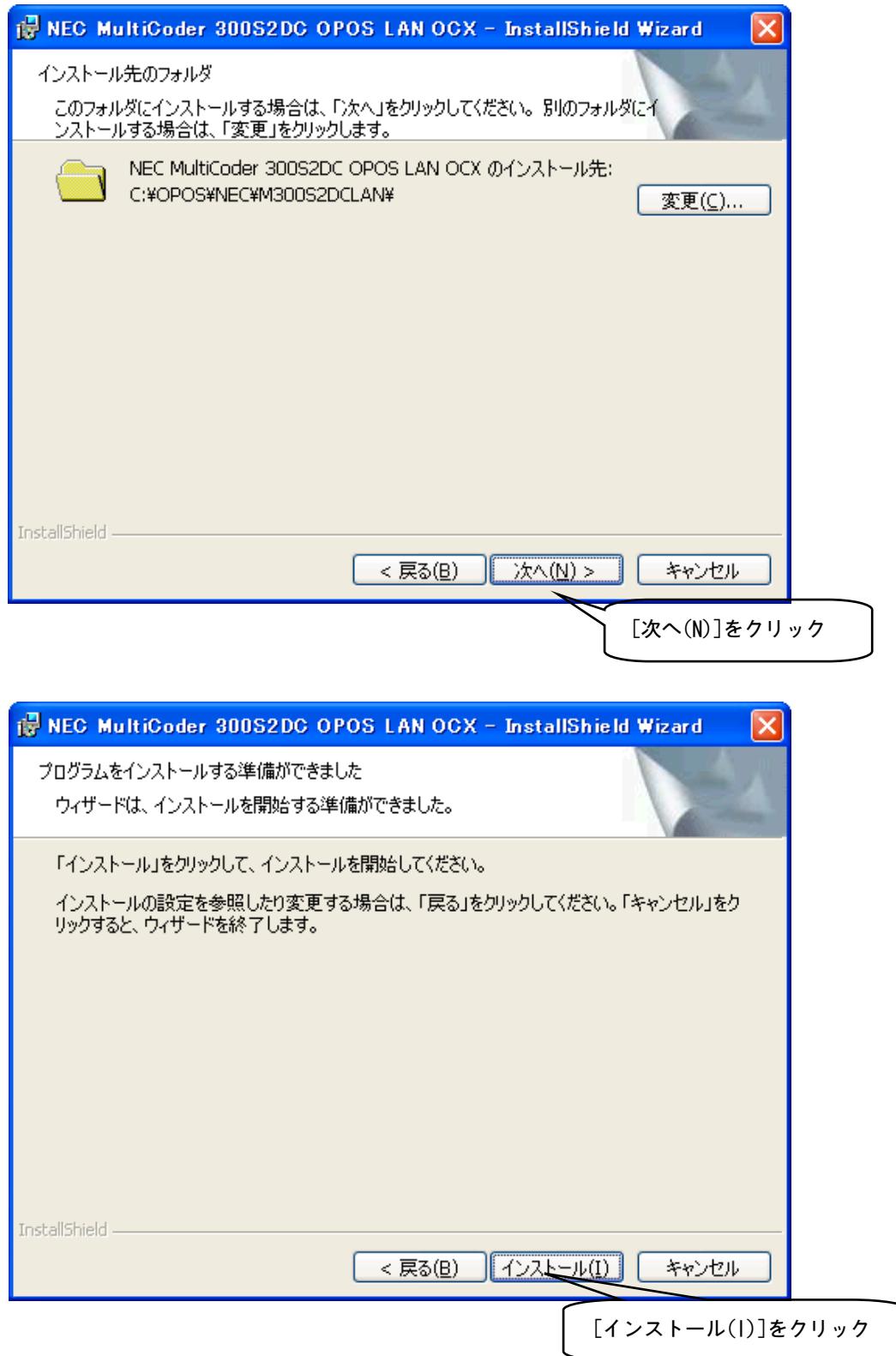
1. インストール媒体の CD をドライブにセットしてください。その後、「マイコンピュータ」または「エクスプローラ」を起動して、ドライブを参照してください。  
¥OPOS\_LAN¥MC3S2DC¥jp¥driver¥DISK1 フォルダを開き、  
32 ビット OS の場合 : setup.exe をダブルクリックします。  
64 ビット OS の場合 : setup64.exe をダブルクリックします。
2. セットアップ言語の選択で「日本語」を選択してください。.

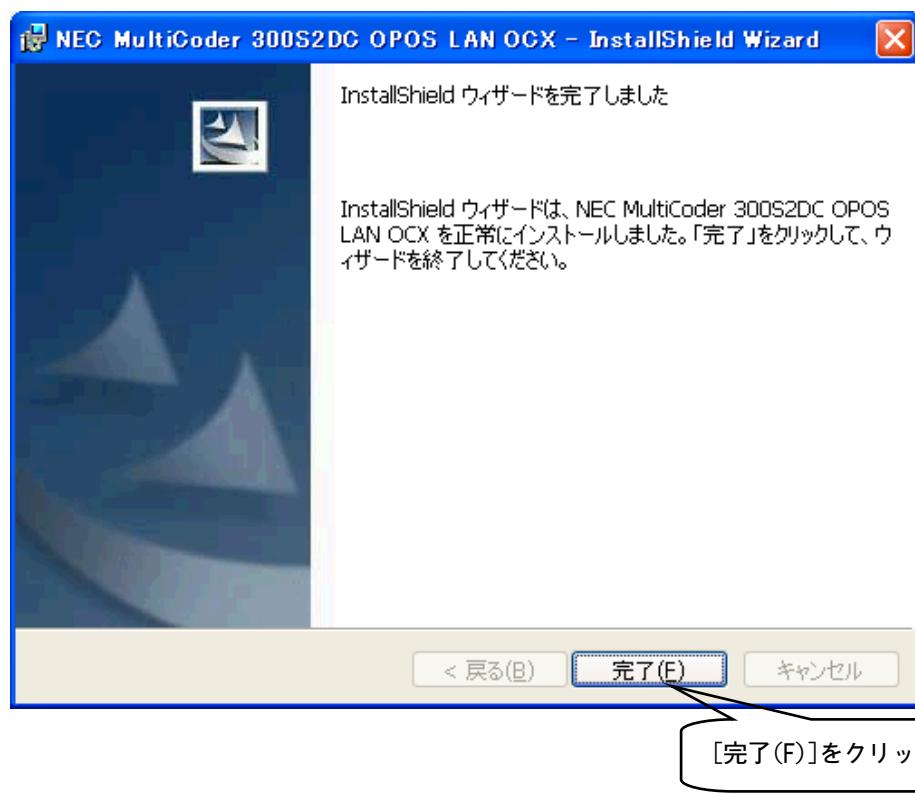
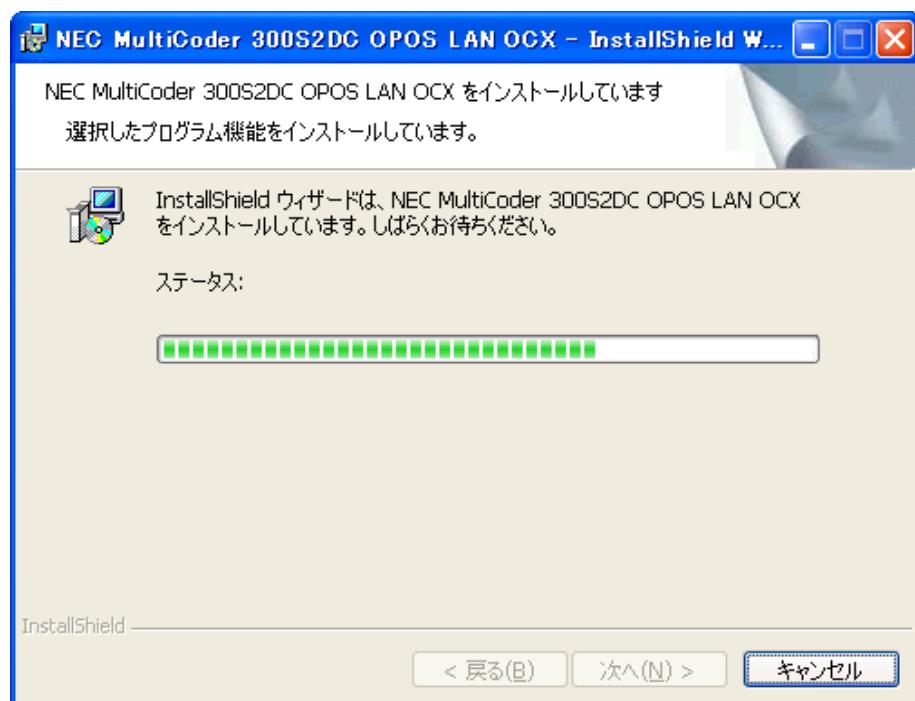


3. 下記のダイアログが表示され、セットアッププログラムが開始されます。



4. インストールが開始されます。インストールフォルダは、  
[システムドライブ]:¥OPOS¥NEC¥M300S2DCLAN¥ となっています。





5. OS の[スタートメニュー]→[NEC MultiCoder 300S2DC]→[NEC MultiCoder 300S2DC OPOS LAN Setup] を選択すると設定プログラムが表示されます。

Windows 8, Windows Server 2012 では、スタート画面の、[NEC MultiCoder 300S2DC OPOS Setup] アイコンをクリックしてください。

※設定プログラムの使用方法については、**2. 6 設定プログラムの使用法について**を参照してください。

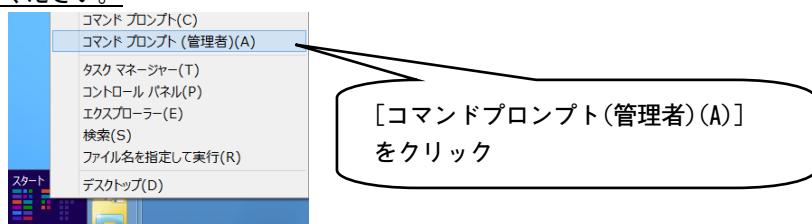
6. 設定が終了するとインストールは完了です。

## 手動インストール

### (インストーラを使用しない場合)

#### ■ Windows 8, Windows Server 2012 の場合のインストール方法

1. ドライバフォルダ("Driver\_x64"または"Driver\_x32")を任意のフォルダにコピーしてください。
2. マウスカーソルをデスクトップ画面左下へ移動させ、スタート画面が縮小表示されたら、右クリックして、メニューを表示させます。
3. 【コマンドプロンプト(管理者)(A)】をクリックして、管理者権限でコマンドプロンプトを実行してください。



4. コマンドプロンプトのカレントディレクトリを1.でコピーした位置にして、バッチファイル "install.bat" を実行してください。
5. “レジストリエディタ”画面が表示され、レジストリへの追加確認メッセージが表示されますので、[はい]をクリックしてください。レジストリへの追加が完了すると、レジストリへの追加完了メッセージが表示されますので、[OK]をクリックしてください。
6. "C:\¥OPOS¥NEC¥M300S2DCLAN¥" 以下にドライバがインストールされます。
7. "C:\¥OPOS¥NEC¥M300S2DCLAN¥" NECPrinterSetupLAN.exe" を実行して、セットアップを実行してください。  
※設定プログラムの使用方法については、**2. 6 設定プログラムの使用法について**を参照してください。
8. 設定が終了するとインストールは完了です。

#### ■ Windows Vista, Windows 7, Windows Server 2008, Windows Server 2008 R2 の場合のインストール方法

1. ドライバフォルダ("Driver\_x64"または"Driver\_x32")を任意のフォルダにコピーしてください。
2. デスクトップ画面左下の Windows ロゴがついたボタンをクリックします。
3. 【すべてのプログラム】→【アクセサリ】→【コマンドプロンプト】のアイコンを右クリックして、【管理者として実行(A)】をクリックして、管理者権限でコマンドプロンプトを実行してください。
4. コマンドプロンプトのカレントディレクトリを1.でコピーした位置にして、バッチファイル "install.bat" を実行してください。
5. “レジストリエディタ”画面が表示され、レジストリへの追加確認メッセージが表示されますので、[はい]をクリックしてください。レジストリへの追加が完了すると、レジストリへの追加完了メッセージが表示されますので、[OK]をクリックしてください。
6. "C:\¥OPOS¥NEC¥M300S2DCLAN¥" 以下にドライバがインストールされます。
7. "C:\¥OPOS¥NEC¥M300S2DCLAN¥" NECPrinterSetupLAN.exe" を実行して、セットアップを実行してください。  
※設定プログラムの使用方法については、**2. 6 設定プログラムの使用法について**を参照してください。
8. 設定が終了するとインストールは完了です。

### ■ 上記以外のOSの場合のインストール方法

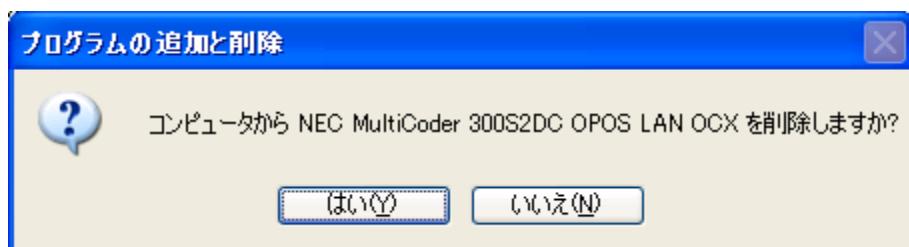
1. ドライバフォルダ("Driver\_x64"または"Driver\_x32")を任意のフォルダにコピーしてください。
2. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]をクリックしてください。
3. コマンドプロンプトのカレントディレクトリを1.でコピーした位置にして、バッチファイル"install.bat"を実行してください。(Windows 2000の場合は、"Install\_Win2k.bat"を使用してください。)
4. "レジストリエディタ"画面が表示され、レジストリへの追加確認メッセージが表示されますので、[はい]をクリックしてください。レジストリへの追加が完了すると、レジストリへの追加完了メッセージが表示されますので、[OK]をクリックしてください。
5. "C:\POSC\NEC\M300S2DCLAN\"以下にドライバがインストールされます。
6. "C:\POSC\NEC\M300S2DCLAN\NECPrinterSetupLAN.exe"を実行して、セットアップを実行してください。  
※設定プログラムの使用方法については、**2. 6 設定プログラムの使用法について**を参照してください。
7. 設定が終了するとインストールは完了です。

## 2. 4. アンインストール手順

### アンインストール

#### (インストーラを使用してインストールした場合)

1. コントロールパネルを開き、「アプリケーションの追加と削除」を選択して実行します。  
その後、「NEC MultiCoder 300S2DC LAN POS PRINTER OPOS OCX」を選択して「削除」をクリックしてください。
2. アンインストールすることを確認するダイアログが表示されます。[はい]をクリックしてください。



3. アンインストールが実行されます。
4. インストールしたフォルダ（[システムドライブ]:¥OPOS¥NEC¥M300S2DCLAN）に、アンインストーラが削除できなかったファイルが残っている場合がありますので、これらは手動で削除してください。

以上でアンインストールは終了です。

## 手動アンインストール

### (インストーラを使用していない場合)

#### ■ Winodws 8, Winodws Server 2012 の場合のアンインストール方法

1. ドライバフォルダ("Driver\_x64"または"Driver\_x32")を任意のフォルダにコピーしてください。
2. [コマンドプロンプト(管理者)(A)] をクリックして、管理者権限でコマンドプロンプトを実行してください。
3. "C:\¥OPOS¥NEC¥M300S2DCLAN¥" のフォルダでバッチファイル uninstall.bat を実行してください。
4. "C:\¥OPOS¥NEC¥M300S2DCLAN¥" フォルダを手動で削除してください。
5. 終了です。

#### ■ Winodws Vista, Winodws 7, Winodws Server 2008, Winodws Server 2008 R2 の場合の

#### アンインストール方法

1. デスクトップ画面左下の Windows ロゴがついたボタン をクリックします。
2. [すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]のアイコンを右クリックして、"管理者として実行(A)"をクリックして、管理者権限でコマンドプロンプトを実行してください。
3. "C:\¥OPOS¥NEC¥M300S2DCLAN¥" のフォルダでバッチファイル uninstall.bat を実行してください。
4. "C:\¥OPOS¥NEC¥M300S2DCLAN¥" フォルダを手動で削除してください。
5. 終了です。

#### ■上記以外 の OS の場合のアンインストール方法

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト] クリックしてください。
2. "C:\¥OPOS¥NEC¥M300S2DCLAN¥" のフォルダでバッチファイル uninstall.bat を実行してください。
3. "C:\¥OPOS¥NEC¥M300S2DCLAN¥" フォルダを手動で削除してください。
4. 終了です。

## 2. 5. インストールファイル一覧

「MultiCoder 300S2DC LAN POS PRINTER OPOS OCX」コントロールのファイル群は以下のように配置されます。

[システムドライブ]: ¥OPOS¥NEC¥M300S2DCLAN¥	
MC3SCLANPOSPrinterCO.ocx	POS プリンタのコントロールオブジェクト
MC3SCLANPOSPrinterSO.dll	POS プリンタのサービスオブジェクト
NECPrinterSetupLAN.exe	設定プログラム
[システムドライブ]: ¥OPOS¥NEC¥M300S2DCLAN¥Log	ログファイル出力用フォルダ
[システムドライブ]: ¥OPOS¥NEC¥M300S2DCLAN¥include	OPOS-OCX コントロールで定義されるインクルードファイル群
Opos.h	OPOS 共通定義定数ヘッダファイル
OposPtr.h	OPOS POS プリンタ定義定数ヘッダファイル
OposCash.h	OPOS ドロワー定義定数ヘッダファイル
FitPtr.h	OPOS MultiCoder 300S2DC 用 固有定義定数ヘッダファイル
OposPRN.BAS	OPOS 定義定数標準モジュール (共通定義定数、プリンタ、ドロワー定数) (Visual Basic 用)
OposFIT.BAS	OPOS MultiCoder 300S2DC 用 固有定義定数標準モジュール (Visual Basic 用)
[システムドライブ]: ¥WINDOWS¥system32¥	
(64bit OS の場合 : [システムドライブ]: ¥Windows¥SysWOW64¥)	
SxJcp32.dll	Ethernet 上のプリンタとデータの送受信を行うための DLL

インストールされるモジュールは下記基準でプロパティが設定されています。

項目	説明
ファイルバージョン	OPOS のバージョン(3,4 桁目はリリースごとにインクリメントするバージョン番号) CO/SO 以外のファイルの場合は 1.0.0.1 から順次インクリメント
説明	<ul style="list-style-type: none"><li>・ CO の場合 ; ” NEC MultiCoder 300S2DC LAN POSPrinter OPOS Control Object Module ”</li><li>・ SO の場合 ; ” NEC MultiCoder 300S2DC LAN POSPrinter OPOS Service Object Module ”</li><li>・ その他の場合 ; ” [exe ファイル名の拡張子無し部分] XXX(任意の文言) ”</li></ul>
正式ファイル名	(対象のオブジェクトファイル名)
製品バージョン	ファイルバージョンと同じ
製品名	“NEC MultiCoder 300S2DC LAN OPOS POSPrinter”
内部名	(正式ファイル名の拡張子が無い状態)

## 2. 6. 設定プログラムの使用法について

### **動作条件**

MultiCoder 300S2DC LAN OCX がインストールされていることが条件です。

### **画面と機能**

設定プログラムは以下の手順で実行します。

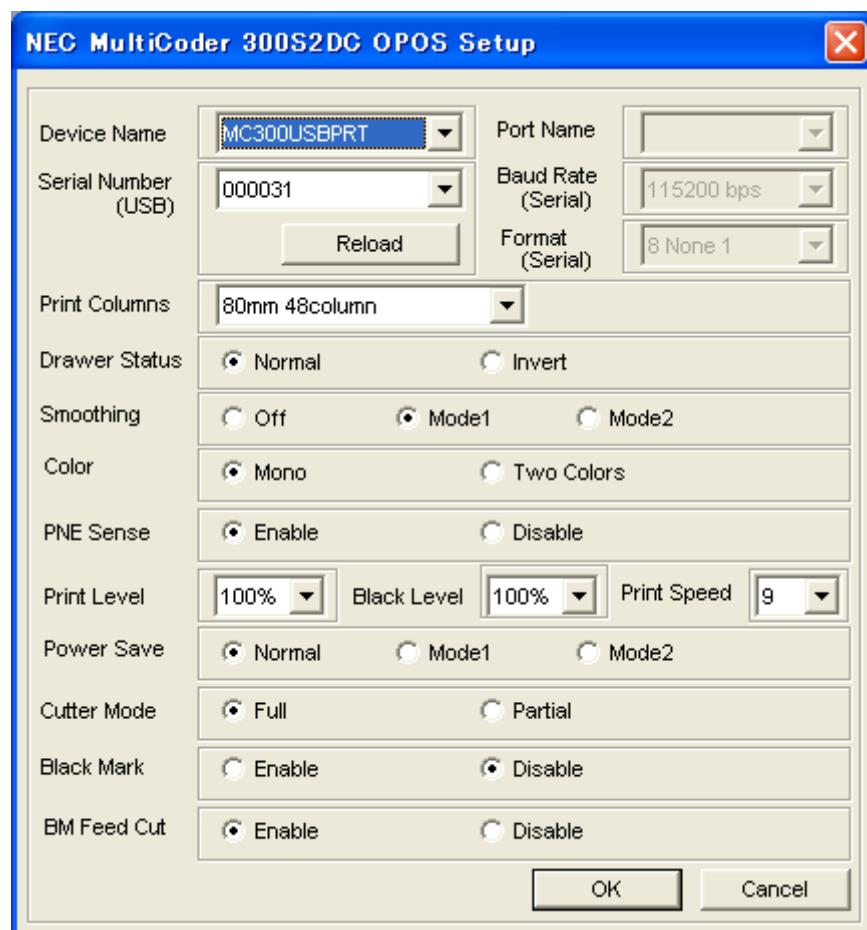
#### **実行**

OS の[スタートメニュー]→[NEC MultiCoder 300S2DC]→[NEC MultiCoder 300S2DC OPOS Setup] を実行します。

※Windows 8, Windows Server 2012 では、スタート画面の[NEC MultiCoder 300S2DC OPOS Setup]をクリックします。

## ■シリアル・パラレル・USB プリンタのセットアップ

### 1. 設定画面



OK ボタン押下時にエラーが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。  
エラー要因を確認して、再設定を行ってください。

<エラー要因>

- ・ケーブルが接続されていない。
- ・プリンタの電源が入っていない。
- ・カバーが開いている。
- ・用紙がない。
- ・既に他でポートが使用されている。
- ・通信条件がプリンタと一致していない。（シリアル接続時）
- ・シリアル番号入力が間違っている。（USB接続時）



## 2. Device Name (デバイス名の設定)

インストールされている OCX によって表示が異なりますが、これから設定するデバイスを指定します。表示される項目は下記の通りです。

MC300SERPRT	シリアルインターフェース用の設定
MC300PARPRT	パラレルインターフェース用の設定
MC300USBPRT	USB インターフェース用の設定
MC300SER2PRT	2台目のシリアルインターフェース用の設定
MC300PAR2PRT	2台目のパラレルインターフェース用の設定
MC300USB2PRT	2台目のUSB インターフェース用の設定

## 3. Port Name (ポートの設定)

” MC300SERPRT” , ” MC300SER2PRT” の場合は” COM1” ~” COM9” , ” MC300PARPRT” , ” MC300PAR2PRT” の場合は” LPT1” ~” LPT9” の選択が可能です、上記以外のポート名については、ドロップダウンリストに入力可能です。インストール直後は、” COM1” , ” LPT1” がデフォルトで選択されています。

” MC300USBPRT” , ” MC300USB2PRT” の場合は、必ずプリンタのシリアル番号を” Serial Number” から選択してください。

プリンタのシリアル番号が” 123456” に設定されている場合、” Serial Number” から” 123456” を選択してください。

## 4. Baud Rate (通信速度の設定)

通信速度の設定を行います。2 で、” MC300SERPRT” または” MC300SER2PRT” を選択した場合のみ選択可能です。プリンタに設定されているボーレートを設定してください

## 5. Format (通信フォーマットの設定)

2 で、” MC300SERPRT” または” MC300SER2PRT” を選択した場合のみ選択可能です。通信フォーマットを設定します。プリンタに設定されている通信フォーマットを設定してください。

通信プロトコルは XON/XOFF 固定となります。

※以下の設定時には注意してください。

1. 8bit None 設定(8 None 1)から、7bit Even 指定(7 Even 1)は、設定できません。この場合、8bit Even 指定(8 Even 1)に一旦設定のうえ、7bit Even 指定を行なってください。
2. 8bit None 設定(8 None 1)から、7bit Odd 指定(7 Odd 1)は、設定できません。この場合、8bit Odd 指定(8 Odd 1)に一旦設定のうえ、7bit Odd 指定を行なってください。
3. 7bit Even(7 Even 1)から、8bit None(8 None 1)の指定を行なうには、8bit Even(8 Even 1)に一旦設定のうえ、7bit Even の指定を行なってください。
4. 7bit Odd(7 Odd 1)から、8bit None(8 None 1)の指定を行なうには、8bit Odd (8 Odd 1)に一旦設定のうえ、7bit Odd の指定を行なってください。

## 6. Print Columns (プリンタ出力文字数の設定)

用紙の横幅と1行に印字可能な文字数を設定します。

## **7. Drawer Status (ドロワー理論反転設定)**

ドロワーによっては、ドロワーOCXから上がるドロワーオープン・クローズのイベントが逆転するものがあります。このようなドロワーで適切にイベントを取得するには、設定を”Invert”にすることでこのような動作を回避できます。

## **8. Smoothing (スムージング設定)**

フォント印字時に2倍角印字以上が指定された場合、RecLetterQuality プロパティを TRUE に設定した際に、スムージング処理を行うかどうかを選択します。Mode1 または Mode2 を選択した場合、スムージング処理を行います。スムージング処理を行った場合、2倍角印字の品質が向上しますが、印字パフォーマンスが若干低下します。

## **9. Color (印字色設定)**

専用紙を使い、エスケープシーケンスの赤色が指定された場合、レシートの第二色による印字が可能になります。”Mono”が指定されている場合、エスケープシーケンスを指定しても、第二色による印字は行なわれません。

## **10. PNE Sense(ペーパニアエンド設定)**

ペーパニアエンドの通知を行うかどうかを設定します。

## **11. Print Level(印字濃度設定)**

印字濃度を設定します。

デフォルトの印字濃度を 100% とした割合を 70~130まで 5% 単位で指定可能です。

## **12. Black Level(2色時の黒濃度設定)**

2色印字時の黒の濃度を設定します。デフォルトの黒濃度を 100% とした割合を 70~130まで 5% 単位で指定出来ます。

## **13. Print Speed(印刷速度設定)**

印刷速度を設定します。1~9までの数字で設定します。デフォルトは、最大の印刷速度 ”9” が設定されています。

## **14. Power Save(低消費電力モード設定)**

消費電力を低減する設定です。”Normal”が標準で（デフォルト値）消費電力は低減しません。

”Mode1”がモード 1 で、印字濃度の設定を 80% に落とします。

”Mode2”がモード 2 で、ストローブの分割数を変更します（印刷速度は低下します）

## **15. Cutter Mode(カッターモード設定)**

フルカット仕様の場合のみ有効です。

”Full”に設定すると（デフォルト値）、フルカットコマンドの動作はフルカットと成ります。

”Partial”に設定するとフルカットコマンドの動作がパーシャルカットと成ります。

※本プリンタは、パーシャルカットコマンドのみ有効です。

## **16. Black Mark(黒マーク設定)**

黒マーク仕様の場合のみ有効です。

黒マークセンサの搭載有無を設定します。”Enable”を選択することで有効になります。

## **17. BM Feed Cut(黒マーク時の頭出し時のフィード&カット動作設定)**

黒マーク仕様の場合のみ有効です。

”Enable”(有効)に設定すると、黒マーク頭出し時にフィード&カット動作を実行します。

”Disable”(無効)に設定すると、カット動作は実行しません。

### **その他：Cancel、OK ボタン**

OKボタンを押すことで、設定をレジストリに書き込んだ後、プリンタに設定変更のコマンドを送信します。そのため、本プログラムを動作させる場合は、プリンタを接続した上で、プリンタの電源を入れて置いてください。(プリンタが接続されていない、あるいは電源が入っていない状態、またはプリンタがエラー状態にある時は、プリンタには設定されずレジストリのみ設定されます。)

### **その他：プリンタ複数台接続、ポートについて**

ひとつのOCXで複数台（最大2台）のプリンタを操作することが可能です。

”MC300SERPRT”は、”COM1”～”COM9”を選択することができます。インストール直後のデフォルトは、”COM1”が選択されます。

”MC300PARPRT”は、”LPT1”～”LPT9”を選択することができます。インストール直後のデフォルトは、”LPT1”が選択されます。

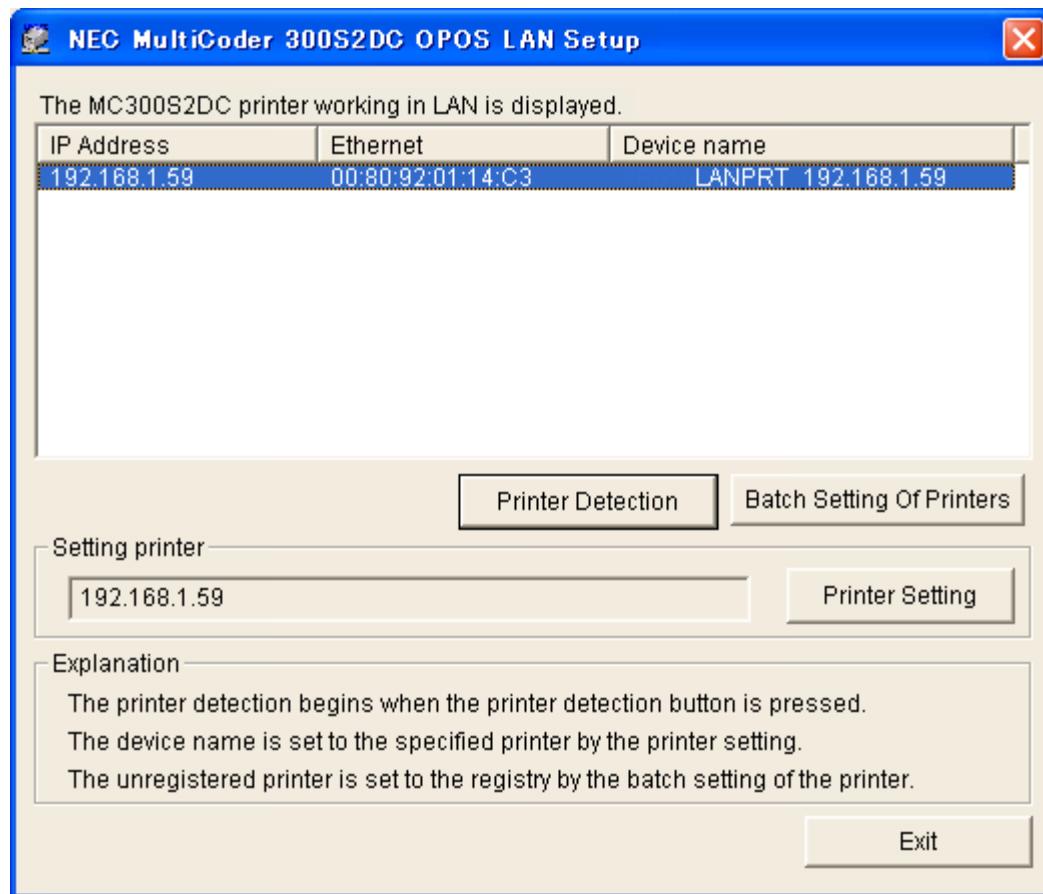
### **その他：Reload ボタン**

Reloadボタンを押すと、USB接続されたプリンタのシリアル番号を再読み込みます。

## ■LAN プリンタのセットアップ

### 1. プリンタの検索

”Printer Detection”を押下すると、見つかったPOSプリンタのIPアドレス、MACアドレス、デバイス名がリスト表示されます。デバイス名が“未設定”的場合は、デバイス名が設定されていない為OCXコントロールから使用することができません。POSプリンタをOCXコントロールから使用可能にするには、“Batch Setting Of Printers”で未設定のPOSプリンタをすべてデフォルト設定する方法と、“Printer Setting”でPOSプリンタを1台ずつ登録する方法の2通りがあります。

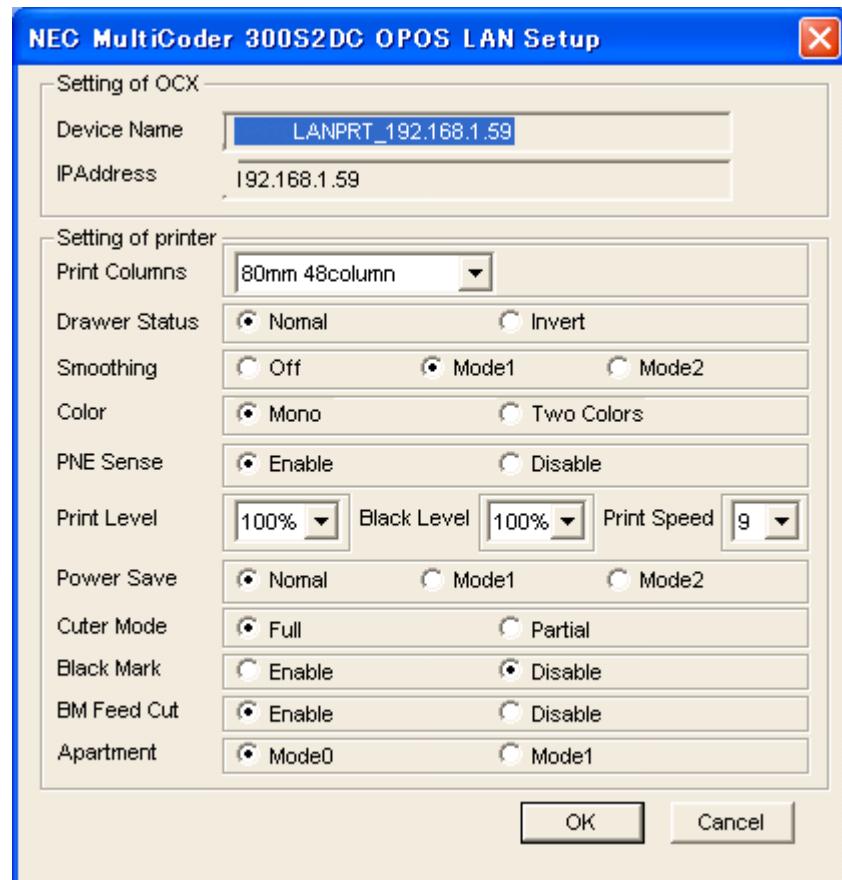


### 2. プリンター括設定

”Batch Setting Of Printers”を押した場合、デバイス名が未設定になっているPOSプリンタにすべてデバイス名を設定します。レジストリに設定される値については、**5. OCXが使用するレジストリについて**と同じ値が設定されます。IPアドレス、デバイス名については、設定するPOSプリンタのIPアドレスがそのまま設定されます。

### 3. プリンタ設定

リストの中から設定したい POS プリンタを選択すると、“Setting Printer” に、IP アドレスが指定されますので、“Printer Setting” を押下します。(リストを直接ダブルクリックしても同じ動作をします。) 押下後、下図のように POS プリンタ設定の詳細画面が表示されます。



**1. Device Name (対象デバイス名)**

これから設定するデバイスの、デバイス名が表示されます。

**2. IPAddress (対象 IP アドレス)**

これから設定するデバイスの、IP アドレスが表示されます。

**3. Apartment (DLL 制御方法)**

DLL の初期化・終了処理の方法を指定します。

**4. その他の設定項目**

“■シリアル・パラレル・USB プリンタのセットアップ” の、“6. Print Columns (プリンタ出力文字数の設定)” 以下を参照してください。

**その他：Cancel、OK ボタン**

OK ボタンを押すことで、設定をレジストリに書き込んだ後、プリンタに設定変更のコマンドを送信します。そのため、本プログラムを動作させる場合は、プリンタを接続した上で、プリンタの電源を入れて置いてください。(プリンタ検索後に電源断発生、あるいはプリンタがエラー状態にある時は、プリンタには設定されずレジストリのみ設定されます。)

**その他：プリンタ複数台接続について**

ひとつの OCX で複数台 (LAN インターフェースのみの構成で、最大 255 台) のプリンタを操作することができます。

## 動作詳細

### レジストリ設定

設定するプリンタによって、レジストリに書き込む値が異なります。

各々のプリンタに応じて、下記のように読み替えてください。また、特定の OCX 設定にのみ、設定される場合はそのように明記します。

	デバイス名			
	シリアル インターフェース	パラレル インターフェース	USB インターフェース	LAN インターフェース
POS プリンタ(1 台目)	MC300SERPRT	MC300PARPRT	MC300PARPRT	MC300LANPRT_192.168.1.1
ドロワー1(1 台目)	MC300SERDR1	MC300PARDR1	MC300PARDR1	-
ドロワー2(1 台目)	MC300SERDR2	MC300PARDR2	MC300PARDR2	-
POS プリンタ(2 台目)	MC300SER2PRT	MC300PAR2PRT	MC300PAR2PRT	MC300LANPRT_192.168.1.2
ドロワー1(2 台目)	MC300SER2DR1	MC300PAR2DR1	MC300PAR2DR1	-
ドロワー2(2 台目)	MC300SER2DR2	MC300PAR2DR2	MC300PAR2DR2	-

### PortName (シリアル／パラレル)

設定された値を下記レジストリにそのまま書き込みます。

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\POSPrinter\[ プリント]¥Port
- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\CashDrawer\[ ドロワー1]¥Port
- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\CashDrawer\[ ドロワー2]¥Port

### SerialNumber (USB)

USB のデフォルト Port は “USB” に設定されていますが、設定された値を “USB” の後に付加して、下記レジストリに書き込みます。(接続するプリンタのシリアル番号を設定してください)  
(例：“123456” を設定したら、“USB123456” がレジストリに書き込まれます)

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\POSPrinter\[ プリント]¥Port
- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\CashDrawer\[ ドロワー1]¥Port
- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\CashDrawer\[ ドロワー2]¥Port

### **IPAddress (LAN)**

ネットワークに接続されているプリンタの、IPAddress を設定します。

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\IServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]IPAddress
- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\IServiceOPOS\CashDrawer\[ ドロワー1] IPAddress
- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\IServiceOPOS\CashDrawer\[ ドロワー2] IPAddress

### **Baud Rate, Format (シリアルのみ)**

設定された値を基に、Baud Rate と Format の組み合わせを書き込みます。

例として、Baud Rate = “19200”，Format = “8 None 1” の場合、“19200,N,8,1,x” のように値を書き込みます。Format = “7 Odd 1” の場合は、“19200,0,7,1,x” が、Format = “8 Even 1” の場合は、“19200,E,8,1,x” が下記値に書き込まれます。

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\IServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]Protocol
- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\IServiceOPOS\CashDrawer\[ ドロワー1]Protocol
- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\IServiceOPOS\CashDrawer\[ ドロワー2]Protocol

### **Print Columns**

設定された値を元に、1 ライン上の文字、選択可能文字、紙幅を下記値に設定します。

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\IServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]RecLineChars
- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\IServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]RecLineCharsList
- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\IServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]RecLineWidth

組み合わせについては下記表の通りとなります。

Print Columns 設定値 ( mm / columns )	83 / 53	80 / 48	80 / 42	60 / 36	58 / 35	58 / 32
RecLineChars	53	48	42	36	35	32
RecLineCharsList	53,64,80	48,57,72	42,51,64	36,43,54	35,42,52	32,38,48
RecLineWidth	640	576	512	436	420	384

#### **Drawer Status**

設定された値が Normal の時には” 0” を、Invert の時には” 1” を下記レジストリに書き込みます。

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]¥InvertDrawerStatus

#### **Smoothing**

設定された値が Mode1 の時には” 1” を、Mode2 の時には” 2” を、OFF の時には” 0” を下記レジストリに書き込みます。

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]¥Smoothing

#### **Color**

設定された値が Mono の時には” F” を、Two Colors の時には” T” をレジストリに書き込みます。

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]¥CapRec2Color

#### **Power ON Status**

設定された値が Enable の時には” 1” を、Disable の時には” 0” をレジストリに書き込みます。

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]¥PowerOnNotify

#### **Process ID**

設定された値が Standard の時には” S” を、HighSpeed の時には” H” をレジストリに書き込みます。

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]¥ProcessID

#### **PNE Sense**

設定された値が Enable の時には” E” を、Disable の時には” D” をレジストリに書き込みます。

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]¥PNESense

### **Print Level**

設定された値を下記レジストリにそのまま書き込みます。

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]¥PrintLevel

### **Black Level**

設定された値を下記レジストリにそのまま書き込みます。

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]¥BlackLevel

### **Print Speed**

設定された値を下記レジストリにそのまま書き込みます。

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]¥PrintSpeed

### **Power Save**

設定された値が Normal の時には” S” を、Mode1 の時には” 1” を、Mode2 の時には” 2” をレジストリに書き込みます。

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]¥PowerSave

### **Batch Print**

設定された値が Enable の時には” E” を、Disable の時には” D” をレジストリに書き込みます。

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]¥BatchPrint

### **Cutter Mode**

設定された値が Full の時には” F” を、Partial の時には” P” をレジストリに書き込みます。

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]¥CuterMode

### **Black Mark**

設定された値が Enable の時には” T” を、Disable の時には” F” をレジストリに書き込みます。

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]¥BlackMarkEnabled

### **BM Feed Cut**

設定された値が Enable の時には” E” を、Disable の時には” D” をレジストリに書き込みます。

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]¥BMFeedCut

### **Apartment (LAN)**

設定された値が Mode0 の時には” 0” を、Mode1 の時には” 1” をレジストリに書き込みます。

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\OLEforRetail\ServiceOPOS\POSPrinter\[ プリントタ]¥Apartment

## 3. OPOS コントロール使用方法について

### 3. 1. 共通

アプリケーションは以下の手順にて OPOS コントロールを使用します。

- ①**Open** メソッド：コントロールオブジェクトをサービスオブジェクトにリンクするために呼び出します。
- ②**ClaimDevice** メソッド：デバイスに排他アクセスできるようにするために呼び出します。  
排他使用するデバイスでは必須であり、共有可能デバイスには任意のメソッドです。
- ③**DeviceEnabled** プロパティ：デバイスを動作させる場合 TRUE に設定します。
- ④デバイスを使用します。（各プロパティ・メソッド・イベント）
- ⑤**DeviceEnabled** プロパティ : FALSE に設定してデバイスをディセーブルにします。
- ⑥**ReleaseDevice** メソッド：デバイスの排他アクセスを解除するために呼び出します。
- ⑦**Close** メソッド：サービスオブジェクトをコントロールオブジェクトから解放するために呼び出します。

その他使用方法の詳細については、「OPOS-APG V1.10」のドキュメントを参照して下さい。

### 3. 2. POS プリンタ

POS プリンタは「レシート」のみをサポートします。従って、それ以外（ジャーナル/スリップ）のメソッド・プロパティは、インターフェースは提供されますが、動作はサポートされません。

POS プリンタは一般的な出力モデルに従い、同期/非同期の出力が可能です。

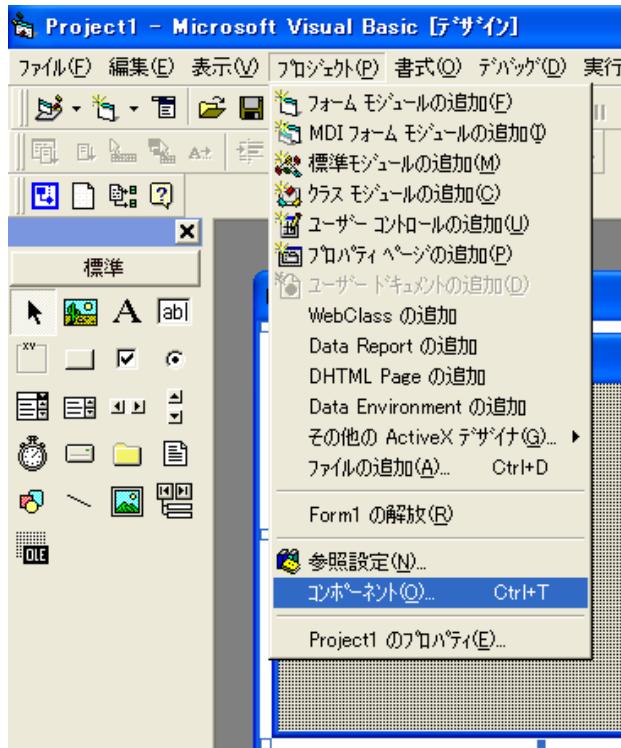
また、POS プリンタは排他的に使用するデバイスです。

### 3. 3. OPOS コントロール実装方法

OPOS-OCX コントロールをアプリケーションに実装する方法を以下に記します。

#### Visual Basic 6.0 で実装する場合

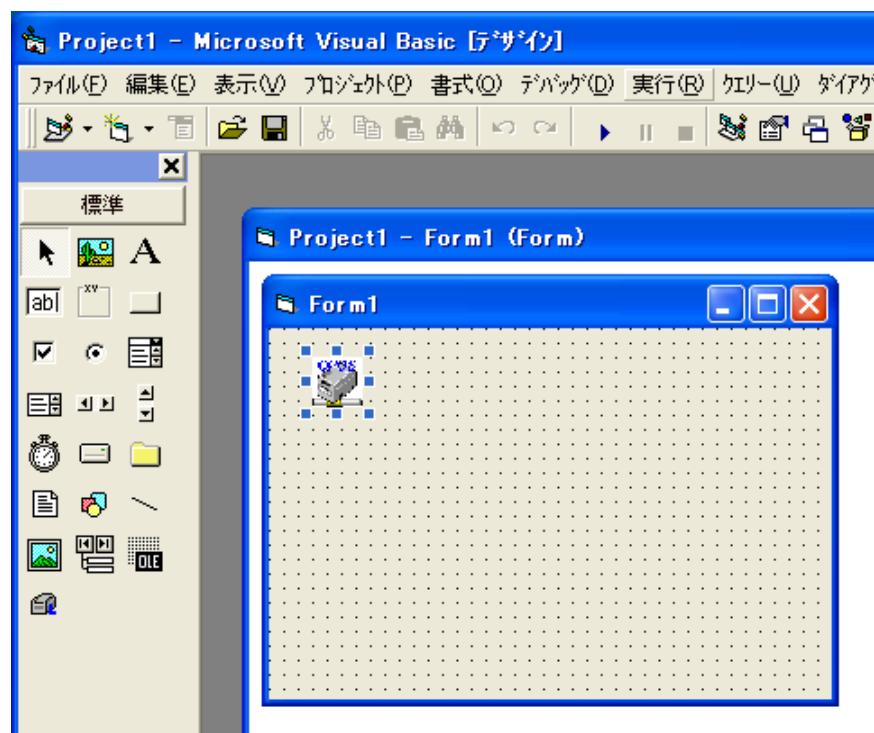
1. VisualBasic 6.0 を起動し、作成するプロジェクト種類を選択します。ここでは、[標準 EXE] を選択した例を示します。選択後、メニューの[プロジェクト]を選択し、[コンポーネント]を選択します。



2. コンポーネントのダイアログが表示されるので、[コントロール]タブを選択し、その中から、[NEC LAN POSPrinter OLE Control (1.10) module]を選択し、[OK]ボタンを押します。

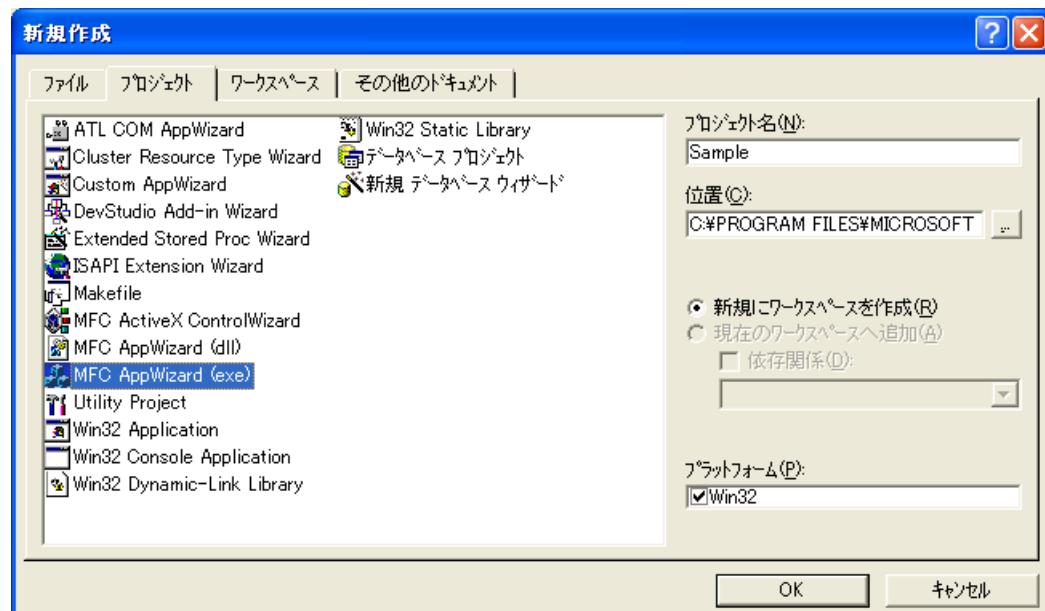


3. ツールバーに OCX が表示されるので、それをフォームに貼り付けます。後は、通常の OCX と同様に使用してください。

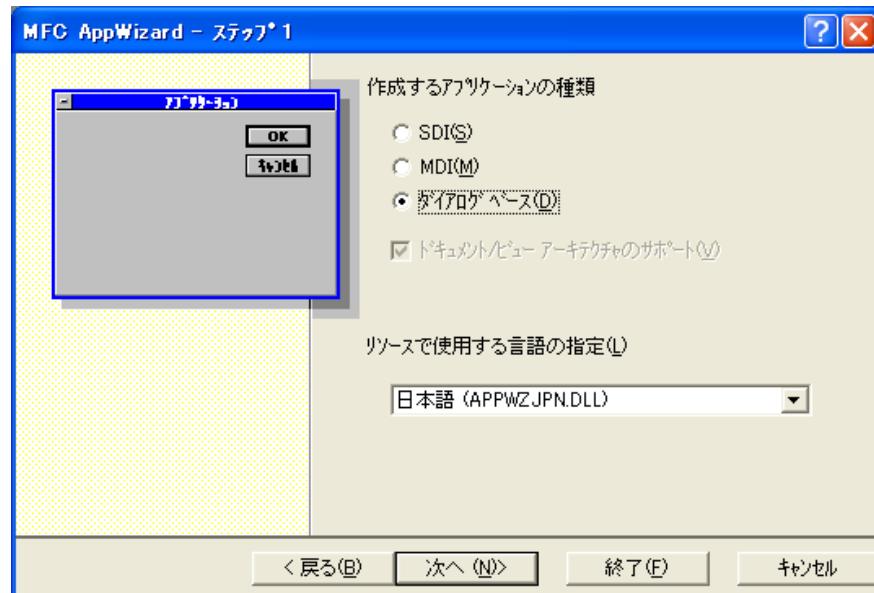


## Visual C++ 6.0 で実装する場合

1. Visual C++ 6.0 を起動し、新規作成を選択後、[MFC AppWizard(exe)]を選択し[OK]を押します。



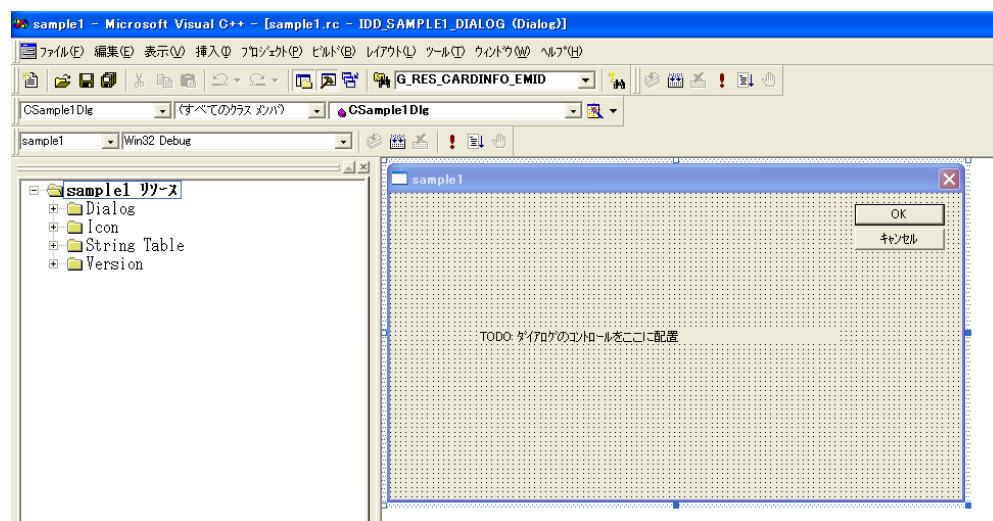
2. MFC AppWizard ステップ1で、「ダイアログベース」を選択して[次へ]を押下します



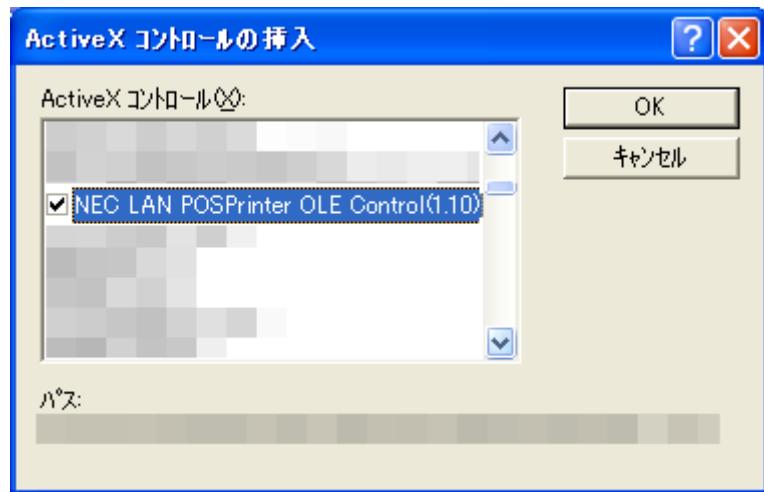
3. 次に ActiveX コントロールのサポートのチェックボックスを ON にします。それ以外は、作成するプロジェクト種類により変更してください。[次へ]を選択し、後の指示については適宜必要な設定を行ってください。



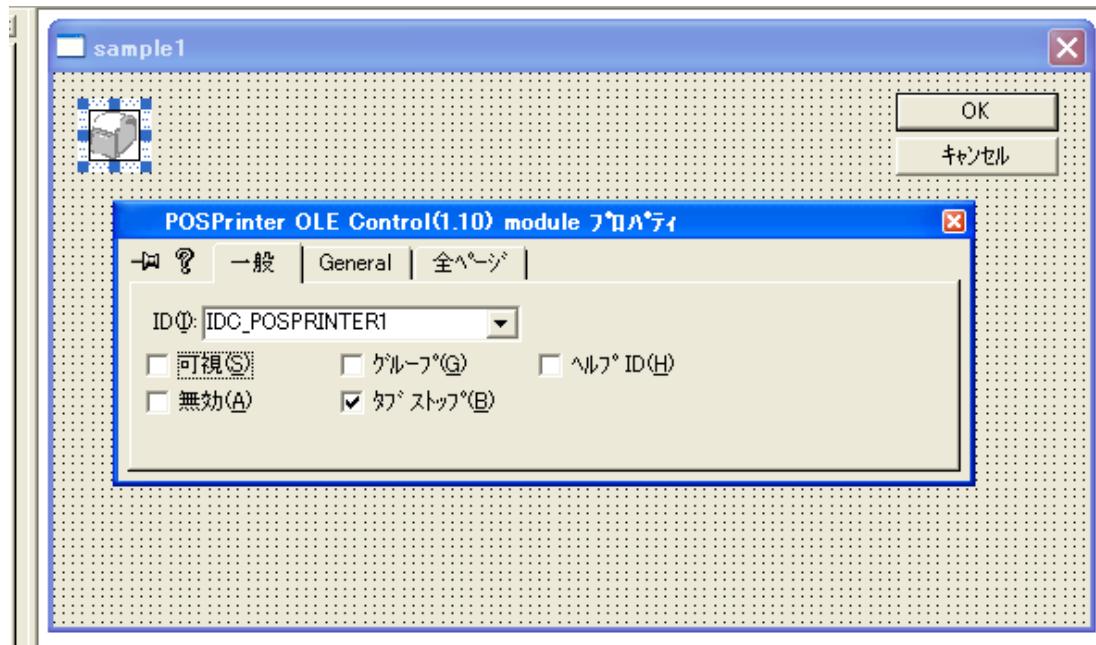
4. プロジェクトが作成されたら、[Resource View]を選択し、メインダイアログを表示します。



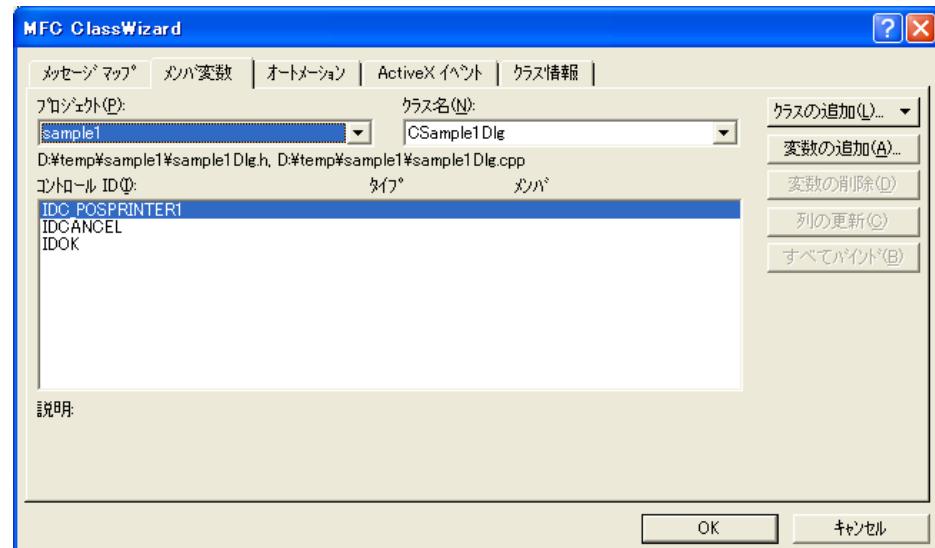
5. ダイアログ上で右クリックし、ポップアップメニューが表示されたら[ActiveX コントロールの挿入]を選択します。ダイアログが表示されたらその中から、[NEC LAN POSPrinter OLE Control(1.10) module]を選択し、[OK]を選択します。



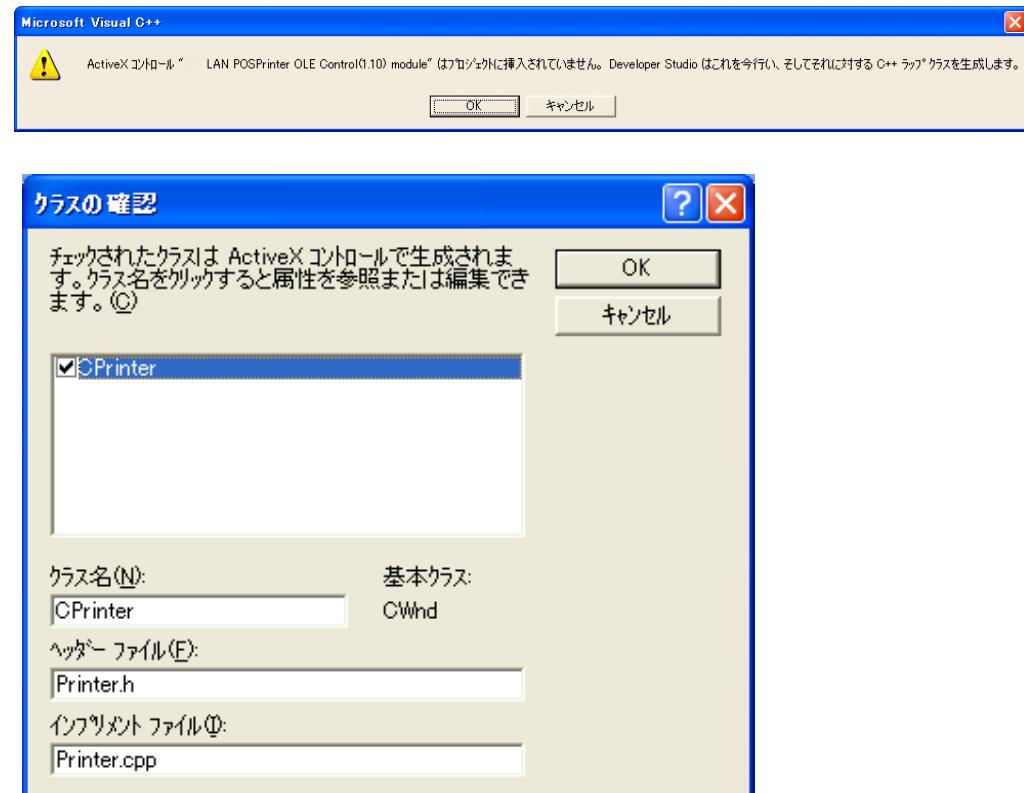
6. OCX がダイアログに挿入されたら、コントロール上を選択し右クリックをし、ポップアップメニューから[プロパティ]を選択します。ここで OCX の ID を確認します。また、「可視」「タブストップ」のチェックをはずします。



7. プロパティを閉じ、6. と同様にポップアップメニューから[ClassWizard]を選択します。[メンバ変数]タブを選択し、先ほど確認したコントロール ID を選択し、[変数の追加]を押します。

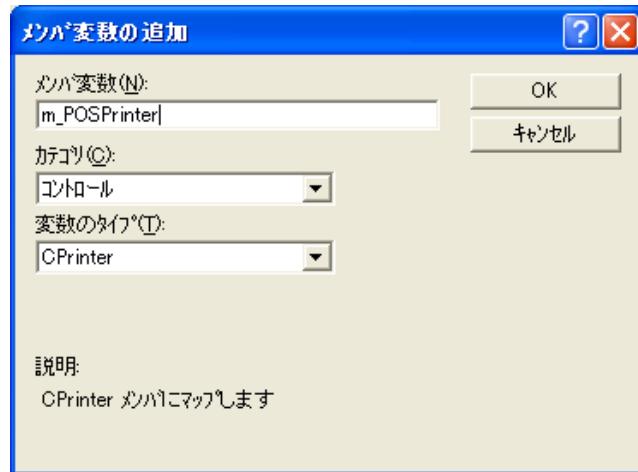


8. 以下のようなダイアログが表示されたら、[OK]を押下します。



9. OPOS コントロールに対応するメンバ変数を設定し、ClassWizard を終了します。OCX を利用するには、このメンバ変数を用いてプロパティ、メソッドを利用します。

使用例 : `m_POSPrinter.Open( "MC300LANPRT_192.168.1.1" );`



## 4. OPOS インターフェース仕様（プリンタ）

### 4. 1. 一覧

プロパティ

共通	型	アクセス	初期化	初期値・書き込み条件
BinaryConversion	Long	R/W	Open	OPOS_BC_NONE(0) Open 後、書き込み可能
CapCompareFirmwareVersion	Boolean	R	Open	TRUE
CapPowerReporting	Long	R	Open	OPOS_PR_STANDARD (1)
CapStatisticsReporting	Boolean	R	Open	FALSE
CapUpdateFirmware	Boolean	R	Open	TRUE
CapUpdateStatistics	Boolean	R	Open	FALSE
CheckHealthText	String	R	Open	“”
Claimed	Boolean	R	Open	FALSE
DeviceEnabled	Boolean	R/W	Open&Claim	FALSE
FreezeEvents	Boolean	R/W	Open	FALSE Open 後、書き込み可能
OpenResult	Long	R	無し	0
OutputID	Long	R	Open	1
PowerNotify	Long	R/W	Open	OPOS_PN_DISABLED(0) Open 後、書き込み可能。Enabled 後、書き込み不可
PowerState	Long	R	Open	OPOS_PS_UNKNOWN(2000)
resultCode	Long	R	--	0
resultCodeExtended	Long	R	Open	0
State	Long	R	--	1
ControlObjectDescription	String	R	--	“MC300 LAN POS Printer Control Object”
ControlObjectVersion	Long	R	--	1010XXX
ServiceObjectDescription	String	R	Open	“NEC MC300 POS Printer Service Object”
ServiceObjectVersion	Long	R	Open	1010XXX
DeviceDescription	String	R	Open	“NEC MC300S2DC 1 Station Thermal POSPrinter”
DeviceName	String	R	Open	“NEC MC300S2DC 1 Station Thermal POSPrinter”

専用	型	アクセス	初期化	初期値と備考
CapCharacterSet	Long	R	Open	PTR_CCS_KANJI (11)
CapConcurrentJrnRec	Boolean	R	Open	FALSE
CapConcurrentJrnSlp	Boolean	R	Open	FALSE
CapConcurrentPageMode	Boolean	R	Open	FALSE
CapConcurrentRecSlp	Boolean	R	Open	FALSE
CapCoverSensor	Boolean	R	Open	TRUE
CapMapCharacterSet	Boolean	R	Open	TRUE
CapTransaction	Boolean	R	Open	TRUE
CapJrnPresent	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrn2Color	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrnBold	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrnDhigh	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrnDwide	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrnDwideDhigh	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrnEmptySensor	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrnItalic	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrnNearEndSensor	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrnUnderline	Boolean	R	Open	FALSE
CapJrnCartridgeSensor	Long	R	Open	0
CapJrnColor	Long	R	Open	0
CapRecPresent	Boolean	R	Open	TRUE
CapRec2Color	Boolean	R	Open	初期値はレジストリ内容によって変化
CapRecBarCode	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecBitmap	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecBold	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecDhigh	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecDwide	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecDwideDhigh	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecEmptySensor	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecItalic	Boolean	R	Open	FALSE
CapRecLeft90	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecNearEndSensor	Boolean	R	Open	初期値はレジストリ内容によって変化
CapRecPapercut	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecRight90	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecRotate180	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecStamp	Boolean	R	Open	FALSE
CapRecUnderline	Boolean	R	Open	TRUE
CapRecCartridgeSensor	Long	R	Open	0
CapRecColor	Long	R	Open	0
CapRecMarkFeed	Long	R	Open	0
CapRecPageMode	Boolean	R	Open	FALSE
CapSlpPresent	Boolean	R	Open	FALSE
CapSlpFullslip	Boolean	R	Open	FALSE

専用	型	アクセス	初期化	初期値と備考
CapS1p2Color	Boolean	R	Open	FALSE
CapS1pBarcode	Boolean	R	Open	FALSE
CapS1pBitmap	Boolean	R	Open	FALSE
CapS1pBold	Boolean	R	Open	FALSE
CapS1pDhigh	Boolean	R	Open	FALSE
CapS1pDwide	Boolean	R	Open	FALSE
CapS1pDwideDhigh	Boolean	R	Open	FALSE
CapS1pEmptySensor	Boolean	R	Open	FALSE
CapS1pItalic	Boolean	R	Open	FALSE
CapS1pLeft90	Boolean	R	Open	FALSE
CapS1pNearEndSensor	Boolean	R	Open	FALSE
CapS1pRight90	Boolean	R	Open	FALSE
CapS1pRotate180	Boolean	R	Open	FALSE
CapS1pUnderline	Boolean	R	Open	FALSE
CapS1pBothSidesPrint	Boolean	R	Open	FALSE
CapS1pCartridgeSensor	Long	R	Open	0
CapS1pColor	Long	R	Open	0
CapS1pPageMode	Boolean	R	Open	FALSE
AsyncMode	Boolean	R/W	Open	FALSE Enabled 後に書き込み可能
CartridgeNotify	Long	R/W	Open	PTR_CN_DISABLED(0) 書き込み不可
CharacterSet	Long	R/W	Open,Claim & Enable	932 Enabled 後に書き込み可能
CharacterSetList	String	R	Open	"101,102,103,437,850,851,852,857,858, 860,863,864,865,866,869,932,998, 1252,28592,28597"
CoverOpen	Boolean	R	Open,Claim & Enable	FALSE
ErrorLevel	Long	R	Open	0
ErrorStation	Long	R	Open	0
ErrorString	String	R	Open	""
FontTypefaceList	String	R	Open	""
FlagWhenIdle	Boolean	R/W	Open	FALSE Enabled 後に書き込み可能
MapCharacterSet	Boolean	R/W	Open	TRUE
MapMode	Long	R/W	Open	PTR_MM_DOTS(1) Open 後に書き込み可能
PageModeArea	String	R	Open	""
PageModeDescriptor	Long	R	Open	0
PageModeHorizontalPosition	Long	R/W	Open	0
PageModePrintArea	String	R/W	Open	""

専用	型	アクセス	初期化	初期値と備考
PageModePrintDirection	Long	R/W	Open	0
PageModeStation	Long	R/W	Open	0
PageModeVerticalPosition	Long	R/W	Open	0
RotateSpecial	Long	R/W	Open	PTR_RP_NORMAL (1) Open 後に書き込み可能
JrnLineChars	Long	R/W	Open,Claim & Enable	0 書き込み不可
JrnLineCharsList	String	R	Open	""
JrnLineHeight	Long	R/W	Open,Claim & Enable	0 書き込み不可
JrnLineSpacing	Long	R/W	Open,Claim & Enable	0 書き込み不可
JrnLineWidth	Long	R	Open,Claim & Enable	0
JrnLetterQuality	Boolean	R/W	Open,Claim & Enable	FALSE 書き込み不可
JrnEmpty	Boolean	R	Open,Claim & Enable	FALSE
JrnNearEnd	Boolean	R	Open,Claim & Enable	FALSE
JrnCartridgeState	Long	R	Open,Claim & Enable	0
JrnCurrentCartridge	Long	R/W	Open,Claim & Enable	0 書き込み不可
RecLineChars	Long	R/W	Open,Claim & Enable	初期値はレジストリ内容によって変化 Open 後に書き込み可能
RecLineCharsList	String	R	Open	初期値はレジストリ内容によって変化
RecLineHeight	Long	R/W	Open,Claim & Enable	初期値はレジストリ内容によって変化 書き込み不可
RecLineSpacing	Long	R/W	Open,Claim & Enable	初期値はレジストリ内容によって変化 Open 後に書き込み可能
RecLineWidth	Long	R	Open,Claim &	初期値はレジストリ内容によって変化

専用	型	アクセス	初期化	初期値と備考
			Enable	
RecLetterQuality	Boolean	R/W	Open,Claim & Enable	TRUE Open 後に書き込み可能
RecEmpty	Boolean	R	Open,Claim & Enable	FALSE
RecNearEnd	Boolean	R	Open,Claim & Enable	FALSE
RecSidewaysMaxLines	Long	R	Open,Claim & Enable	初期値はレジストリ内容によって変化
RecSidewaysMaxChars	Long	R	Open,Claim & Enable	初期値はレジストリ内容によって変化
RecLinesToPaperCut	Long	R	Open,Claim & Enable	初期値はレジストリ内容によって変化
RecBarcodeRotationList	String	R	Open	"0,R90,L90,180"
RecCartridgeState	Long	R	Open,Claim & Enable	PTR_CART_UNKNOWN(268435456)
RecCurrentCartridge	Long	R/W	Open,Claim & Enable	0 書き込み不可能
RecBitmapRotationList	String	R	Open	"0"
SIpLineChars	Long	R/W	Open,Claim & Enable	0 書き込み不可能
SIpLineCharsList	String	R	Open	""
SIpLineHeight	Long	R/W	Open,Claim & Enable	0 書き込み不可能
SIpLineSpacing	Long	R/W	Open,Claim & Enable	0 書き込み不可能
SIpLineWidth	Long	R	Open,Claim & Enable	0
SIpLetterQuality	Boolean	R/W	Open,Claim & Enable	FALSE 書き込み不可能
SIpEmpty	Boolean	R	Open,Claim &	FALSE

専用	型	アクセス	初期化	初期値と備考
			Enable	
\$IpNearEnd	Boolean	R	Open,Claim & Enable	FALSE
\$IpSidewaysMaxLines	Long	R	Open,Claim & Enable	0
\$IpSidewaysMaxChars	Long	R	Open,Claim & Enable	0
\$IpMaxLines	Long	R	Open,Claim & Enable	0
\$IpLinesNearEndToEnd	Long	R	Open,Claim & Enable	0
\$IpBarcodeRotationList	String	R	Open	“”
\$IpPrintSide	Long	R	Open,Claim & Enable	0
\$IpCartridgeState	Long	R	Open,Claim & Enable	0
\$IpCurrentCartridge	Long	R/W	Open,Claim & Enable	0 書き込み不可能
\$IpBitmapRotationList	String	R	Open	“”

※アクセスの R は読み専用、R/W は読み込み、書き込み可能であることを示します。また、初期化は、初期化に必要なメソッド・プロパティを示し、Open は Open メソッド、Claim は ClaimDevice メソッド、Enable は DeviceEnabled プロパティを TRUE に設定することを意味します。初期化に必要な手続きを実行しない場合、resultCode プロパティにエラーが設定される場合があります。また、初期化条件が Open&Claim および Open,Claim&Enable 状態になっているプロパティについては、Open メソッド実行後に取得可能となります、Open,Claim &Enable 後にはじめて値が初期化される場合があるため、プロパティ取得時には条件を満たした上でアクセスを行なってください。

## メソッド

共通	必要条件
Open	--
Close	Open
ClaimDevice	Open
ReleaseDevice	Open, Claim
ClearOutput	Open, Claim & Enable※1
CheckHealth	Open, Claim & Enable
CompareFirmwareVersion	Open, Claim & Enable
DirectIO	Open, Claim & Enable※1
ResetStatistics	Open, Claim & Enable
RetrieveStatistics	Open, Claim & Enable
UpdateFirmware	Open, Claim & Enable
UpdateStatistics	Open, Claim & Enable

専用	必要条件
PrintNormal	Open, Claim & Enable
PrintTwoNormal	Open, Claim & Enable
PrintImmediate	Open, Claim & Enable
BeginInsertion	Open, Claim & Enable
EndInsertion	Open, Claim & Enable
BeginRemoval	Open, Claim & Enable
EndRemoval	Open, Claim & Enable
CutPaper	Open, Claim & Enable
RotatePrint	Open, Claim & Enable
PrintBarcode	Open, Claim & Enable
PrintBitmap	Open, Claim & Enable
TransactionPrint	Open, Claim & Enable
ValidateData	Open, Claim & Enable
SetBitmap	Open, Claim & Enable
SetLogo	Open, Claim & Enable
ChangePrintSide	Open, Claim & Enable
MarkFeed	Open, Claim & Enable
ClearPrintArea	Open, Claim & Enable
PageModePrint	Open, Claim & Enable
PrintMemoryBitmap	Open, Claim & Enable

## イベント

名称	必要条件
DirectIOEvent	Open, Claim & Enable※1
ErrorEvent	Open, Claim & Enable
OutputCompleteEvent	Open, Claim & Enable
StatusUpdateEvent	Open, Claim & Enable

※1 …OLE for Retail POS Application Programmer's Guide 日本版仕様書 第 1.10 版 とは必要条件が異なる個所です。

## 4. 2. 印字データとエスケープシーケンス

本OCXは以下のエスケープシーケンスをサポートします。

### 1) 指定時のみ、動作するエスケープシーケンス

名称	データ	内容
用紙カット	ESC  #P	レシート用紙を切れます。文字' #' は、要求されたカットのパーセンテージを示す ASCII 10 進数の文字列です。' #' を省略することも可能です。' 1' ~ ' 99' の間はパーシャルカットが、' 100' あるいは省略されている場合にはフルカットとなります。' 1' ~ ' 100' 以外の場合は無視されます。尚、POS プリンタにバッファリングされているデータがある場合（印字要求をしたが、POS プリンタに印字されていない場合）は、カットすることができません。レシートカットを行うためには行の先頭である必要があります。 また、 <b>RotatePrint</b> メソッドによる左右 90 度回転中では無効となり左右回転解除後に動作します。
フィードと用紙カット	ESC  #fP	<b>RecLinesToPaperCut</b> 行分の紙送りをした後、レシート用紙をカットします。文字' #' は、「用紙カット」エスケープシーケンスで定義されています。尚、POS プリンタにバッファリングされているデータがある場合（印字要求をしたが、POS プリンタに印字されていない場合）は、カットすることができません。レシートカットを行うためには行の先頭である必要があります。 また、 <b>RotatePrint</b> メソッドによる左右 90 度回転中では無効となり左右回転解除後に動作します。
フィードとカットと スタンプ印刷	ESC  #sP	サポートしません。
ビットマップ印刷	ESC  #B	<b>SetBitmap</b> メソッドで保存したビットマップを印刷します。' #' はビットマップ番号で、' 1' ~ ' 20' までの 20 個のビットマップ印刷をサポートしています。印字時に <b>RecLetterQuality</b> プロパティの値を変更することで印字品質の変更が可能です。印字品質の取扱については、 <b>PrintBitmap</b> メソッドと同様です。' #' を省略した場合は、文字列として扱われます。 <b>RotatePrint</b> メソッドによる左右 90 度回転中も印字動作は行いますが、ビットマップサイズによる印字領域の計算は行われないため、正常に印字されない場合があります。 "#"が省略された場合は、"B"から始まる文字列データとみなします。 "#"に <b>SetBitmap</b> メソッドで保存していない番号を指定した場合、プリンタに対してはプリントコマンドを発行しますが、印字はされません。
トップロゴ印刷	ESC  tL	<b>SetLogo</b> メソッドで保存したトップロゴを印刷します。
ボトムロゴ印刷	ESC  bL	<b>SetLogo</b> メソッドで保存したボトムロゴを印刷します。
スタンプ印刷	ESC  sL	サポートしません。

名称	データ	内容
複数行フィード	ESC  #IF	<p>複数行のフィードをします。文字' #' は、フィードする行数を示す ASCII110 進数の文字列です。もし、' #' が省略されていれば、1 行分のフィードをします。' #' は' 1' - "255" までの値をサポートします。印字データがなければ改行量にしたがった改行動作を実行し、印字データがある場合には、印字データの高さ分の改行動作を実行します。' #' の設定値が 35.4 インチ(約 900mm)を超える場合は、35.4 インチ(約 900mm)の紙送りを実行します。</p> <p><b>RotatePrint</b> メソッドによる左右 90 度回転中は、次回印字位置がフィード指定した行数を改行した後に印字されます。</p>
単位フィード	ESC  #uF	<p><b>MapMode</b> で指定された単位でフィードをします。文字' #' は、フィード量を示す ASCII110 進数の文字列です。もし、' #' が省略されていれば、各 <b>MapMode</b> における 1 単位分のフィードをします。</p> <p><b>MapMode</b> が PTR_MM_DOTS(1)の場合、' #' は' 1' - "127" までの値をサポートします。(‘1’より小さい値の場合はコマンドを実行せず、‘127’より大きい値は、‘127’が指定されたものとして実行されます)</p> <p><b>MapMode</b> が PTR_MM_TWIPS (2)の場合、' #' は' 1' - '903' までの値をサポートします。(‘1’より小さい値の場合はコマンドを実行せず、‘903’より大きい値は、‘903’が指定されたものとして実行されます)</p> <p><b>MapMode</b> が PTR_MM_ENGLISH (3)の場合、' #' は' 1' - "627" までの値をサポートします。(‘1’より小さい値の場合はコマンドを実行せず、‘627’より大きい値は、‘627’が指定されたものとして実行されます)</p> <p><b>MapMode</b> が PTR_MM_METRIC (4)の場合、' #' は' 1' - "1594" までの値をサポートします。(‘1’より小さい値の場合はコマンドを実行せず、‘1594’より大きい値は、‘1594’が指定されたものとして実行されます)</p> <p>改行量は、プリンタに設定されている改行量に影響されません。また、行の途中で実行され、指定フィード数が 1 改行未満の場合は、1 行改行されます。</p> <p><b>RotatePrint</b> メソッドによる左右 90 度回転中は、次回印字位置が単位フィード指定した値分だけ、間が開いた後に印字されます。</p>
逆フィード	ESC  #rF	サポートしません。

名称	データ	内容
埋め込みデータの送信	ESC  #E	<p>“#E”に続く文字列は、一切変更されずにデバイスへ渡されます。’#’は、ASCII10進数の文字列で、このエスケープシーケンスに続く、そのままデバイスへ渡されるべき文字列のバイト数を指定します。バイト数の上限は Long の値の整数值(2147483647)です。’#’が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとしてみなされます。文字列が制御コード及び 80H～FFH のコードは、期待通りに出力することが出来ません。この場合は、<b>BinaryConversion</b> プロパティにより OPOS_BC_NIBBLE(1),OPOS_BC_DECIMAL(2)のいずれかに設定して、印字データを設定してください。</p> <p>’#’で指定された分の印字データがエスケープシーケンスの指定後に設定されていない場合は、送信可能な印字データのみを送信します。（例：ESC 2E” a”が指定された場合、1バイトしか文字列が設定されてないため、“ a”のみを送信します。）</p> <p>また、<b>RotatePrint</b> メソッドによる左右 90 度回転中は、埋め込みデータの送信で指定されたデータ列は文字列としてカウントされないため、横幅が正確に計算できなくなります。この場合は空白等の挿入で印字幅の調整を行なってください。</p>
バーコード印刷 (次頁を参照)	ESC R	<p>バーコードを印刷します。文字’#’は、ASCII10進数の文字列で、Rに続く文字列（バーコードの特性を定義）の文字数を指定します。詳細は欄外を参照してください。</p> <p><b>RotatePrint</b> メソッドによる左右90度回転中に印字される場合がありますが、指定バーコード幅による印字領域の計算は行われないため、正常に印字されない場合があります。印字される場合は、その他指定されている文字列データがバーコード幅を超えた場合です。</p> <p>パラメータで指定可能な幅は、<b>RecLineWidth</b> プロパティの値までとなり、<b>RotateSpecial</b> プロパティの影響は受けません。</p>

アプリケーションは ESC|#R エスケープシーケンスを利用することにより、バーコードを印刷することができます。文字' #' は、R に続く文字列（バーコードの特性を定義）の文字数を指定します。

R に続く文字列では、小文字のアルファベットと数値を使用して、バーコードの特性を指定します。数値には、PrintBarCode メソッドのために定義された定数が利用できます。

属性を示す文字は以下の通りです。

s	symbology (バーコードタイプ)
h	height (バーコードの高さ)
w	width (バーコードの幅)
a	alignment (バーコードの位置)
t	text position (HRI 文字列の位置)
d	start of data (バーコードデータの開始位置)
e	end of data (バーコードデータの終了位置)

属性は、上記のリストで示された順番で必ず記述しなければなりません（省略不可）。UPC-A を、センタリング、バーコードの下に HRI 文字列を印字、200dot 高さ、400dot 幅、の条件で印刷する場合の例を以下に示します。

ESC|33Rs101h200w400a-2t-13d123456789012e

※上記例で使用されている定数の定義をヘッダーファイルから抜粋したものを以下に示します。

```
const LONG PTR_BCS_UPCA      = 101; // Digits
const LONG PTR_BC_CENTER     = -2;
const LONG PTR_BC_TEXT_BELOW = -13;
```

また、各パラメータの閾値は下記のようになります。閾値をオーバーした場合には、バーコードは印字されません。

バーコード	Width(dot)	Height(dot)	Alignment
1次元バーコード	個々のバーコードの最小幅 ～ <b>RecLineWidth</b>	1～255	<b>PrintBarcode</b> メソッドで定義されているすべての値が指定可能
1次元バーコード <b>RotatePrint</b> メソッド左右 90 度回転中	個々のバーコードの最小幅 ～ <b>RecLineWidth</b>	1～255	<b>PrintBarcode</b> メソッドで定義されているすべての値が指定可能
PDF417	172～ <b>RecLineWidth</b>	12～831	<b>PrintBarcode</b> メソッドで定義されているすべての値が指定可能
PDF417 <b>RotatePrint</b> メソッド左右 90 度回転中	172～831	12～ <b>RecLineWidth</b>	指定した値に限らず、すべて左寄せとなる

## 2) 印字中に、動作するエスケープシーケンス

明確に変更されるまで、その状態を保つ属性があります。

名称	データ	内容
フォントタイプ指定	ESC  #fT	サポートしません

### (3) 印字時に、動作するエスケープシーケンス

各印刷メソッドの終わりや、あるいは”ノーマル”シーケンスによってリセットされる属性があります。

名称	データ	内容
ボールド	ESC  (!)bC	ボールド体で印刷します。 ’!’が指定された場合は、ボールドを無効にします。
アンダーライン	ESC  #uC	アンダーラインと共に印刷します。文字”#”は、アンダーラインの太さ(ドット単位)を示すASCII10進数の文字列です。 1ドット、2ドットのアンダーラインのみサポートしています。 省略時は、1ドットのアンダーラインを印字します。
イタリック	ESC  (!)iC	サポートしません。
カスタムカラー	ESC  #rC	サポートしません。
赤色	ESC  rC	レシートの第2色目で印字します。 プリンタ設定の”印字色”が”2色”に設定されているときのみ印字が可能です。 設定プログラムにて、Color = monoに指定されている場合は、このエスケープシーケンス指定による影響はありません。
反転文字	ESC  (!)rvC	明暗を反対にして印刷します。 ’!’が指定された場合は、反転文字を無効にします。
網掛け文字	ESC  #sC	サポートしません。
縦横1倍角	ESC  1C	通常の大きさで印刷します。
横倍角	ESC  2C	横倍角文字で印刷します。
縦倍角	ESC  3C	縦倍角文字で印刷します。
縦横倍角	ESC  4C	縦横倍角文字で印刷します。
横倍率	ESC  #hC	文字を横方向に拡大して印刷します。文字”#”は、横方向の拡大倍率を示すASCII10進数の文字列で、1~8倍までサポートしています。 ”#”省略時は1倍の大きさで印刷します。
縦倍率	ESC  #vC	文字を縦方向に拡大して印刷します。文字”#”は、縦方向の拡大倍率を示すASCII10進数の文字列で、1~8倍までサポートしています。 ”#”省略時は1倍の大きさで印刷します。
色指定	ESC  #fC	サポートしません。
中央揃え	ESC  cA	中心に以下のテキストを整列させます。行の先頭で指定しなければ有効となりません。 RotatePrintメソッドによる左右90度回転中は無効となります。
右寄せ	ESC  rA	右に以下のテキストを整列させます。行の先頭で指定しなければ有効となりません。 RotatePrintメソッドによる左右90度回転中は無効となります。
ノーマル	ESC  N	POSプリンタの属性を通常の状態に回復させます。属性を変更する場合は、ノーマルシーケンスで属性のリセットを行ってください。行の先頭でなければ、中央揃え、右寄せを回復させることはできません。
サブスクリプト	ESC  (!)tbC	サポートしません。
スーパースクリプト	ESC  (!)tpC	サポートしません。

#### 4. 3. 共通プロパティ

POS プリンタに対して共通に提供されるプロパティを説明します。

プロパティは読み込み専用のものと、読み込み、書き込み可能なものの 2 種類が存在します。書き込み可能なプロパティには、R/W をプロパティ名の横に記述します。

また、戻り値は特別な意味合いがあるものについてのみ明記します。初期化条件を満たさずにアクセスした場合のエラーについては、resultCode プロパティを参照してください。

#### BinaryConversion プロパティ R/W

---

##### 形式

```
LONG BinaryConversion;
```

##### 説明

OPOS は BString を使用してマルチキャラクタ入力／出力を受け渡します。BString は安全にテキストデータに使用できます。Bstring はアプリケーションと OPOS コントロールの間の受け渡し時に、OLE は Unicode コードから、または Unicode コードへと、言語固有の変換を行います。BString がバイナリデータの受け渡しに使用される場合、アプリケーションでの BString 文字内のデータバイトがコントロールでの対応データと適合しない時は、これらの変換は元のデータを変更してしまう場合があります。Unicode コードキャラクタがアプリケーションやコントロールに渡される時、各コンポーネントの言語固有の違いが誤解釈を引き起こすため、この不適合は BString ポインタが使用されている場合にも起こり得ます。

0x00 から 0x7F までの文字は問題ありません。0x80 から 0xFF までの文字のみが時々不正な変換を引き起こします。

本仕様書では、BinaryConversion に影響されるプロパティとメソッドのパラメータについては、各々のプロパティとメソッドの説明箇所に、以下の行が記述されています。

このデータのフォーマットは BinaryConversion プロパティの値に依存します。詳細は BinaryConversion プロパティを参照してください。

**BinaryConversion** の値は以下の通りです。

値	意味
OPOS_BC_NONE(0)	データは変換されずに Bstring 一文字は 1 バイトで格納されます。 (デフォルト)
OPOS_BC_NIBBLE(1)	各バイトは二つの文字に変換されます。(このオプションでバイナリと ASCII 文字間の最速変換ができます。) 各データバイトは以下のように変換されます。 第一文字=0x30+データバイトの 7-4 ビット 第二文字=0x30+データバイトの 3-0 ビット 例: バイト値 154=0x9A は文字 0x39 0x3A (文字列" 9:") の文字に変換されます。この変換方法は、バイト値 154=0x9A をコード 0x39 0x41 (文字列の" 9A") の文字に変換する、一般的な 16 進値の ASCII 文字変換とは異なります。
OPOS_BC_DECIMAL(2)	各バイトは三つの文字に変換されます。VAL (string) は ASCII からバイナリへ変換するために各 3 文字で使用されます。各バイトから 3 つの ASCII 文字を作成するために RIGHT("^^"+STR(byte),3) が使用され、' ^' はスペース文字を表します。 例 1: バイト値 154=0x9A は、文字 0x31 0x35 0x34 になります (= 文字列" 154")。 例 2: バイト値 8 は、文字 0x30 0x30 0x38 になります (= 文字列" 008")。

**BinaryConversion** 設定時 (OPOS\_BC\_NONE(0) でない場合) で、プロパティやメソッドパラメータが **BinaryConversion** の指定が適用される場合は、アプリケーションは、プロパティの設定とメソッドパラメータの受け渡し前に、文字列データを **BinaryConversion** 値に指定されたフォーマットに変換する必要があります。

このプロパティは **Open** メソッドにより OPOS\_BC\_NONE(0) に初期化されます。

#### 戻り値

本プロパティ設定時、次の値のいずれかが **resultCode** プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティの設定に成功しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な値が指定されました。

## CapCompareFirmwareVersion プロパティ

---

### 形式

BOOL CapCompareFirmwareVersion;

### 説明

TRUE ならばサービス/デバイスは、ファームウェアファイルのバージョンと物理デバイス内のファームウェアバージョンを比較する機能を有します。

このプロパティは **Open** メソッドにより TRUE に初期化されます。

## CapPowerReporting プロパティ

---

### 形式

LONG CapPowerReporting;

### 説明

デバイスの電源通知能力を識別します。電源通知能力を示す値は下記の通りです。

値	意味
OPOS_PR_STANDARD(1)	S0 は 2 種類の電源状態を判断し、通知が可能です。(ONLINE と OFF_OFFLINE)
	このプロパティは <b>Open</b> メソッドにより初期化されます。

## CapStatisticsReporting プロパティ

---

### 形式

BOOL CapStatisticsReporting;

### 説明

このプロパティは **Open** メソッドにより **FALSE** に初期化されます。スタティスティクスの通知はサポートしません。

## CapUpdateFirmware プロパティ

---

### 形式

BOOL CapCompareFirmwareVersion;

### 説明

このプロパティは **Open** メソッドにより **TRUE** に初期化されます。ファームウェアのアップデートが可能です。

## CapUpdateStatistics プロパティ

---

### 形式

BOOL CapUpdateStatistic;

### 説明

このプロパティは **Open** メソッドにより **FALSE** に初期化されます。スタティスティクスの通知はサポートしません。

## CheckHealthText プロパティ

---

### 形式

BSTR CheckHealthText;

### 説明

直前に呼び出した **CheckHealth** メソッドの結果を保持します。以下に診断結果の例を示します

- ・ Internal の場合                    “Internal HCheck: Successful”            “Internal HCheck: OFF/OFFLINE”
- ・ External の場合                    “External HCheck : Not Supported”
- ・ Interactive の場合                “Interactive HCheck : Not Supported”

最初の **CheckHealth** メソッド呼び出し以前に、この値は（空文字）に初期化されています。

## Claimed プロパティ

---

### 形式

BOOL Claimed;

### 説明

**TRUE**：デバイスの排他アクセス権が獲得されています。

**FALSE**：デバイスはほかのアプリケーションと共有できるよう解放されています。

**Claimed** プロパティの値は **Open** メソッドによって **FALSE** に初期化されます。

## ControlObjectDescription プロパティ

---

### 形式

BSTR ControlObjectDescription;

### 説明

“MC300 LAN POS Printer Control Object” が設定されています。

このプロパティでコントロールオブジェクトを識別します。コントロールオブジェクトとそれを製造している会社を示す文字列で、いつでも読み取り可能です。

## ControlObjectVersion プロパティ

---

### 形式

LONG ControlObjectVersion;

### 説明

“1010XXX” が設定されています。コントロールオブジェクトバージョン番号を示します。次の3つのバージョンレベルが設定されています。

バージョンレベル	説明
メジャー	百万の位 OPOS メジャーバージョンレベルを示します。
マイナー	千から十万までの位 OPOS マイナーバージョンレベルを示します。本 OPOS コントロールは、OPOS バージョン 1.10 準拠のため、常に 10 が設定されています。
ビルド	一から百までの位 コントロールオブジェクトに修正を行うと更新されます。

このプロパティはいつでも読み取り可能です。(XXX は、コントロールオブジェクトの提供時期によって異なります。)

## DeviceDescription プロパティ

---

### 形式

BSTR DeviceDescription;

### 説明

“NEC MC300S2DC 1 Station Thermal POSPrinter” が設定されています。

このプロパティはデバイスを識別する文字列で、デバイスとそれに関連する情報を示します。

このプロパティは **Open** メソッドによって初期化されます。

## DeviceEnabled プロパティ R/W

### 形式

BOOL DeviceEnabled;

### 説明

#### TRUE :

デバイスはイネーブルにされています（動作状態です）。TRUE に変更するとイネーブルにされます。

#### FALSE :

デバイスはディセーブルにされています。FALSE に変更すると、ディセーブルにされます。

デバイスを使用する前に、アプリケーションはこのプロパティを TRUE に設定しなければなりません。

また、DeviceEnabled が TRUE の間、デバイスの接続状態(PowerReporting)が通知されます。このプロパティは Open メソッドにより FALSE に初期化されます。

### 戻り値

本プロパティ設定時、次の値のいずれかが ResultCode プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティの設定に成功しました。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他使用デバイスをイネーブルにするには、その前に排他アクセス権を獲得しなければなりません。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタがオフ／オフラインか、ケーブルが接続されていないか、レジストリから取得した IP アドレスにプリンタが接続されていません。これらを解消した後、もう一度実行してください。 ※USB インターフェースの場合、POS プリンタを接続していても、POS プリンタに設定されているシリアル番号とレジストリに設定されたシリアル番号が異なる場合は、このエラーが発生します。 ※LAN インターフェースの場合、ネットワーク上に POS プリンタを接続していても、POS プリンタの IP アドレスとレジストリに設定された IP アドレスが異なる場合は、このエラーが発生します。 接続ポートのオープンに失敗しました。他のプログラムから接続ポートが使用されていないか、接続ポートが存在しているかを確認した後、もう一度実行してください。
OPOS_E_FAILURE(111)	USB インターフェースの場合、同時に 2 台以上の未設定のプリンタを接続していないこと、他方のポート（例えば、MC300USBPRT を使用している場合は MC300USB2PRT）を使用していないことを確認してください。 複数台接続の場合、設定に誤りがある可能性があるため、もう一度一台ずつ設定してください。
OPOS_E_TIMEOUT(112)	POS プリンタに接続できませんでした。カバーが開いているか、用紙切れの可能性があります。
OPOS_E_BUSY(113)	処理中の為、プロパティの設定に失敗しました。処理終了後にプロパティを設定してください。
その他	ResultCode プロパティを参照してください。

## DeviceName プロパティ

---

### 形式

BSTR DeviceName;

### 説明

“NEC MC300S2DC 1 Station Thermal POSPrinter” が設定されています。

このプロパティは、デバイスとそれに関連する情報を示します。DeviceDescription プロパティの短縮バージョンで、30 文字までに制限されています。このプロパティは Open メソッドにより初期化されます。

## FreezeEvents プロパティ R/W

---

### 形式

BOOL FreezeEvents;

### 説明

TRUE の場合、コントロールからイベントが通知されません。

凍結が解除されるまで、イベントはコントロールが保持しています。

FALSE の場合、コントロールからイベントが通知されます。凍結されていた間に保持されたイベントがあれば、FreezeEvents を FALSE に変更すると、そのイベントが通知されます。

イベントによる割り込みが望ましくない状況で、アプリケーションはイベントの凍結を選択できます。ErrorEvent を凍結した場合、State プロパティが OPOS\_S\_BUSY(3) となります。この場合、コントロールをクローズすることができなくなりますので、この場合は、ClearOutput メソッドで凍結中のイベントを破棄するか、TRUE に設定して、ErrorEvent を発生させた後、Close メソッドを実行してください。

このプロパティは Open メソッドにより FALSE に初期化されます。

### 戻り値

本プロパティ設定時、次の値が ResultCode プロパティに格納されます。

値	意味
---	----

OPOS_SUCCESS(0)	プロパティの設定に成功しました。
-----------------	------------------

## OpenResult プロパティ

---

### 形式

LONG OpenResult;

### 説明

最新の **Open** メソッドでの結果を保持しています。 **OpenResult** の値は下記の通りです。

値	意味
OPOS_SUCCESS (0)	オープンが成功しました。
OPOS_OR_ALREADYOPEN (301)	すでにオープンされています。
OPOS_OR_REGBADNAME (302)	レジストリに指定したデバイス名称キーが存在しません。あるいはデバイス名が指定されていません。
OPOS_OR_REGPROGID (303)	デバイス名キーのデフォルト値が読めないか、そこに保持されたプログラマティク ID を有効なクラス ID に変換できませんでした。
OPOS_OR_CREATE (304)	サービスオブジェクトインスタンスを生成できなかったか、 <b>IDispatch</b> インターフェースを取得できませんでした。LAN インターフェース接続時に <b>SxJcp32.dll</b> が見つからない場合も、このパラメータが設定されます。
OPOS_OR_BADIF (305)	サービスオブジェクトは指定版数で要求される一つ、もしくはそれ以上のメソッドをサポートしていません。デバイス名の設定が、MultiCoder 300S2DC POS プリンタサービスオブジェクトと異なっている可能性があります。

このプロパティは **Open** メソッドで初期化されます。

## OutputID プロパティ

---

### 形式

LONG OutputID;

### 説明

非同期要求 (**AsyncMode** プロパティが **TRUE** に設定されているときの、非同期対応メソッドの呼び出し) を一意に識別するための識別子を保持しています。

メソッドが同期・非同期出力の開始に成功すると、コントロールはリクエストに識別子を割り当てます。非同期出力の場合、出力が完了すると、**OutputCompleteEvent** を通知して、その出力 ID をパラメータとして渡します。

出力 ID 番号は、1～65535 の間でサイクリックに採番されます。

## PowerNotify プロパティ R/W

### 形式

LONG PowerNotify;

### 説明

アプリケーションから設定された電源通知機能のタイプです。

電源通知機能を示す値は下記のとおりです。

値	意味
OPOS_PN_DISABLED(0)	コントロールはアプリケーションに対していかなる電源通知を提供しません。電源通知に関する StatusUpdateEvent は通知されず、また PowerState プロパティには何も設定されません。 (デフォルト値)
OPOS_PN_ENABLED(1)	DeviceEnabled が TRUE に設定されると、コントロールは電源通知に関する StatusUpdateEvent の通知、PowerState プロパティの更新が行われます。

PowerNotify プロパティは、デバイスがディセーブルの間、すなわち DeviceEnabled プロパティが FALSE の間のみ設定が可能です。

### 戻り値

本プロパティ設定時、次の値のいずれかが ResultCode プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティの設定に成功しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	次のいずれかが発生しました： <ul style="list-style-type: none"><li>・ デバイスは既にイネーブル。</li><li>・ プロパティ設定値が不正。</li></ul>
その他	ResultCode の項目を参照してください。

## PowerState プロパティ

### 形式

```
LONG PowerState;
```

### 説明

**PowerNotify** が **OPOS\_PN\_ENABLED(1)** の間、現在のデバイスの電源状態が設定されます。電源状態を示す値は下記のとおりです。

値	意味
OPOS_PS_UNKNOWN(2000)	下記の理由のいずれかにより、デバイスの電源状態の判断ができません。(デフォルト値) <b>PowerNotify</b> = <b>OPOS_PN_DISABLED(0)</b> で電源通知機能がディセーブル。 <b>DeviceEnabled</b> = <b>FALSE</b> 、電源状態監視はデバイスがイネーブルになるまで動作せず。
OPOS_PS_ONLINE(2001)	デバイスは電源オンでかつレディ状態です。
OPOS_PS_OFF_OFFLINE(2004)	デバイスは電源オフ、または本体に接続されていません。復旧方法については、 <b>ResultCode</b> プロパティの <b>OPOS_E_NOHARDWARE(107)</b> を参照してください。

このプロパティは、**Open** メソッドにより **OPOS\_PS\_UNKNOWN(2000)** に初期化されます。**PowerNotify** が **OPOS\_PN\_ENABLED(1)** にセットされ、**DeviceEnabled** が **TRUE** の場合、このプロパティは **SO** が検出した電源状態の検出に従い更新されます。

## ResultCode プロパティ

### 形式

```
LONG ResultCode;
```

### 説明

このプロパティは各メソッドが設定します。プロパティを取得したときや書き込み可能プロパティを設定したときも設定されます。

このプロパティはいつでも読み取り可能です。Open メソッドを呼び出すまでは、OPOS\_E\_CLOSED(101) を戻します。結果コードの値は次のとおりです。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	正常動作。
OPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
OPOS_E_NOTCLAIMED(103)	メソッドまたはプロパティ設定処理を使用する前に、排他アクセス権の獲得をしなければならない排他使用デバイスにアクセスしようとしました。
OPOS_E_NOSERVICE(104)	コントロールがサービスオブジェクトと通信できません。おそらく、セットアップエラーかコンフィギュレーションエラーを修正しなければなりません。
OPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	デバイスに無効な動作か、サポートされていない動作を実行しようとしたか、無効なパラメータ値を使用しました。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタがオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_FAILURE(111)	デバイスがシステムに接続され、電源が入っていて、オンラインですが、リクエストされた処理をデバイスが実行できません。
OPOS_E_TIMEOUT(112)	デバイスからの応答を待ち合わせていたサービスオブジェクトがタイムアウトしたか、サービスオブジェクトからの応答を待ち合わせていたコントロールがタイムアウトしました。
OPOS_E_BUSY(113)	現在の S0 の状態は、この要求を受け付けられません。例えば、非同期出力が実行中の場合、いくつかのメソッドは受け付けられません。
OPOS_E_EXTENDED(114)	固有エラー状態が発生しました。resultCodeExtended プロパティでエラー状態コードを確認できます。

## resultCodeExtended プロパティ

### 形式

```
LONG resultCodeExtended;
```

### 説明

`resultCode` が `OPOS_E_EXTENDED`(114) の場合、このプロパティにデバイスクラスの説明で記述されているクラス固有のエラー情報値が設定されます。

`resultCode` が別の値の場合、サービスオブジェクトが SO 固有の値をこのプロパティに設定できます。これらの値に意味があるのは、アプリケーションが SO 固有の値を追加して処理する場合だけです。

本 OPOS コントロールでは、下記の値をとります。

resultCodeExtended	定数名（内容）	詳細
201	OPOS_EPTR_COVER_OPEN	プリンタカバーが開いています。 エラーを復旧するには、カバーを閉じてください。このとき、OCX をディセーブル、 <code>ReleaseDevice</code> , <code>Close</code> する必要はありません。印字途中でカバーオープンが発生した場合、カバークローズ後は未印字データが印字されます。ただし、印字データが途切れで印字される可能性があります。
203	OPOS_EPTR_REC_EMPTY	レシート切れが発生しました。エラーを復旧するには、レシート紙を給紙してください。このとき、OCX を ディセーブル、 <code>ReleaseDevice</code> , <code>Close</code> する必要はありません。印字途中でレシート切れが発生した場合、レシート給紙後は未印字データが印字されます。
206	OPOS_EPTR_TOOBIG	ビットマップが大きすぎて、プリンタが処理できません ビットマップファイルを確認してください。
207	OPOS_EPTR_BADFORMAT	ビットマップファイルのフォーマットとして正しくありません。 ファイル名が間違っているか、ファイルの内容が壊れている可能性があります。
281	OPOS_EFIRMWARE_BAD_FILE	ファームウェアファイルのフォーマットとして正しくありません ファイル名が間違っているか、ファイルの内容が壊れている可能性があります。

ResultCodeExtended	定数名（内容）	詳細
10001	OPOS_FIT_EPTR_BLACKMARK	プリンタから黒マークセンサエラーが発生しました。用紙が黒マーク対応でない可能性があります。このとき、OCX をディセーブル、ReleaseDevice, Close する必要はありません。レシートを黒マーク対応のものに変更してください。※設定プログラムで黒マークエラー検知をオン(Black Mark を Enable にチェック)にしていない場合は発生しません。
10003	OPOS_FIT_EPTR_FATAL	プリンタにて致命的エラーが発生しました。復旧方法はありませんので、OCX を Close してください。
10006	OPOS_FIT_EPTR_OVERHEAT	プリンタヘッド昇温エラーが発生しました。エラーを復旧するには、ヘッド温度が低下するのを待って、再びエラーが発生しなくなるまで時間をおいてください。このとき、OCX を ディ セ ー ブ ル 、ReleaseDevice, Close する必要はありません。印字途中でヘッド昇温が発生した場合、ヘッド温度回復後は未印字データが印字されます。ただし、印字データが途切れで印字される可能性があります。

## ServiceObjectDescription プロパティ

---

### **形式**

**BSTR ServiceObjectDescription;**

### **説明**

“NEC MC300 POS Printer Service Object” が設定されています。

このプロパティは **Open** メソッドによって初期化されます。

## ServiceObjectVersion プロパティ

---

### **形式**

**LONG ServiceObjectVersion;**

### **説明**

“1010XXX” が設定されています。サービスオブジェクトバージョン番号を示します。(XXX は、サービスオブジェクトの提供時期によって異なります。) このプロパティは **Open** メソッドによって初期化されます。

## State プロパティ

---

### **形式**

**LONG State;**

### **説明**

コントロールの現在の状態を示します。

<b>値</b>	<b>意味</b>
OPOS_S_CLOSED(1)	コントロールはクローズしています。(デフォルト)
OPOS_S_IDLE(2)	コントロールは正常な状態にあり、ビジーではありません。
OPOS_S_BUSY(3)	コントロールは正常な状態にあり、出力を実行しているためビジーです。
OPOS_S_ERROR(4)	エラーが報告され、通常の I/O を再開するには、その前にアプリケーションがコントロールを正常な状態に戻さなければなりません。

このプロパティはいつでも読み取り可能です。

#### 4. 4. 共通メソッド

POS プリンタに対して共通に提供されるメソッドを説明します。

##### CheckHealth メソッド

###### 形式

```
LONG CheckHealth (LONG Level);
```

*Level* パラメータは、デバイスで実行するヘルスチェックのタイプを示します。以下の値を指定できます。

値	意味
OPOS_CH_INTERNAL(1)	オンラインチェックを行います。結果を以下のように <b>CheckHealthText</b> プロパティに設定します。 POS プリンタが POS に接続されている (LAN プリンタの場合はネットワークに接続されている) 且つ、電源 ON の場合、 <b>CheckHealth</b> プロパティに "Internal HCheck: Successful" が設定されます。POS プリンタが POS に接続されていない (LAN プリンタの場合はネットワークに接続されていない)、あるいは電源が入っていない場合、 <b>CheckHealth</b> プロパティに "Internal HCheck: OFF/OFFLINE" が設定されます。
OPOS_CH_EXTERNAL(2)	本 OCX ではサポートされません。 <b>CheckHealth</b> プロパティに "External Hcheck:Not Supported" が設定されます。
OPOS_CH_INTERACTIVE(3)	OPOS_E_ILLEGAL(106) を返します。 本 OCX ではサポートされません。 <b>CheckHealth</b> プロパティに "External Hcheck:Not Supported" が設定されます。 OPOS_E_ILLEGAL(106) を返します。

###### 説明

デバイスの状態をテストするときに呼び出します。このメソッドの結果は **CheckHealthText** プロパティに格納されます。**CheckHealth** メソッドは常に同期です。

###### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**resultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	ヘルスチェックプロシージャが適切に開始されたことを示し、確認できた場合、デバイスが正常であることを示します。しかし、正常かどうかはテスト結果を見ないと決定できません。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	サポートされていない <i>Level</i> パラメータが指定されました。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	OPOS_CH_INTERNAL(1) を指定して実行した結果、オフラインでした。
OPOS_E_BUSY(113)	出力が進行中の間、実行できません。
その他	<b>resultCode</b> の項目を参照してください。

## ClaimDevice メソッド

### 形式

```
LONG ClaimDevice (LONG Timeout);
```

*Timeout* パラメータは、排他アクセス権を獲得するまでの最大待ち時間（ミリ秒単位）を示します。

ゼロの場合、メソッドはデバイスの排他アクセスが獲得できなかった場合でも、その結果を直ちに戻します。

**OPOS\_FOREVER(-1)**が設定されている場合は、メソッドは排他アクセス権が獲得できるまで必要なだけ待ちます。

### 説明

デバイスに対して排他アクセスを要求するときに、このメソッドを呼び出します。

POS プリンタデバイスは排他アクセス権を獲得しなければ、使用することはできません。

成功すると、**Claimed** プロパティは **TRUE** に設定されます。

**ClaimDevice** メソッドを実行すると、POS プリンタデバイスとの接続を確立し、処理可能な状況であることを確認します。処理可能であれば、固定データを要求し、**ClaimDevice** メソッドは正常終了します。

### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	排他アクセス権が認められました。 <b>Claimed</b> プロパティは <b>TRUE</b> になっています。このアプリケーションがすでにデバイスを排他アクセスしていた場合も戻されます。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	無効な <i>Timeout</i> パラメータが指定されています。
OPOS_E_TIMEOUT(112)	別のアプリケーションがデバイスに排他アクセスしていて、解放されるのを待っていましたが <i>Timeout</i> 時間（ミリ秒単位）が過ぎました。もししくは、 <i>Timeout</i> 時間（ミリ秒）経過しても、POS プリンタデバイスが処理可能な状態になりませんでした。

## ClearOutput メソッド

### 形式

```
LONG ClearOutput();
```

### 説明

`PrintNormal`, `CutPaper`, `RotatePrint`, `PrintBarcode`, `PrintBitmap`, `TransactionPrint` の各メソッドの非同期発行によりバッファリングされている全てのデバイス出力をすべてクリアするときに呼び出します。また、`RotatePrint` メソッド、`TransactionPrint` メソッドにより回転モード、一括処理モード中の場合、解除を行ないます。

保留になっていた出力エラーイベント (`FreezeEvents` が `FALSE` に設定されるのを待ち合わせているもの) もクリアされます。

### 戻り値

次の値が戻され、`resultCode` プロパティにも格納されます。

値	意味
<code>OPOS_SUCCESS(0)</code>	出力がクリアされました。
<code>OPOS_E_FAILURE(111)</code>	デバイスは他のプロセスにより排他アクセスされています。
その他	<code>resultCode</code> の項目を参照してください。

## Close メソッド

### 形式

```
LONG Close();
```

### 説明

デバイスとそのリソースを解放するときに呼び出します。

`DeviceEnabled` プロパティが `TRUE` の場合、まずデバイスがディセーブルにされます。

`Claimed` プロパティが `TRUE` の場合、まずデバイスの排他アクセスが解除されます。

イベント処理中（イベントハンドラ内）では実行しないでください。

### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、`resultCode` プロパティにも格納されます。

値	意味
<code>OPOS_SUCCESS(0)</code>	デバイスがディセーブルにされ、クローズしました。
<code>OPOS_E_BUSY(113)</code>	非同期処理が実行中です。
その他	<code>resultCode</code> の項目を参照してください。

## CompareFirmwareVersion メソッド

### 形式

```
LONG CompareFirmwareVersion (String FirmWareFileName, Long result);
```

パラメータ	説明
FirmWareFileName	デバイスのファームウェアとバージョンを比較するファームウェアファイルのファイル名を示します。
result	比較結果が戻されます。
	OPOS_CFW_FIRMWARE_OLDER (1) ファームウェアファイルのバージョンが、デバイスのファームウェアより古いことを示します。
	OPOS_CFW_FIRMWARE_SAME(2) ファームウェアファイルのバージョンが、デバイスのファームウェアと同じであることを示します。
	OPOS_CFW_FIRMWARE_NEWER(3) ファームウェアファイルのバージョンが、デバイスのファームウェアより新しいことを示します。
	OPOS_CFW_FIRMWARE_UNKNOWN(5) 二つのファームウェアのバージョン間の繋がりが確定できません。

### 説明

このメソッドは、引数で示されるファイル名に含まれるファームウェアファイルのバージョンと POS プリンタのファームウェアのバージョンを比較して、ファームウェアファイルのバージョンが新しい、古い、同じであるということを決定します。

ファームウェアファイルのバージョンは、*FirmWareFileName* パラメータの先頭から最初に見つかった連続する 6 枠の数値を、ファームウェアファイルのバージョンとします。例えば、*FirmWareFileName* パラメータに "01rm012345.hx5" を設定した場合、"012345" が比較するファームウェアファイルのバージョンとして認識されます。POS プリンタのバージョンは、メソッドが実行される都度、POS プリンタへコマンドを送信することにより取得します。

バージョン比較方法は、まず、POS プリンタから取得したバージョンの上4桁とファームウェアファイルのバージョンの上4桁を文字列比較し、異なっていた場合は *result* パラメータに OPOS\_CFW\_FIRMWARE\_UNKNOWN(5) をセットします。

上4桁が等しい場合、下2桁を数値比較し、ファームウェアファイルのバージョンが小さい場合は OPOS\_CFW\_FIRMWARE\_OLDER (1) をセットします。POS プリンタのバージョンが小さい場合は OPOS\_CFW\_FIRMWARE\_NEWER(3) をセットします。

等しい場合は、OPOS\_CFW\_FIRMWARE\_SAME(2) をセットします。

### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	バージョンの比較に成功しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	ファームウェアファイル名として不正な引数が指定されました。
その他	<b>ResultCode</b> の項目を参照してください。

## DirectIO メソッド

### 形式

```
LONG DirectIO (LONG Command, LONG* pData, BSTR* pString);
```

### 説明

本 OCX では、Binary 文字列の同期・非同期送信、16 進数文字列の変換同期・非同期送信をサポートします。

#### Binary 文字列の同期送信

<b>Command</b>	OPOS_FIT_DIO_BIN_SYNC(0) OPOS_FIT_DIO_BIN_IMMEDIATE(1) OPOS_FIT_DIO_BIN_REALTIME(2)
<b>pData</b>	未使用
<b>pString</b>	IN Binary 文字列
<b>機能</b>	<p>現在の <b>BinaryConversion</b>(OPOS_BC_NONE での送信と等価)に影響されず に、Binary 文字列を POS プリンタに同期送信します。このコマンドにより、POS プリンタに直接コマンドを送信することが可能となります。 Binary 文字列は以下のフォーマットとなります。</p> <p>&amp;H00 ~ &amp;Hff(&amp;HFF)</p> <p>プリンタ側にパーシャルカットコマンド(1BH 6DH)を送信する場合には 以下のように設定を行います。</p> <p>“&amp;H1B&amp;H6D”（アルファベットは小文字も許容） HEX として認められない文字は無視します。</p> <p>例：</p> <p>“ABCD&amp;H00EFG” を送信した場合、プリンタ側には、” 0x00” のみが 送信されます。</p>

#### 16 進数文字列の変換同期送信

<b>Command</b>	OPOS_FIT_DIO_HEX_SYNC(5)
<b>pData</b>	未使用
<b>pString</b>	IN 16 進数文字列
<b>機能</b>	<p>現在の <b>BinaryConversion</b>(OPOS_BC_NONE での送信と等価)に影響されず に、16 進数文字列文字列をプリンタに同期送信します。このコマンドにより、プリンタに直接コマンドを送信することが可能となります。</p> <p>1 バイトを 2 バイトのキャラクタ文字で表します。</p> <p>&amp;H00 → ‘00’</p> <p>キャラクタは、’ 0’ ~’ 9’ , ’A’ ~’ F’ , ’a’ ~’ f’ が有効です。</p> <p>上記以外のキャラクタが 1 つでも存在した場合は、コマンドを送信せず、 OPOS_E_ILLEGAL(106)を返します。</p>

## Binary 文字列の非同期送信

<b>Command</b>	OPOS_FIT_DIO_BIN_ASYNC(6)
<b>pData</b>	未使用
<b>pString</b>	IN Binary 文字列
<b>機能</b>	<p>現在の <b>BinaryConversion</b>(OPOS_BC_NONE での送信と等価)に影響されずに、Binary 文字列をプリンタに非同期送信します。このコマンドにより、プリンタに直接コマンドを送信することが可能となります。実行後、<b>OutputCompleteEvent</b> が上がります。</p> <p>Binary 文字列は以下のフォーマットとなります。</p> <p style="padding-left: 2em;">&amp;H00 ~ &amp;Hff(&amp;HFF)</p> <p>プリンタ側にパーシャルカットコマンド(1BH 6DH)を送信する場合には以下のように設定を行います。</p> <p style="padding-left: 2em;">“&amp;H1B&amp;H6D”（アルファベットは小文字も許容）</p> <p>HEX として認められない文字は無視します。</p> <p>例：</p> <p style="padding-left: 2em;">“ABCD&amp;H00EFG” を送信した場合、プリンタ側には、” 0x00” のみが送信されます。</p>

## 16 進数文字列の変換非同期送信

<b>Command</b>	OPOS_FIT_DIO_HEX_ASYNC(7)
<b>pData</b>	未使用
<b>pString</b>	IN 16 進数文字列
<b>機能</b>	<p>現在の <b>BinaryConversion</b>(OPOS_BC_NONE での送信と等価)に影響されずに、16 進数文字列文字列をプリンタに非同期送信します。このコマンドにより、プリンタに直接コマンドを送信することが可能となります。実行後、<b>OutputCompleteEvent</b> が上がります。</p> <p>1 バイトを 2 バイトのキャラクタ文字で表します。</p> <p style="padding-left: 2em;">&amp;H00 → ‘00’</p> <p>キャラクタは、’ 0’ ~’ 9’ , ’A’ ~’ F’ , ’a’ ~’ f’ が有効です。上記以外のキャラクタが 1 つでも存在した場合は、コマンドを送信せず、OPOS_E_ILLEGAL(106)を返します。</p>

Enable 後の全ての呼び出しに対して、これらのコマンド以外の値が、**Command** に設定された場合、OPOS\_E\_ILLEGAL(106)を返します。また、**DirectIO** メソッドは、**TransactionPrint**, **RotatePrint** メソッドにてバッファリングされます。この場合、**DirectIO** メソッドの同期・非同期送信については、**TransactionPrint** メソッド、**RotatePrint** メソッドが同期・非同期で実行されるかによって同期・非同期実行されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	このメソッドは有効ではありません。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_FAILURE(111)	OPOS コントロールはエラー状態です。エラー状態を解除して実行してください。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。
OPOS_E_EXTENDED(114)	<p><b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_COVER_OPEN(201): POS プリンタカバーが開いています。(同期メソッド実行時のみ)</p> <p><b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_REC_EMPTY(203): レシート用紙がありません。(同期メソッド実行時のみ)</p> <p><b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_BLACKMARK(10001): 黒マーカーが発生しました。(同期メソッド実行時のみ)</p> <p><b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_FATAL (10003): フェイタルエラーが発生しました。(同期メソッド実行時のみ)</p> <p><b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_OVERHEAT (10006): ヘッド昇温エラーが発生しました。(同期メソッド実行時のみ)</p>
その他	<b>resultCode</b> の項目を参照してください。

## Open メソッド

### 形式

```
LONG Open (BSTR DeviceName);
```

DeviceName パラメータは、オープンするデバイス名を指定します。

接続される POS プリンタのインターフェースに応じて、下記の値を設定してください。

- |               |                         |
|---------------|-------------------------|
| ・シリアルインターフェース | “MC300SERPRT”           |
| ・パラレルインターフェース | “MC300PARPRT”           |
| ・USB インターフェース | “MC300USBPRT”           |
| ・LAN インターフェース | “MC300LANPRT_[IP アドレス]” |

※LAN インターフェースの場合、デバイス名の[IP アドレス]部には、POS プリンタの IP アドレスを指定します。どのデバイス名が有効かは、設定ツール(2.6. 設定ツールの使用法について)を使用して調べることができます。

例：Open( “MC300LANPRT\_192.168.1.1” )

### 説明

デバイスをオープンするときに呼び出します。

Open メソッドが成功すると、共通プロパティ、その他のクラス固有プロパティが初期化されます。

### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、ResultCode プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	オープンに成功しました。
OPOS_E_NOSERVICE(104)	対応するサービスオブジェクトに接続できません。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	該当のコントロールはすでにオープンしています。
OPOS_E_NOEXIST(109)	指定された DeviceName が見つかりません。
OPOS_E_FAILURE(111)	OCX の初期化に失敗しました。LAN インターフェース接続時に SxJcp32.dll が見つからない場合も、このエラーが通知されます。また、レジストリの Apartment 設定値が”0”の場合、別プロセスでプリンタまたはドロワーが LAN インターフェース接続で Open されていた場合も、このエラーが通知されます。

## ReleaseDevice メソッド

---

### 形式

```
LONG ReleaseDevice();
```

### 説明

デバイスの排他アクセスを解除するときにこのメソッドを呼び出します。  
DeviceEnabled プロパティが TRUE で排他デバイスならば、デバイスはディセーブルにされます。  
イベント処理中（イベントハンドラ内）では実行しないでください。

### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	排他アクセスが解除されました。Claimed プロパティは FALSE になります。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	アプリケーションは該当のデバイスへの排他アクセス権を持っていません。
OPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。
その他	<b>ResultCode</b> プロパティの説明を参照ください。

## ResetStatistics メソッド

---

### 形式

```
LONG ResetStatistics(BSTR StatisticsBuffer);
```

### 説明

このメソッドはサポートされていません。

### 戻り値

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	このメソッドはサポートされません。

## RetrieveStatistics メソッド

---

### 形式

```
LONG RetrieveStatistics(BSTR *pStatisticsBuffer);
```

### 説明

このメソッドはサポートされていません。

### 戻り値

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	このメソッドはサポートされません。

## UpdateFirmware メソッド

### 形式

```
LONG UpdateFirmware (String FirmWareFileName);
```

#### パラメータ

FirmWareFileName	説明
	デバイスにダウンロードされるファームウェアを含むファイルか、ファームウェアファイルのセットを含むファイルの名称を指定します。

### 説明

このメソッドは、ファームウェアのバージョンがすでに POS プリンタのファームウェアのバージョンと同じか古いか新しいかに関わらず、*FirmWareFileName* パラメータで示されるファイルに含まれるファームウェアのバージョンに更新します。

このメソッドが起動されると、サービスオブジェクトは、指定されたファームウェアが存在していれば、このメソッドは直ちに終了し、ファームウェア更新処理の残りは非同期に継続されます。サービスオブジェクトは、OPOS\_SUE\_UF\_PROGRESS(2100)に 1 から 100 を加えたファームウェア更新経過のパーセント値で **StatusUpdateEvent** を通知し、ファームウェア更新処理の状態をアプリケーションに報告します。アプリケーションが使いやすいように、**StatusUpdateEvent** の OPOS\_SUE\_UF\_COMPLETE (2200) の値は OPOS\_SUE\_UF\_PROGRESS(2100)+100 と同じ値に定義されています。ファームウェア更新を非同期に実行している途中でエラーが検出されれば、以下の **StatusUpdateEvent** が通知されます。

POS プリンタにファームウェアをダウンロード後、ファイル名から取得したファームウェアバージョンと、POS プリンタから取得したバージョンを比較し(**CompareFirmware** メソッドと同様の処理)、一致しない場合は OPOS\_SUE\_UF\_COMPLETE(2200) は通知されず、OPOS\_SUE\_UF\_FAILED\_DEV\_OK(2201) が通知されます。

値	意味
OPOS_SUE_UF_FAILED_DEV_OK(2201)	ファームウェア更新処理が失敗しましたが、デバイスはまだ操作可能です。

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドの実行に成功しました。
OPOS_E_NOEXIST(109)	<i>FirmWareFileName</i> によって示されるファイルが存在しません。
OPOS_E_EXTENDED(114)	<b>resultCodeExtended</b> =OPOS_EFIRMWARE_BAD_FILE(281) : 指定されたファームウェアファイルが正しくないかフォーマットが壊れています。 (拡張子が "hx5" 以外の場合、このエラーが発生します)

## UpdateStatistics メソッド

---

### 形式

```
LONG UpdateStatistics(BSTR pStatisticsBuffer);
```

### 説明

本メソッドはサポートしません。

### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	このメソッドはサポートされません。

## 4. 5. 専用プロパティ

### AsyncMode プロパティ R/W

#### 形式

BOOL AsyncMode;

#### 説明

TRUE: PrintNormal, CutPaper, PrintBarcode, PrintBitmap, RotatePrint, TransactionPrint, MarkFeed の印刷メソッドが非同期で実行されます。

FALSE: メソッドが同期で実行されます。

このプロパティは、Open メソッドにより FALSE に初期化されます。

### CapCharacterSet プロパティ

#### 形式

LONG CapCharacterSet;

#### 説明

POS プリンタの印刷可能な文字設定を示します。

このプロパティには、次に示す値が入ります。

値	意味
PTR_CCS_KANJI(11)	文字設定は、コードページ 932 をサポートします。それは、0xA1 と 0xDF の間の半角のカタカナ、0x20 と 0x7F の間の全ての ASCII 文字をサポートします。また、JIS 第一水準、JIS 第二水準レベルで定義される文字のシフト JIS コード文字をサポートします。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

### CapCoverSensor プロパティ

#### 形式

BOOL CapCoverSensor;

#### 説明

TRUE : POS プリンタは「カバーオープンセンサ」を持ちます。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

### CapMapCharacterSet プロパティ

#### 形式

BOOL CapMapCharacterSet;

#### 説明

TRUE : サービスオブジェクトは文字を CharacterSetList プロパティに定義された文字セットにマッピングすることができます。

## CapRec2Color プロパティ

---

### 形式

BOOL CapRec2Color;

### 説明

TRUE : レシートの2色印字が可能です。(※設定プログラムで印字色を“Mono”設定している場合は、FALSE : レシートの2色印字は不可、が設定されます。)

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapRecBarcode プロパティ

---

### 形式

BOOL CapRecBarcode;

### 説明

TRUE : レシートのバーコード印刷が可能です。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapRecBitmap プロパティ

---

### 形式

BOOL CapRecBitmap;

### 説明

TRUE : レシートのビットマップ印刷が可能です。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapRecBold プロパティ

---

### 形式

BOOL CapRecBold;

### 説明

TRUE : レシートのボールド属性が可能です。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapRecCartridgeSensor プロパティ

---

### 形式

LONG CapRecCartridgeSensor;

### 説明

0 : レシートカートリッジ センサの機能はサポートされません。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapRecColor プロパティ

---

### 形式

LONG CapRecColor;

### 説明

0 : レシートカラー印刷の機能はサポートされません。  
このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapRecDhigh プロパティ

---

### 形式

BOOL CapRecDhigh;

### 説明

TRUE : レシートの縦倍角属性が可能です。  
このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapRecDwide プロパティ

---

### 形式

BOOL CapRecDwide;

### 説明

TRUE : レシートの横倍角属性が可能です。  
このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapRecDwideDhigh プロパティ

---

### 形式

BOOL CapRecDwideDhigh;

### 説明

TRUE : レシートの縦横倍角属性が可能です。  
このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapRecEmptySensor プロパティ

---

### 形式

BOOL CapRecEmptySensor;

### 説明

TRUE : レシートの「用紙無しセンサ」を持ちます。  
このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapRecItalic プロパティ

---

### 形式

BOOL CapRecItalic;

### 説明

FALSE : レシートのイタリック属性は不可能です。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapRecLeft90 プロパティ

---

### 形式

BOOL CapRecLeft90;

### 説明

TRUE : レシートの左 90 度回転属性は可能です。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapRecMarkFeed プロパティ

---

### 形式

LONG CapRecMarkFeed;

### 説明

0 : マーク付き用紙の制御機能はサポートされていません。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapRecNearEndSensor プロパティ

---

### 形式

BOOL CapRecNearEndSensor;

### 説明

TRUE : レシートの「用紙ニアエンドセンサ」を持ちます。

FALSE : レシートの「用紙ニアエンドセンサ」は機能しません。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化され、設定プログラムによる設定 PNESense = Enabled 設定の場合は TRUE, Disable 設定の場合は FALSE が設定されます。

## CapRecPageMode プロパティ

---

### 形式

BOOL CapRecPageMode;

### 説明

FALSE : レシートステーションにページモード機能がありません。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapRecPapercut プロパティ

---

### 形式

BOOL CapRecPapercut;

### 説明

TRUE : レシートの用紙カット機能が可能です。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapRecPresent プロパティ

---

### 形式

BOOL CapRecPresent;

### 説明

TRUE : レシートが可能です。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapRecRight90 プロパティ

---

### 形式

BOOL CapRecRight90;

### 説明

TRUE : レシートの右 90 度回転属性が可能です。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapRecRotate180 プロパティ

---

### 形式

BOOL CapRecRotate180;

### 説明

TRUE : レシートの 180 度回転属性が可能です。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapRecStamp プロパティ

---

### 形式

BOOL CapRecStamp;

### 説明

FALSE : レシートのスタンプ印刷が不可能です。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapRecUnderline プロパティ

---

### 形式

BOOL CapRecUnderline;

### 説明

TRUE : レシートのアンダーライン属性が可能です。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CapTransaction プロパティ

---

### 形式

BOOL CapTransaction;

### 説明

TRUE : POS プリンタの一括処理が有効です。

このプロパティは、Open メソッドにより初期化されます。

## CartridgeNotify プロパティ R/W

---

### 形式

LONG CartridgeNotify;

### 説明

カートリッジの状態通知機能の有効/無効を示します。

このプロパティは、アプリケーションにより設定されます。

値	意味
PTR_CN_DISABLED(0)	コントロールは、アプリケーションに対してカートリッジ状態通知を提供しません。カートリッジ状態通知に関する StatusUpdateEvent は通知されず、JrnCartridgeState、RecCartridgeState、S1pCartridgeState プロパティには何も設定されません。

このプロパティは、Open メソッドで PTR\_CN\_DISABLED(0) に初期化されます。

### 戻り値

本プロパティ設定時、次の値のいずれかが ResultCode プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	本プロパティの設定はできません。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

## CharacterSet プロパティ R/W

### 形式

LONG CharacterSet;

### 説明

文字の印字に用いるキャラクタを設定します。

このプロパティは、Open メソッド後、最初にデバイスをイネーブルにした時に初期化されます。

このプロパティには、次に示す値の内の一つが設定されます。

値	意味
101	MIK 文字セットを選択します。
102	PC866(Cyrillic #2) 文字セットを選択します。
103	Thai code 18 を選択します。
437	PC437(USA:Standard Europe) 文字セットを選択します。
850	PC850(Multilingual) 文字セットを選択します。
851	PC851(Greece - obsolete) 文字セットを選択します。
852	PC852(Latin2) 文字セットを選択します。
857	PC857(Turkish) 文字セットを選択します。
858	PC858(Euro) 文字セットを選択します。
860	PC860 (Portuguese) 文字セットを選択します。
863	PC863(Candian-French) 文字セットを選択します。
864	PC864 (Arabic without BOX DRAWINGS below 20) 文字セットを選択します。
865	PC865(Nordic) 文字セットを選択します。
866	PC866 文字セットを選択します。
869	PC869(Greece) 文字セットを選択します。
932	Windows のコードページ；日本語 Shift-JIS。
PTR_CS_ASCII (998)	ASCII キャラクタを設定します。0x20 と 0x7F の間の ASCII キャラクタをサポートします。この定数値は 998 です。
1252	WPC1252 文字セットを選択します。
28592	ISO8859-2(1999 Latin Alphabet No.2) 文字セットを選択します。
28597	ISO8859-7(1987 LatinGreek Alphabet) 文字セットを選択します。

### 戻り値

本プロパティ設定時、次の値のいずれかが ResultCode プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	このプロパティの設定に成功しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な値が使用されました。
その他	ResultCode の項目を参照してください。

## CharacterSetList プロパティ

---

### 形式

BSTR CharacterSetList;

### 説明

キャラクタ設定番号の文字列。国内版の場合、  
"101,102,103,437,850,851,852,857,858,860,863,864,865,866,869,932,998,1252,28592,28597"  
が設定されます。インストーラにより、この値のいずれかが設定されます。このプロパティは、  
Open メソッドにより初期化されます。

## CoverOpen プロパティ

---

### 形式

BOOL CoverOpen;

### 説明

TRUE : POS プリンタのカバーが開いています。  
FALSE : 閉まっています。  
このプロパティは、デバイスをイネーブルにしている間に初期化され、現状を保持します。

## ErrorLevel プロパティ

---

### 形式

LONG ErrorLevel;

### 説明

エラー状態の重大さを示します。  
このプロパティには、次に示す値の内の一つが設定されます。

値	意味
PTR_EL_NONE(1)	エラー状態ではありません。
PTR_EL_RECOVERABLE(2)	復帰可能エラーが発生しました。(カバーオープン、レシートエン ド、ヘッド昇温、黒マークエラー発生時、電源断時)
PTR_EL_FATAL(3)	復帰不可能エラーが発生しました。(致命的エラーのみ)

このプロパティは、ErrorEvent が通知される前に、コントロールにより設定されます。エラーが  
解除されれば、このプロパティは PTR\_EL\_NONE(1) に変わります。

## ErrorStation プロパティ

---

### 形式

LONG ErrorStation;

### 説明

エラーを察知した時に、印刷している POS プリンタ (PTR\_S\_RECEIPT(2)) を保持します。  
このプロパティは ErrorEvent が通知される前に設定されます。  
電源オフ (またはケーブル取り外し) では "0" がセットされます。

## ErrorString プロパティ

---

### 形式

BSTR ErrorString;

### 説明

現在のエラーについてのベンダー固有の記述を保持します。

このプロパティは、**ErrorEvent** が通知される前に、コントロールにより設定されます。この記述を利用しないならば、プロパティには空文字列が設定されます。エラーが解除されれば、このプロパティは空文字列に変わります。

POS プリンタで設定されるのは以下の文言です。

- |              |   |
|--------------|---|
| ・カバーオープン発生時  | "Cover Open"                              |
| ・レシートエンド発生時  | "Paper End"                               |
| ・ヘッド昇温発生時    | "Head Hot"                                |
| ・致命的エラー発生時   | "Fatal Error"                             |
| ・黒マークエラー発生時  | "Black Mark Error"（※設定プログラムで通知可にしている場合のみ） |
| ・電源断（オフライン）時 | "Power Off or Offline"                    |

## FlagWhenIdle プロパティ R/W

---

### 形式

BOOL FlagWhenIdle;

### 説明

TRUE : POS プリンタコントロールがアイドル状態であれば、**StatusUpdateEvent** を通知します。

FALSE : このイベントは通知されません。

このステータスイベントが通知されると、**FlagWhenIdle** は自動的に FALSE にリセットされます。このプロパティを使用してステータスイベントを利用することにより、アプリケーションは全ての非同期出力が終了した時を知ることができます。出力が正常終了した時、または **ErrorEvent** を受け取ったイベントハンドラにより出力が削除された時に、イベントが通知されます。

もし、**FlagWhenIdle** プロパティを TRUE に設定する時に、**State** プロパティが既に OPOS\_S\_IDLE(2) であれば、**StatusUpdateEvent** は直ちに通知されます。従って、非同期出力の終了とこのフラグの設定のすれ違いを気にせずに、アプリケーションはこのイベントを使用できます。

このプロパティは、**Open** メソッドにより FALSE に初期化されます。

本プロパティ設定時、次の値が **resultCode** プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。

## FontTypefaceList プロパティ

---

### 形式

BSTR FontTypefaceList;

### 説明

空文字列が設定されています。デフォルトのフォントタイプだけがサポートされていることを示します。

このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。

## MapCharacterSet プロパティ R/W

---

### 形式

BOOL MapCharacterSet;

### 説明

TRUE : 印字の際にサービスオブジェクトはアプリケーションから渡された文字を **CharacterSet** プロパティで選択された文字セットにマップします。

このプロパティは、**Open** メソッドにより TRUE に初期化されます。

## MapMode プロパティ R/W

---

### 形式

LONG MapMode;

### 説明

POS プリンタのマッピングモードを示します。マッピングモードは他のプロパティで使用されるラインの高さや行間を示すような尺度の単位を定義します。

以下のマップモードをサポートしています。()内の値は、単位あたりを dot 換算した値です。

値	意味
PTR_MM_DOTS(1)	POS プリンタのドット幅 0.125mm (1 dot)
PTR_MM_TWIPS(2)	1 インチの 1/1440 (7.0866 dot)
PTR_MM_ENGLISH(3)	0.001 インチ (4.921 dot)
PTR_MM_METRIC(4)	0.01 ミリメータ (12.5 dot)

**MapMode** を設定すると、**RecLineSpacing**、**RecLineWidth**、**RecLineHeight** も変化します。

**Open** メソッド後最初にデバイスをイネーブルにした時に、PTR\_MM\_DOTS(1)に初期化されます。

### 戻り値

本プロパティ設定時、次の値が **resultCode** プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正なマッピングモードが指定されました。

## PageModeArea プロパティ

---

### 形式

BSTR PageModeArea;

### 説明

本 OCX ではサポートされません。

## PageModeDescriptor プロパティ

---

### 形式

LONG PageModeDescriptor;

### 説明

本 OCX ではサポートされません。

## PageModeHorizontalPosition プロパティ R/W

---

### 形式

LONG PageModeHorizontalPosition;

### 説明

本 OCX ではサポートされません。

## PageModePrintArea プロパティ R/W

---

### 形式

BSTR PageModePrintArea;

### 説明

本 OCX ではサポートされません。

## PageModePrintDirection プロパティ R/W

---

### 形式

LONG PageModePrintDirection;

### 説明

本 OCX ではサポートされません。

## PageModeStation プロパティ R/W

---

### 形式

LONG PageModeStation;

### 説明

本 OCX ではサポートされません。

## PageModeVerticalPosition プロパティ R/W

### 形式

LONG PageModeVerticalPosition;

### 説明

本 OCX ではサポートされません。

## RecBarCodeRotationList プロパティ

### 形式

BSTR RecBarCodeRotationList;

### 説明

この文字列は、レシートのバーコードが回転できる方向を示します。

"0,R90,L90,180" が設定されます。

このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。文字列は、カンマで区切られた回転方向を示す文字列群で構成されます。回転方向を示す文字列は以下の内容になります。

値	意味
0	バーコードは通常の方向に印刷できます。
R90	バーコードは右 90 度に回転印刷できます。
L90	バーコードは左 90 度に回転印刷できます。
180	バーコードは 180 度(倒立)に回転印刷できます。

## RecBitmapRotationList プロパティ

### 形式

BSTR RecBitmapRotationList;

### 説明

この文字列は、レシートのビットマップが回転できる方向を示します。

このプロパティは、**Open** メソッドにより初期化されます。文字列は、カンマで区切られた回転方向を示す文字列群で構成されます。回転方向を示す文字列は以下の内容になります。

値	意味
0	ビットマップバーコードは通常の方向に印刷できます。
R90	ビットマップバーコードは右 90 度に回転印刷できます。
L90	ビットマップバーコードは左 90 度に回転印刷できます。
180	ビットマップバーコードは 180 度(倒立)に回転印刷できます。

## RecCartridgeState プロパティ

### 形式

LONG RecCartridgeState;

### 説明

現在選択されているレシートのカートリッジ（インク、リボン、トナー）の状態を示します。

本 POS プリンタはサーマルプリンタなので、この値は以下の値で固定値です。

値	意味
---	----

PTR\_CART\_UNKNOWN(268435456)

デバイスは、カートリッジ状態通知機能をサポートしていません。

このプロパティは、デバイスをイネーブルにしている間に初期化され、現状を保持します。

## RecCurrentCartridge プロパティ R/W

### 形式

LONG RecCurrentCartridge;

### 説明

レシートカートリッジの選択はサポートされません。0 で初期化されています。

### 戻り値

本プロパティ設定時、次の値のいずれかが **resultCode** プロパティに格納されます。

値	意味
---	----

OPOS\_E\_ILLEGAL(106) カートリッジの指定は無効です。

その他 **resultCode** の項目を参照してください。

## RecEmpty プロパティ

### 形式

BOOL RecEmpty;

### 説明

TRUE : レシート用紙は紙切れです。

FALSE : レシート用紙はあります。

このプロパティは、デバイスをイネーブルにしている間に初期化され、現状を保持します。

## RecLetterQuality プロパティ R/W

### 形式

BOOL RecLetterQuality;

### 説明

TRUE : 高品質印字モードによる印刷になります。

FALSE : 標準印字モードによる印刷になります。

このプロパティは、**Open** メソッド後最初にデバイスをイネーブルにした時に、TRUE に初期化されます。

高品質印字モードの影響の対象は、内蔵文字およびダウンロード文字で、且つ縦横いずれも2倍以上の場合、スムージング処理された印字結果が得られますが、標準印字モードに比べ、印字スピードが若干低下します。

標準印字モードの場合、ビットマップは、1/3 の解像度で印刷されます（出力される大きさは高品質モードと同じですが、解像度が 1/3 となります。）。また、縦横2倍以上の内蔵文字を印字させる場合においても、スムージング処理は行われません。

また、**SetBitmap** でビットマップを登録する場合は、その時点での **RecLetterQuality** に左右されません。

エスケープシーケンスにおけるビットマップ印字を行う際に、高品質印字モードの場合は通常解像度で、標準印字モードの場合は1/2倍の解像度(大きさは縦横2倍)で印刷されます。**PrintBitmap** メソッドも同様に **RecLetterQuality** に従います。

(※レジストリ設定にて、Smoothing 設定を off にした場合、TRUE 設定時もフォントに関しては、スムージング処理を行いません。)

### 戻り値

本プロパティ設定時、次の値が **resultCode** プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。

## RecLineChars プロパティ R/W

### 形式

LONG RecLineChars;

### 説明

レシートの一行に印字される半角文字の文字数です。

指定された桁数により、以下のフォントで印字されます。

<u>桁数</u>	<u>印字フォント(横×縦)</u>
プリンタ設定：用紙幅 83mm(640 ドット)：	
53 (全角 26)	12×24 ドット(フォント A)
64 (全角 32)	10×24 ドット(フォント B)
80 (全角 40)	8×16 ドット(フォント C)
プリンタ設定：用紙幅 80mm(576 ドット)：	
48 (全角 24)	12×24 ドット(フォント A)
57 (全角 28)	10×24 ドット(フォント B)
72 (全角 36)	8×16 ドット(フォント C)
プリンタ設定：用紙幅 80mm(512 ドット)：	
42 (全角 21)	12×24 ドット(フォント A)
51 (全角 25)	10×24 ドット(フォント B)
64 (全角 32)	8×16 ドット(フォント C)
プリンタ設定：用紙幅 60mm(436 ドット)：	
36 (全角 18)	12×24 ドット(フォント A)
43 (全角 21)	10×24 ドット(フォント B)
54 (全角 27)	8×16 ドット(フォント C)
プリンタ設定：用紙幅 58mm(420 ドット)：	
35 (全角 17)	12×24 ドット(フォント A)
42 (全角 21)	10×24 ドット(フォント B)
52 (全角 26)	8×16 ドット(フォント C)
プリンタ設定：用紙幅 58mm(384 ドット)：	
32 (全角 16)	12×24 ドット(フォント A)
38 (全角 19)	10×24 ドット(フォント B)
48 (全角 24)	8×16 ドット(フォント C)

この値が、サポートされている行文字幅に変われば、文字幅はその指定された値に設定されます。正確な幅がサポートできない場合、サポートされている行文字幅の中で、指定された値より大きく、かつ最も近い値に設定されます。（例えば、用紙幅 83mm 設定時に、プリンタに 40 をセットした場合、サービスオブジェクトは文字のサイズ「53」を選択します）。もし、文字幅がサポートできなければ、エラーが返されます。

**RecLineChars** を設定することにより、**RecLineHeight**, **RecLineSpacing**, **RecSideWayMaxChars**, **RecSidewaysMaxLines** プロパティも更新されます。

#### 戻り値

本プロパティ設定時、次の値のいずれかが **resultCode** プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な行文字幅が指定されました。

## RecLineCharsList プロパティ

#### 形式

BSTR RecLineCharsList;

#### 説明

レシートによりサポートされる行文字幅を含む文字列です。

このプロパティは、**Open** メソッドにより、プリンタの用紙幅、設定によって以下の値に初期化されます。

プリンタ用紙幅	値
用紙幅 83mm(640 ドット)	“53,64,80”
用紙幅 80mm(576 ドット)	“48,57,72”
用紙幅 80mm(512 ドット)	“42,51,64”
用紙幅 60mm(436 ドット)	“36,43,54”
用紙幅 58mm(420 ドット)	“35,42,52”
用紙幅 58mm(384 ドット)	“32,38,48”

## RecLineHeight プロパティ R/W

### 形式

LONG RecLineHeight;

### 説明

レシート印刷の高さです。MapMode で定義された単位で表記します。

RecLineChars が変わると、RecLineHeight は、選択された幅に対するデフォルトの行高に更新されます。

RecLineHeight の値は、Open メソッドにより POS プリンタのデフォルトの行高に初期化されます。

取り得る値は以下の通りです。(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PTR\_MM\_DOTS(1)の値)

桁数	RecLineHeight プロパティの値
プリンタ設定：用紙幅 83mm(640 ドット)：	
53	24
64	24
80	16
プリンタ設定：用紙幅 80mm(576 ドット)：	
48	24
57	24
72	16
プリンタ設定：用紙幅 80mm(512 ドット)：	
42	24
51	24
64	16
プリンタ設定：用紙幅 60mm(436 ドット)：	
36	24
43	24
54	16
プリンタ設定：用紙幅 58mm(420 ドット)：	
35	24
42	24
52	16
プリンタ設定：用紙幅 58mm(384 ドット)：	
32	24
38	24
48	16

#### 戻り値

本プロパティ設定時、次の値が **resultCode** プロパティに格納されます。

値	意味
---	----

OPOS\_E\_ILLEGAL(106) 本プロパティの設定はできません。取得のみ可能です。

## RecLineSpacing プロパティ R/W

#### 形式

LONG RecLineSpacing;

#### 説明

通常文字の印刷行の高さを示します。すなわち、印字行の高さと行間スペースの高さの両方を加えたものです。本プロパティは **MapMode** で定義された単位で表記します。

**RecLineChars** が変わったとき、新しい **RecLineHeight** が **RecLineSpacing** に指定された値より大きい場合は、**RecLineHeight** と同じ値が設定されます。

**RecLineSpacing** の値は、**Open** メソッド後に、POS プリンタのデフォルトの行間に初期化されます。

16(dot) ~ 127(dot) の範囲で設定が可能となります。

#### 戻り値

本プロパティ設定時、次の値が **resultCode** プロパティに格納されます。

値	意味
---	----

OPOS\_SUCCESS(0) プロパティは正常に設定されました。

OPOS\_E\_ILLEGAL(106) プロパティの設定範囲が不正です。

その他 **PrintNormal** メソッドを参照してください。

## RecLinesToPaperCut プロパティ

#### 形式

LONG RecLinesToPaperCut;

#### 説明

レシート用紙が切られる前に、進まなければならない行数を保持します。

これは用紙カット機構に着くまでの行数です。

**RecLineChars** プロパティや **RecLineSpacing** プロパティを変えることによって、このプロパティは更新されます。

## RecLineWidth プロパティ

---

### 形式

LONG RecLineWidth;

### 説明

**RecLineChars** の一行の幅です。 **MapMode** で定義された単位で表記します。

このプロパティは、**Open** メソッド後に初期化されます。

プリンタの用紙幅により、以下の値が設定されます。

プリンタ用紙幅	値
用紙幅 83mm	640
用紙幅 80mm	576
用紙幅 80mm	512
用紙幅 60mm	436
用紙幅 58mm	420
用紙幅 58mm	384

## RecNearEnd プロパティ

---

### 形式

BOOL RecNearEnd;

### 説明

TRUE : レシート用紙がニアエンドです。

FALSE : ニアエンドではありません。

このプロパティは、デバイスをイネーブルにした時に初期化され、イネーブルしている間、カレント値が保持されます。

## RecSidewaysMaxChars プロパティ

### 形式

LONG RecSidewaysMaxChars;

### 説明

サイドウェイモード（左右 90 度回転印刷）において、各行に印刷される半角文字の最大文字数です。下記の値を取ります。CapRec2Color プロパティが TRUE の場合(2 色時)は、左右回転印刷の幅が 1/2 となってしまうため、印字可能な文字数は半分の値となります。

桁数	サイドウェイモード印字桁数	2 色時
プリンタ設定：用紙幅 83mm(640 ドット)：		
53 (全角 26)	138	69
64 (全角 32)	166	83
80 (全角 40)	207	103
プリンタ設定：用紙幅 80mm(576 ドット)：		
48 (全角 24)	138	69
57 (全角 28)	166	83
72 (全角 36)	207	103
プリンタ設定：用紙幅 80mm(512 ドット)：		
42 (全角 21)	138	69
51 (全角 25)	166	83
64 (全角 32)	207	103
プリンタ設定：用紙幅 60mm(436 ドット)：		
36 (全角 18)	138	69
43 (全角 21)	166	83
54 (全角 27)	207	103
プリンタ設定：用紙幅 58mm(420 ドット)：		
35 (全角 17)	138	69
42 (全角 21)	166	83
52 (全角 26)	207	103
プリンタ設定：用紙幅 58mm(384 ドット)：		
32 (全角 16)	138	69
38 (全角 19)	166	83
48 (全角 24)	207	103

## RecSidewaysMaxLines プロパティ

---

### 形式

LONG RecSidewaysMaxLines;

### 説明

サイドウェイモード（左右 90 度回転印刷）において、印刷される最大行数です。

**RecLineWidth** プロパティを **RecLineSpacing** プロパティで割った値となります。ただし、割った値の余りが、**RecLineHeight** プロパティ（フォントの高さ）と等しいか、あるいは大きい場合は、割った値に +1 された値となります。従って **RecLineSpacing** プロパティを変えることにより、このプロパティは変わります。

ただし、フォント C(※**RecLineChars** プロパティを参照してください)の場合に限り、上記条件に対して、**RecLineWidth** – 7(dot) の値に対して計算が行なわれます。

本プロパティは、**Open** メソッド後最初にデバイスをイネーブルにした時に初期化されます。

## RotateSpecial プロパティ R/W

---

### 形式

LONG RotateSpecial;

### 説明

バーコードの回転方向を示します。

このプロパティは、**Open** メソッドにより PTR\_RP\_NORMAL(1) に初期化されます。

このプロパティには、次に示す値の内の一つが設定されます。

値	意味
PTR_RP_NORMAL(1)	バーコードは通常の方向に印刷できます。
PTR_RP_RIGHT90(257)	バーコードは右 90 度に回転印刷できます。
PTR_RP_LEFT90(258)	バーコードは左 90 度に回転印刷できます。
PTR_RP_ROTATE180(259)	バーコードは 180 度(倒立)に回転印刷できます。

### 戻り値

本プロパティ設定時、次の値のいずれかが **resultCode** プロパティに格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	プロパティは正常に設定されました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正なプロパティ値が指定されました。

※以下のPOSプリンタ専用プロパティはサポートされません。

```
BOOL CapConcurrentJrnRec;
BOOL CapConcurrentJrnSlp;
BOOL CapConcurrentRecSlp;
BOOL CapConcurrentPageMode;
BOOL CapJrn2Color;
BOOL CapJrnBold;
LONG CapJrnCartridgeSensor;
LONG CapJrnColor;
BOOL CapJrnDhigh;
BOOL CapJrnDwide;
BOOL CapJrnDwideDhigh;
BOOL CapJrnEmptySensor;
BOOL CapJrnItalic;
BOOL CapJrnNearEndSensor;
BOOL CapJrnPresent;
BOOL CapJrnUnderline;
BOOL CapSlp2Color;
BOOL CapSlpBarcode;
BOOL CapSlpBitmap;
BOOL CapSlpBold;
BOOL CapSlpBothSidesPrint;
LONG CapSlpCartridgeSensor;
LONG CapSlpColor;
BOOL CapSlpPageMode;
BOOL CapSlpDhigh;
BOOL CapSlpDwide;
BOOL CapSlpDwideDhigh;
BOOL CapSlpEmptySensor;
BOOL CapSlpFullSlip;
BOOL CapSlpItalic;
BOOL CapSlpLeft90;
BOOL CapSlpNearEndSensor;
BOOL CapSlpPresent;
BOOL CapSlpRight90;
BOOL CapSlpRotate180;
BOOL CapSlpUnderline;

LONG JrnCartridgeState;
LONG JrnCurrentCartridge;
BOOL JrnEmpty;
BOOL JrnLetterQuality;
LONG JrnLineChars;
BSTR JrnLineCharsList;
LONG JrnLineHeight;
LONG JrnLineSpacing;
LONG JrnLineWidth;
BOOL JrnNearEnd;
BSTR SlpBarcodeRotationList;
BSTR SlpBitmapRotationList;
LONG SlpCartridgeState;
LONG SlpCurrentCartridge;
BOOL SlpEmpty;
BOOL SlpLetterQuality;
LONG SlpLineChars;
BSTR SlpLineCharsList;
LONG SlpLineHeight;
LONG SlpLinesNearEndToEnd;
LONG SlpLineSpacing;
LONG SlpLineWidth;
LONG SlpMaxLines;
BOOL SlpNearEnd;
LONG SlpSidewaysMaxChars;
LONG SlpSidewaysMaxLines;
LONG SlpPrintSide;
```

## 4. 6. 専用メソッド

### BeginInsertion メソッド

#### 形式

```
LONG BeginInsertion (LONG Timeout);
```

#### 説明

このメソッドはスリッププリンタを対象としているため、本 OCX ではサポートされません。

#### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**resultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	POS プリンタはスリップを持っていません。
その他	<b>resultCode</b> の項目を参照してください。

### BeginRemoval メソッド

#### 形式

```
LONG BeginRemoval (LONG Timeout);
```

#### 説明

このメソッドはスリッププリンタを対象としているため、本 OCX ではサポートされません。

#### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**resultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	POS プリンタはスリップを持っていません。
その他	<b>resultCode</b> の項目を参照してください。

### ChangePrintSide メソッド

#### 形式

```
LONG ChangePrintSide (LONG Side);
```

#### 説明

このメソッドはスリッププリンタを対象としているため、本 OCX ではサポートされません。

#### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**resultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	POS プリンタはスリップを持っていません。
その他	<b>resultCode</b> の項目を参照してください。

### ClearPrintArea メソッド

#### 形式

```
LONG ClearPrintArea ();
```

#### 説明

本 OCX ではサポートされません。OPOS\_E\_ILLEGAL(106) を返します。

## CutPaper メソッド

### 形式

```
LONG CutPaper (LONG Percentage);
```

*Percentage* パラメータは、カットすべき用紙のパーセンテージを示します。1~99 が設定された場合は”パーシャルカット”が、100 が設定された場合には”フルカット”を実行します。  
1~100 以外が指定された場合は、OPOS\_E\_ILLEGAL(106) が返ります。

### 説明

レシート用紙を切る時にこのメソッドを呼び出します。

このメソッドは、**AsyncMode** が FALSE ならば、同期的に実行され、**AsyncMode** が TRUE ならば、非同期的に実行されます。**PrintNormal** や **PrintImmediate** メソッド呼び出しの際に、用紙カットのエスケープシーケンスを用いても用紙カットを行うことができます。尚、POS プリンタにバッファリングされているデータがある場合（印字要求をしたが、POS プリンタに印字されていない場合）は、カットすることができません。レシートカットを行うためには行の先頭である必要があります。

### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**resultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正なパーセンテージが指定されました。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_FAILURE(111)	OPOS コントロールはエラー状態です。エラー状態を解除して実行してください。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。
OPOS_E_EXTENDED(114)	<b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_COVER_OPEN(201): POS プリンタカバーが開いています。（ <b>AsyncMode</b> が FALSE の時のみ返されます。） <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_REC_EMPTY(203): レシート用紙がありません。（ <b>AsyncMode</b> が FALSE の時のみ返されます。） <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_BLACKMARK(10001): 黒マーカーが発生しました。（ <b>AsyncMode</b> が FALSE の時のみ返されます。） <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_FATAL (10003): フェイタルエラーが発生しました。（ <b>AsyncMode</b> が FALSE の時のみ返されます。） <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_OVERHEAT (10006): ヘッド昇温エラーが発生しました。（ <b>AsyncMode</b> が FALSE の時のみ返されます。）
その他	<b>resultCode</b> の項目を参照してください。

## EndInsertion メソッド

### 形式

```
LONG EndInsertion();
```

### 説明

このメソッドはスリッププリンタを対象としているため、本 OCX ではサポートされません。

### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**resultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
---	----

OPOS\_E\_ILLEGAL(106) POS プリンタはスリップを持っていません。

その他 **resultCode** の項目を参照してください。

## EndRemoval メソッド

### 形式

```
LONG EndRemoval();
```

### 説明

このメソッドはスリッププリンタを対象としているため、本 OCX ではサポートされません。

### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**resultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
---	----

OPOS\_E\_ILLEGAL(106) POS プリンタはスリップを持っていません。

その他 **resultCode** の項目を参照してください。

## MarkFeed メソッド

### 形式

```
LONG MarkFeed (LONG Type);
```

Type パラメータは、マーク付き用紙のハンドリングの種類を示します。

### 説明

このメソッドはサポートされていません。

### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**resultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
---	----

OPOS\_E\_ILLEGAL(106) レシート印刷ステーションは、マーク付き用紙のハンドリング機能をサポートしていません。(CapRecMarkFeed プロパティを参照)

その他 **resultCode** の項目を参照してください。

## PageModePrint メソッド

### 形式

```
LONG PageModePrint (LONG Control);
```

### 説明

本 OCX ではサポートされません。OPOS\_E\_ILLEGAL(106) を返します。

## PrintBarcode メソッド

### 形式

```
LONG PrintBarcode (LONG Station, BSTR Data, LONG Symbology, LONG Height, LONG Width, LONG  
Alignment, LONG TextPosition);
```

パラメータ	説明
<i>Station</i>	PTR_S_RECEIPT(2) を指定
<i>Data</i>	バーコードの文字列。データのフォーマットは BinaryConversion プロパティの値に依存します。詳細は BinaryConversion プロパティを参照してください。
<i>Symbology</i>	使用されるバーコードタイプ。(以下の値を参照)
<i>Height</i>	バーコードの高さ。MapMode で定義された単位で表記します。 1~255dot まで設定可能です。 PDF417 印字時は、正立/倒立時：12~831dot、 左右 90 度回転時：12~RecLineWidth dot まで設定可能です。
<i>Width</i>	バーコードの幅。MapMode で定義された単位で表記します。正立／倒立の場合は、RecLineWidth プロパティの値まで設定可能です。
<i>Alignment</i>	バーコードの位置。下記の値を参照。
<i>TextPosition</i>	文字列の位置。以下の値を参照。

本リリースでの *Symbology* パラメータの値は以下の通りです。

値	ラベルタイプ
PTR_BCS_UPCA(101)	UPC-A
PTR_BCS_UPCE(102)	UPC-E
PTR_BCS_EAN8(103)	EAN 8 (= JAN 8)
PTR_BCS_JAN8(103)	JAN 8 (= EAN 8)
PTR_BCS_EAN13(104)	EAN 13 (= JAN 13)
PTR_BCS_JAN13(104)	JAN 13 (= EAN 13)
PTR_BCS_ITF(106)	Interleaved 2 of 5
PTR_BCS_Codabar(107)	Codabar(NW-7)
PTR_BCS_Code39(108)	Code 39
PTR_BCS_Code93(109)	Code 93
PTR_BCS_Code128(110)	Code 128
PTR_BCS_PDF417(201)	PDF417

*Alignment* パラメータの値は、以下の通りです。

値	意味
PTR_BC_LEFT(-1)	左寄せ（印字データに対して実行するので、180 度回転印字時は、POS プリンタ印字方向に対しては右寄せとなります。）
PTR_BC_CENTER(-2)	センタリング PDF417 の場合、左右 90 度回転中はこのパラメータをサポートしません。PTR_BC_LEFT(-1) として動作します。
PTR_BC_RIGHT(-3)	右寄せ（印字データに対して実行するので、180 度回転印字時は、POS プリンタ印字方向に対しては左寄せとなります。） PDF417 の場合、左右 90 度回転中はこのパラメータをサポートしません。PTR_BC_LEFT(-1) として動作します。
その他	バーコード印刷を開始する左端からの距離。MapMode で定義された単位で表記します。Width パラメータで指定されたバーコード幅から OCX が算出する実際のバーコード印字幅+左端からの距離が RecLineWidth プロパティの値を超える場合、OPOS_E_ILLEGAL(106)が返ります。但し、RotateSpecial プロパティで、PTR_RP_RIGHT90(257), PTR_RP_LEFT90(258)が指定されていた場合、PTR_BC_LEFT(-1)が指定されたとみなして印字を行います。 PDF417 の場合、左右 90 度回転中はこのパラメータをサポートしません。PTR_BC_LEFT(-1) として動作します。

*TextPosition* パラメータの値は、以下の通りです。

値	意味
PTR_BC_TEXT_NONE(-11)	テキストは印字しない。バーコードのみ印刷します。
PTR_BC_TEXT_ABOVE(-12)	バーコードの上にテキストを印字します。
PTR_BC_TEXT_BELOW(-13)	バーコードの下にテキストを印字します。

## 説明

指定した POS プリンタにバーコードを印刷する時にこのメソッドを呼び出します。

このメソッドは、`AsyncMode` が `FALSE` ならば、同期的に実行され、`AsyncMode` が `TRUE` ならば、非同期的に実行されます。

*Symbolology* 毎のバーコード印字可能条件を以下に示します。回転印字時には、2 色印字可能かどうか(`CapRec2Color=TRUE`)によって、設定できる値が異なります。

<単色>

Symbolology	印字可能な キャラクタ種別	正立／倒立モード時		左右 90 度 回転モード時	
		文字 列長	Width(dots)	文字列 長	Width(dots)
PTR_BCS_UPCA	'0' - '9' の 10 種	11～ 12	95～ RecLineWidth 値	11～ 12	95～1662
PTR_BCS_UPCE		11～ 12	51～ RecLineWidth 値	11～ 12	51～1662
PTR_BCS_JAN8		7～8	67～ RecLineWidth 値	7～8	67～1662
PTR_BCS_JAN13		12～ 13	95～ RecLineWidth 値	12～ 13	95～1662
PTR_BCS_CODE39	'0' ~' 9' , 'A' ~' Z' , 空白, '\$' , '%' , '+' , '-' , '.' , '/' の 43 種 (スタート・ストップキャラクタ' *' は自動で付加されます。)	1～34	47～ RecLineWidth 値	1～ 101	47～1662
PTR_BCS_ITF	'0' - '9' の 10 種	2～62	27～ RecLineWidth 値	2～ 182	27～1662
PTR_BCS_CODABER	'0' ~' 9' , 'A' ~' D' , '\$' , '+' , '-' , '.', '/' , ':' の 20 種	3～47	41～ RecLineWidth 値	3～ 138	41～1662
PTR_BCS_CODE93	0x00～0x7F の 128 種 (下段は 2 キャラクタ時)	1～59 1～29	46～ RecLineWidth 値	1～88 1～44	46～1662
PTR_BCS_CODE128	Code Set A: 0x00 ~ 0x5F Code Set B 0x20 ~ 0x7F Code Set C 0x00 ~ 0x63 但し、" { "を含むキャラクタ は除く。詳細は後述。	3～51	46～ RecLineWidth 値	3～74	46～1662

Symbology	印字可能な キャラクタ種別	正立／倒立モード時		左右 90 度 回転モード時	
		文字 列長	Width(dots)	文字列 長	Width(dots)
PTR_BCS_PDF417	0x00～0xFFまでの 256 種。 ただし、0x00～0x7F までは ASCII コードに従い、0x80～ 0xFF ま で は PC437(USA:Standard Europe)の英語表の拡張キ ャラクタセ ットに従う文字列。	1～ 1069	172～ RecLineWidth 値	1～ 1069	172～831

<2色>

Symbology	印字可能な キャラクタ種別	正立／倒立モード時		左右 90 度 回転モード時(2 色)	
		文字 列長	Width(dots)	文字 列長	Width(dots)
PTR_BCS_UPCA	'0' - '9' の 10 種	11～ 12	95～ RecLineWidth 値	11～ 12	95～831
PTR_BCS_UPCE		11～ 12	51～ RecLineWidth 值	11～ 12	51～831
PTR_BCS_JAN8		7～8	67～ RecLineWidth 值	7～8	67～831
PTR_BCS_JAN13		12～ 13	95～ RecLineWidth 值	12～ 13	95～831
PTR_BCS_CODE39	'0' ~'9' , 'A' ~'Z' , 空白, '\$' , '%' , '+' , '-', '.', '/' の 43 種 (スタート・ストップキャラ クタ' *' は自動で付加され ます。)	1～34	47～ RecLineWidth 值	1～ 50	47～831
PTR_BCS_ITF	'0' - '9' の 10 種	2～62	27～ RecLineWidth 值	2～ 90	27～831
PTR_BCS_CODABER	'0' ~'9' , 'A' ~'D' , '\$' , '+' , '-', '.', '/', '..' の 20 種	3～47	41～ RecLineWidth 值	3～ 68	41～831
PTR_BCS_CODE93	0x00～0x7F の 128 種 (下段は 2 キャラクタ時)	1～59	46～ RecLineWidth 值	1～ 88	46～831
		1～29		1～ 44	
PTR_BCS_CODE128	Code Set A: 0x00 ~ 0x5F Code Set B 0x20 ~ 0x7F Code Set C 0x00 ~ 0x63 但し、" { "を含むキャラクタ は除く。詳細は後述。	3～51	46～ RecLineWidth 值	3～ 74	46～831
PTR_BCS_PDF417	0x00～0xFFまでの 256 種。た だし、0x00～0x7F までは ASCII コードに従い、0x80～ 0xFF までは PC437(USA:Standard Europe) の英語表の拡張キャラクタ セットに従う文字列。	1～ 1069	172～ RecLineWidth 值	1～ 1069	172～831

各バーコードの印字幅決定アルゴリズムを以下に示します。最終的なバーコードの印字幅(dot)は、パラメータを変更していき、**PrintBarcode** の *Width* パラメータに指定された値を超えない範囲でもっとも近い値で印字を行います。

Symbology	印字幅計算式
PTR_BCS_UPCA	バーコード幅 = 95 * dotNarrow
PTR_BCS_UPCE	バーコード幅 = 51 * dotNarrow
PTR_BCS_JAN8	バーコード幅 = 67 * dotNarrow
PTR_BCS_JAN13	バーコード幅 = 95 * dotNarrow
PTR_BCS_CODE39	バーコード幅 = 6 * dotNarrow + 3 * dotWide + 1 * dotNarrow + (6 * dotNarrow + 3 * dotWide + 1 * dotNarrow) * Length + 6 * dotNarrow + 3 * dotWide (Length = 印字キャラクタ数)
PTR_BCS_ITF	バーコード幅 = 4 * dotNarrow + (3 * dotNarrow + 2 * dotWide) * Length + 2 * dotNarrow + 1 * dotWide (Length = 印字キャラクタ数)
PTR_BCS_CODABER	バーコード幅 = (5 * dotNarrow + 2 * dotWide) * (Length - Wlen) + (4 * dotNarrow + 3 * dotWide) * Wlen + 1 * dotNarrow * (Length + 1) (Length = 印字キャラクタ数) (Wlen = “.”, “/”, “.”, “+”, “A”, “B”, “C”, “D” の文字数)
PTR_BCS_CODE93	バーコード幅 = 9 * dotNarrow + 9 * dotNarrow * Wlen + (9 * dotNarrow) * 2 * (Length - Wlen) + 9 * 2 * dotNarrow + 10 * dotNarrow (Length = 印字キャラクタ数) (Wlen = “0” ~ “9”, “A” ~ “Z”, “,” \$”, %”, +”, - “~” /” の文字数)
PTR_BCS_CODE128	バーコード幅 = 11 * dotNarrow * (Length + 1) + 13 * dotNarrow (Length = 印字キャラクタ数 - 特殊キャラクタ※) ※ “{ “が先頭についているキャラクタ数。” {AA{BA” が指定されたときは、Length = 6 - 2 = 4 となります。

Symbology	印字幅計算式
PTR_BCS_PDF417	<p>バーコード幅 = <math>((17 * (C + 2)) + (17 + 18)) * X</math></p> <p>バーコードの高さ = RYX</p> <p>C : カラム数</p> <p>X : 公称細エレメント幅</p> <p>R : 段数</p> <p>Y : 段の高さ</p> <p>※Width 及び Height パラメータの設定より、段数とカラム数を決定して Width パラメータを超えない最大サイズでコードを生成します。</p> <p>但し、Width パラメータの設定を最優先してカラム数を算出しているため Height パラメータは設定した高さと一致しない場合があります。</p>

※dotNarrow と dotWide の関係

dotNarrow	1	2	3	4	5	6
dotWide	3	5	9	11	14	18

## バーコード印字注意点について

1. CODE39 を指定する場合、スタートキャラクタ、ストップキャラクタの”\*”は自動的に付加されますので、キャラクタに設定する必要はありません。
2. ITF を指定する場合、キャラクタ数は偶数で指定する必要があります。奇数を指定した場合、OPOS\_E\_ILLEGAL(106)が返ります。
3. CODABER を指定する場合、キャラクタの先頭と末尾はかならず、”A”～”D”のいずれかである必要があります。よって、その間に任意のキャラクタを設定した合計3文字以上で指定する必要があります。これに従っていない場合は、OPOS\_E\_ILLEGAL(106)が返ります。
4. UPC-E を指定する場合、展開は下記の表に基づいて行われます。UPC-A レフトコードは、先頭 2～6 キャラクタ、UPC-A ライトコードは、先頭 7～11 キャラクタ目を示し、短縮されるコードが実際に UPC-E として印字されます。UPC-A 先頭キャラクタが 0 以外か、下記の表に基づかないキャラクタが指定された場合、OPOS\_E\_ILLEGAL(106)が返ります。  
 例 05810000226 → 58226 に変換されます。  
 09859363583 → OPOS\_E\_ILLEGAL が返ります。

メーカーコード UPC-A のレフトコード					アイテムコード UPC-A のライトコード					短縮コード					
F1	F2	F3	F4	F5	A1	A2	A3	A4	A5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6
0-9	0-9	0	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	0
0-9	0-9	1	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	1
0-9	0-9	2	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	2
0-9	0-9	3-9	0	0	0	0	0	0-9	0-9	F1	F2	F3	A4	A5	3
0-9	0-9	0-9	1-9	0	0	0	0	0	0-9	F1	F2	F3	F4	A5	4
0-9	0-9	0-9	0-9	1-9	0	0	0	0	5-9	F1	F2	F3	F4	F5	A5

5. CODE128 を指定する場合は以下のようにキャラクタを設定します。

1. バーコードの先頭は、”{A”， ”{B”， ”{C” のいずれかを指定してください。以下をそれぞれ、CODE A, CODE B, CODE C に設定します。
2. ファンクションコードを指定するには、”{1”， ”{2”， ”{3”， ”{4” を指定します。それぞれ、FNC1, FNC2, FNC3 FNC4 の指定となります。尚、CODE C では、FUNC1のみ有効です。CODE C で、FUNC1 以外を指定すると OPOS\_E\_ILLEGAL(106)が返ります。
3. CODE B で、”{” を印字するには、”{{” を指定してください。
4. SHIFT を設定するには、”{S” を指定してください。以後の 1 キャラクタのコードセットが、CODE A ←→ CODE B のようにシフトします。CODE C で指定した場合、OPOS\_E\_ILLEGAL(106)が返ります。

CODE A, CODE B, CODE C で印字可能なキャラクタを次に示します。

## 【Code128】

印字するキャラクタ			印字するキャラクタ		
CODE-A	CODE-B	CODE-C	CODE-A	CODE-B	CODE-C
SPACE	SPACE	00(00H)	U	U	53(35H)
!	!	01(01H)	V	V	54(36H)
“	“	02(02H)	W	W	55(37H)
#	#	03(03H)	X	X	56(38H)
\$	\$	04(04H)	Y	Y	57(39H)
%	%	05(05H)	Z	Z	58(3AH)
&	&	06(06H)	[	[	59(3BH)
‘	‘	07(07H)	/	/	60(3CH)
(	(	08(08H)	]	]	61(3DH)
)	)	09(09H)	~	~	62(3EH)
*	*	10(0AH)	-	-	63(3FH)
+	+	11(0BH)	NULL(00H)	-	64(40H)
,	,	12(0CH)	SOH(01H)	a	65(41H)
-	-	13(0DH)	STX(02H)	b	66(42H)
.	.	14(0EH)	ETX(03H)	c	67(43H)
/	/	15(0FH)	EOT(04H)	d	68(44H)
0	0	16(10H)	ENG(05H)	e	69(45H)
1	1	17(11H)	ACK(06H)	f	70(46H)
2	2	18(12H)	BEL(07H)	g	71(47H)
3	3	19(13H)	BS(08H)	h	72(48H)
4	4	20(14H)	HT(09H)	i	73(49H)
5	5	21(15H)	LF(0AH)	j	74(4AH)
6	6	22(16H)	VT(0BH)	k	75(4BH)
7	7	23(17H)	FF(0CH)	l	76(4CH)
8	8	24(18H)	CR(0DH)	m	77(4DH)
9	9	25(19H)	SO(0EH)	n	78(4EH)
:	:	26(1AH)	SI(0FH)	o	79(4FH)
;	;	27(1BH)	DLE(10H)	p	80(50H)
<	<	28(1CH)	DC1(11H)	q	81(51H)
=	=	29(1DH)	DC2(12H)	r	82(52H)

印字するキャラクタ			印字するキャラクタ		
CODE-A	CODE-B	CODE-C	CODE-A	CODE-B	CODE-C
>	>	30(1EH)	DC3(13H)	s	83(53H)
?	?	31(1FH)	DC4(14H)	t	84(54H)
@	@	32(20H)	NAK(15H)	u	85(55H)
A	A	33(21H)	SYN(16H)	v	86(56H)
B	B	34(22H)	ETB(17H)	w	87(57H)
C	C	35(23H)	CAN(18H)	x	88(58H)
D	D	36(24H)	EM(19H)	y	89(59H)
E	E	37(25H)	SUB(1AH)	z	90(5AH)
F	F	38(26H)	ESC(1BH)	{ “{ { “	91(5BH)
G	G	39(27H)	FS(1CH)		92(5CH)
H	H	40(28H)	GS(1DH)	}	93(5DH)
I	I	41(29H)	RS(1EH)	-	94(5EH)
J	J	42(2AH)	US(1FH)	DEL	95(5FH)
K	K	43(2BH)			96(60H)
L	L	44(2CH)			97(61H)
M	M	45(2DH)			98(62H)
N	N	46(2EH)			99(63H)
O	O	47(2FH)	以下は、” { “を指定して利用します。		
P	P	48(30H)	FNC 3 “{3”	FNC 3 “{3”	
Q	Q	49(31H)	FNC 2 “{2”	FNC 2 “{2”	
R	R	50(32H)	SHIFT “{S”	SHIFT “{S”	
S	S	51(33H)	CODE C “{C”	CODE C “{C”	
T	T	52(34H)	CODE B “{B”	CODE A “{A”	CODE B “{B”
			FNC 4 “{4”	FNC 4 “{4”	CODE A “{A”
			FNC 1 “{1”	FNC 1 “{1”	FNC 1 “{1”

6. *TextPosition* の指定と、*Width* によるバーコード印字可否条件を下記に示します。*Width* パラメータについて、特に記述のないものは、印字可能範囲内であれば *TextPosition* によらずバーコードが印字可能ということを示しています。下記の表は、*Width* パラメータが dot 単位で且つ、印字可能範囲であることが前提です。

<i>Symbology</i>	<i>TextPosition</i> PTR_BC_TEXT_NONE	<i>TextPosition</i> PTR_BC_TEXT_ABOVE PTR_BC_TEXT_BELOW
PTR_BCS_UPCA(101)	印字可	Width=95~189 OPOS_E_ILLEGAL
PTR_BCS_UPCE(102)	印字可	Width=51~101 OPOS_E_ILLEGAL
PTR_BCS_JAN8(103)	印字可	Width=67~133 OPOS_E_ILLEGAL
PTR_BCS_JAN13(104)	印字可	Width=95~189 OPOS_E_ILLEGAL
PTR_BCS_CODE39(108)	印字可	印字可
PTR_BCS_ITF(106)	印字可	印字可
PTR_BCS_Codabar(107)	印字可	印字可
PTR_BCS_CODE93(109)	※1	※1
PTR_BCS_CODE128(110)	※2	※2

※1 ... OPOS\_E\_ILLEGAL となる、width と キャラクタ数の関係は

$$37 + 9 * \text{wlen} + 18(\text{len} - \text{wlen}) \leq \text{width} < 74 + 18 * \text{wlen} + 36(\text{len} - \text{wlen})$$

の範囲内です。

- ・ wlen = キャラクタ内に含まれる '0' ~ '9', 'A' ~ 'Z', ' ', '\$', '%', '+', '-', '.', '/' の数

- ・ len = キャラクタ長

※2 ... OPOS\_E\_ILLEGAL となる、width と キャラクタ数の関係は

$$24 + 11 * \text{len} \leq \text{width} < 48 + 22 * \text{len}$$

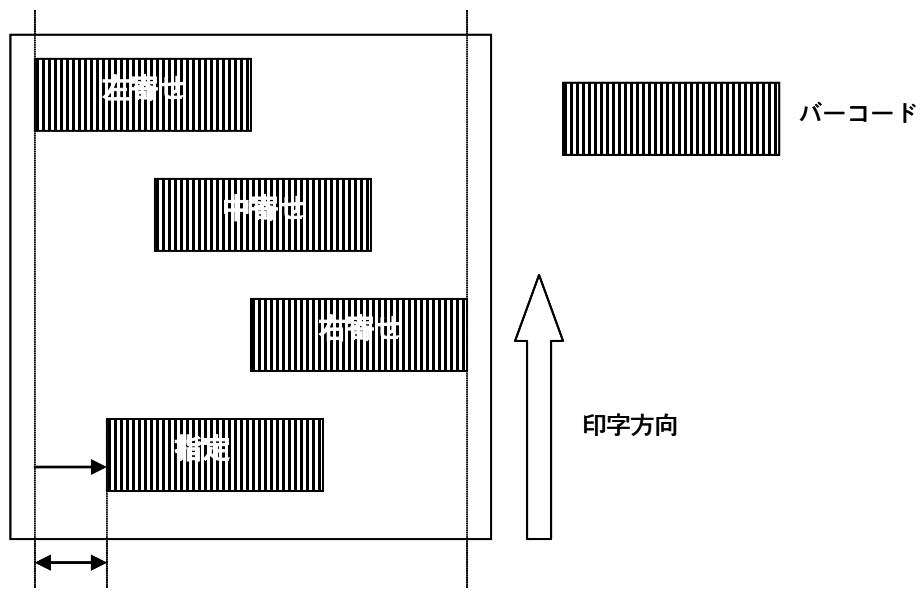
の範囲内です。

- ・ len = キャラクタ長 から、それに含まれる

- ”{A”, ”{B”, ”{C”, ”{1”, ”{2”, ”{3”, ”{4”, ”{S”, ”{{” の数を引いた値

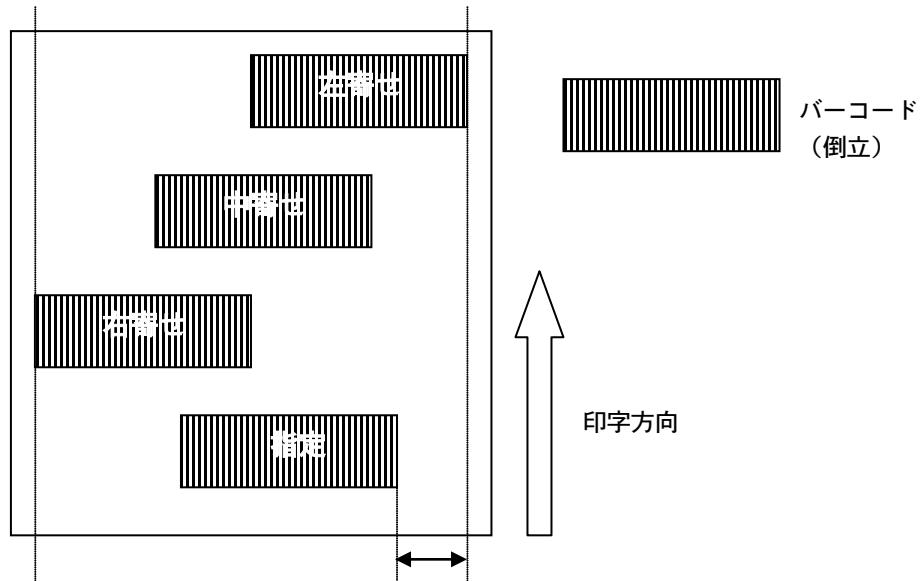
<RotateSpecial を使用したバーコードの回転印字について>

正立印字時の、*Alignment* 指定による印字位置の変化



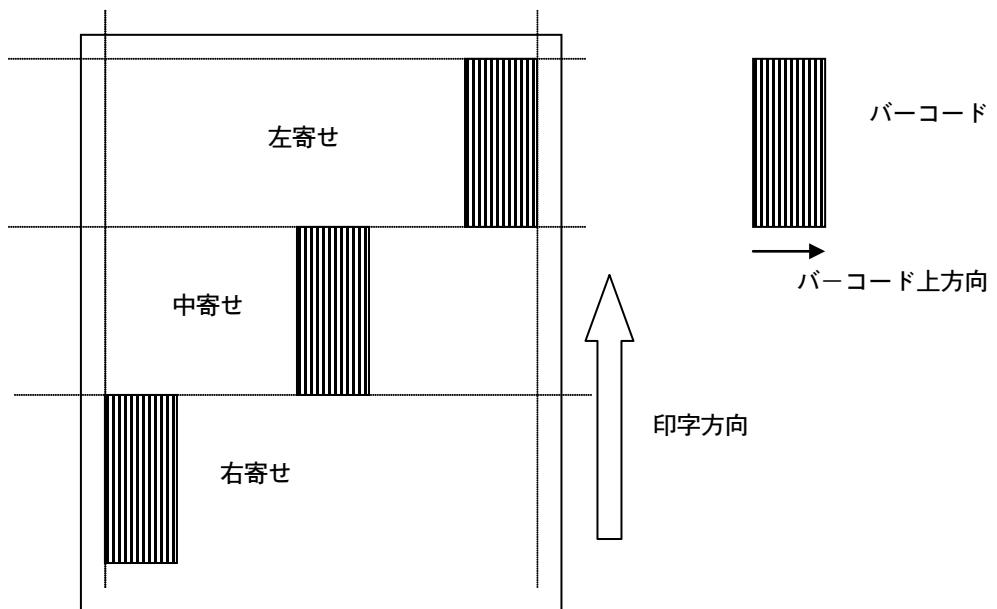
*Alignment* で設定した左端からの位置

倒立印字時の、*Alignment* 指定による印字位置の変化

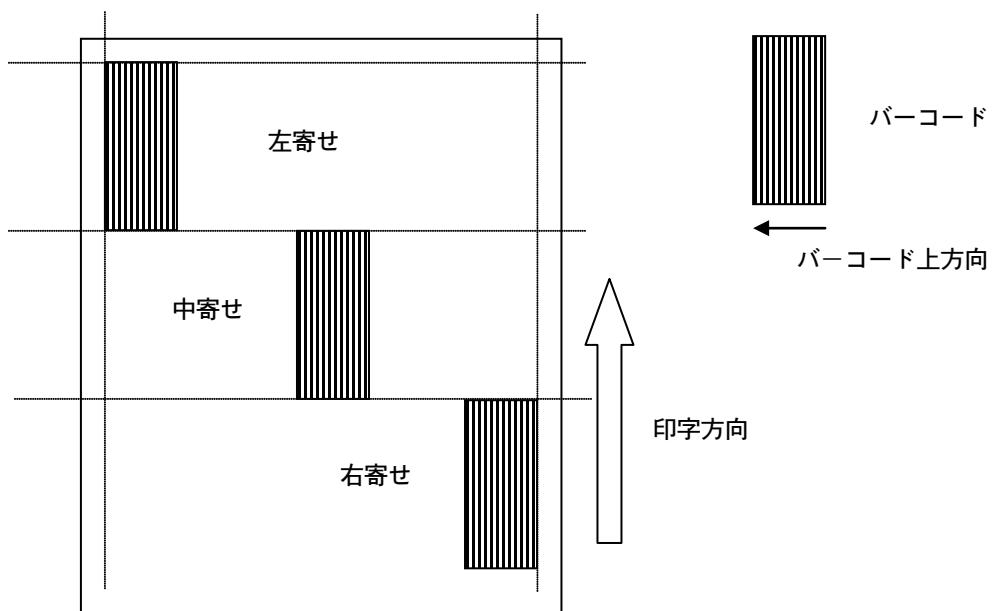


*Alignment* で設定した左端からの位置

右90度回転時の、*Alignment* 指定による印字位置の変化



左90度回転時の、*Alignment* 指定による印字位置の変化



※PDF417については、左右90度回転時の*Alignment*はすべて PTR\_BC\_LEFT(-1) 固定となります。

## 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**resultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	以下のエラーの一つが起こりました。 <ul style="list-style-type: none"><li>・<i>Station</i> が存在しません。</li><li>・<i>Station</i> がバーコード印刷をサポートしていません。</li><li>・<i>Height</i> あるいは <i>Width</i> が、0 あるいは大きすぎます。</li><li>・サポートされていない <i>Symbology</i> です。</li><li>・<i>Symbology</i> でサポートされていない文字があります。</li><li>・<i>Alignment</i> が、不正な値であるか、大きすぎます (<i>Alignment</i> を絶対位置指定した場合は、<i>Alignment</i> の指定値と、バーコードの実際の印字幅 (<i>Width</i> に一番近い値で計算した値) の合計値が、印字可能幅を超える場合)。</li><li>・<i>TextPosition</i> が、不正な値です。</li></ul>
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_FAILURE(111)	OPOS コントロールはエラー状態です。エラー状態を解除して実行してください。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。
OPOS_E_EXTENDED(114)	<b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_COVER_OPEN(201): POS プリンタカバーが開いています。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。) <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_REC_EMPTY(203): レシート用紙がありません。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。) <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_BLACKMARK(10001): 黒マーカーが発生しました。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。) <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_FATAL (10003): フェイタルエラーが発生しました。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。) <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_OVERHEAT (10006): ヘッド昇温エラーが発生しました。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。)
その他	<b>resultCode</b> の項目を参照してください

## PrintBitmap メソッド

### 形式

```
LONG PrintBitmap (LONG Station, BSTR FileName, LONG Width, LONG Alignment);
```

パラメータ	説明
<i>Station</i>	PTR_S_RECEIPT(2)を指定
<i>FileName</i>	Windows ビットマップファイル名。ファイルは圧縮されたフォーマットではありません。(フルパスまたは相対パス指定)
<i>Width</i>	ビットマップの印刷幅。下記の値を参照。
<i>Alignment</i>	ビットマップの印刷位置。下記の値を参照。

*Width*パラメータの値は、以下の通りです。

値	意味
PTR_BM_ASIS(-11)	POS プリンタのドット当たり 1 ビットマップピクセルで、ビットマップを印刷します。
その他	ビットマップ幅。 <b>MapMode</b> で定義された単位で表記します。有効値は、1~RecLineWidth プロパティの値までです。

*Alignment*パラメータの値は、以下の通りです。

値	意味
PTR_BM_LEFT(-1)	左寄せ
PTR_BM_CENTER(-2)	センタリング
PTR_BM_RIGHT(-3)	右寄せ
その他	ビットマップ印刷を開始する左端からの距離。 <b>MapMode</b> で定義された単位で表記します。 <i>Width</i> との合計値が、 <i>Width</i> パラメータの制限を超えてはいけません。

### 説明

指定されたプリンタにビットマップを印刷する時にこのメソッドを呼び出します。読み込んだビットマップを、モノクロームまたは2色にして印刷します。

2色印刷設定の場合、黒を第一色、その他を第二色で印刷します。

登録可能なビットマップは、横サイズ(*Width*)が RecLineWidth dot 以下 (*Alignment* が絶対位置指定の場合、*Width+Alignment*<= RecLineWidth)、且つ縦サイズが単色データは 1662dot、2色設定で2色データの場合は 831dot 以下となります。

**PrintBitmap** は呼び出された時点でビットマップデータをプリンタに送信するため、良好なパフォーマンスが得られません。**SetBitmap** とエスケープシーケンスによるビットマップの印刷を推奨します。

このメソッドは、**AsyncMode** が FALSE ならば、同期的に実行され、**AsyncMode** が TRUE ならば、非同期的に実行されます。

*Width*パラメータはビットマップの変換をコントロールします。もし、*Width*が PTR\_BM\_ASIS ならば変換は実行されません。ビットマップは POS プリンタドット当たり 1 ビットマップピクセルで印刷されます。

もし *Width* が 0 でなければ、ビットマップは、その幅が指定された幅でそのアスペクト比が変化しないように、拡大されたり圧縮されたりすることにより、変換されます。

※指定されたビットマップデータがモノクロの場合、モノクロビットマップがプリンタに設定されます。モノクロ以外のデータの場合、**CapRec2Color** プロパティが TRUE の場合は 2 色ビットマップ印字が実行され、FALSE の場合はモノクロデータとして印字されます。

## 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**resultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	以下のエラーの内、一つが起こりました。 <ul style="list-style-type: none"><li>・<i>Station</i> が存在しません。</li><li>・<i>Station</i> がビットマップ印刷をサポートしていません。</li><li>・<i>Width</i> が大きすぎます。</li><li>・<i>Alignment</i> が、不正な値であるか、大きすぎます。</li></ul>
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_FAILURE(111)	OPOS コントロールはエラー状態です。エラー状態を解除して実行してください。
OPOS_E_NOEXIST(109)	<i>FileName</i> で指定されたファイルが見つかりませんでした。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。)
OPOS_E_EXTENDED(114)	<b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_COVER_OPEN(201): POS プリンタカバーが開いています。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。) <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_REC_EMPTY(203): 指定されたレシートは、用紙がありません。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。) <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_TOOBIG (206): 指定したビットマップが大きすぎます。 印字可能なビットマップサイズは、横 <b>RecLineWidth</b> プロパティ dot、縦 モノクロ時 1662 dot 2色設定時 831 dot の間です。 <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_BADFORMAT (207): 指定したビットマップのフォーマットが異なっています。指定されたファイルはビットマップファイルではありません。 2色印字指定でデータが 24 ビットビットマップの場合。 (モノクロ指定で 24 ビットビットマップは印刷可能) <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_BLACKMARK(10001): 黒マーカーが発生しました。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。) <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_FATAL (10003): フェイタルエラーが発生しました。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。) <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_OVERHEAT (10006): ヘッド昇温エラーが発生しました。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。)
その他	<b>resultCode</b> の項目を参照してください。

## PrintImmediate メソッド

### 形式

```
LONG PrintImmediate (LONG Station, BSTR Data);
```

<u>パラメータ</u>	<u>説明</u>
<i>Station</i>	PTR_S_RECEIPT(2)を指定
<i>Data</i>	印刷される文字。プリント可能な文字とエスケープシーケンス、キャリッジリターン(13 decimal)、ニューライン/ラインフィード(10 decimal)から成ります。 詳細は <a href="#">BinaryConversion</a> プロパティを参照してください。

### 説明

POS プリンタに *Data* を印刷する時にこのメソッドを呼び出します。非同期印字実行中(*State*=OPOS\_S\_BUSY(3) 中) は OPOS\_E\_BUSY(113) が返ります。エラーイベント中(*State*=OPOS\_S\_ERROR(4) 中) は OPOS\_E\_FAILURE(111) が返ります。また、最大桁数を越える分の印刷データは次の行に折り返して印刷します。

*Data* 内の特別なキャラクタの値は、以下の通りです。

<u>値</u>	<u>意味</u>
Newline/Line Feed (10)	バッファ内のデータを印字後、次の行へ進みます。(キャリッジリターンは、その行を印刷するためには必要ありません。)
Carriage Return(13)	もし、キャリッジリターンがラインフィードのすぐ前にあれば、キャリッジリターンは無視されます。 キャリッジリターンはラインフィードのように振る舞います。 <a href="#">ValidateData</a> メソッドは、ラインフィード無しのキャリッジリターンが可能か否かと、そのために逆フィードがサポートされる必要があるか否かを決定するために利用されます。

### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、[resultCode](#) プロパティにも格納されます。

<u>値</u>	<u>意味</u>
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	指定した POS プリンタ (レシート以外) が存在しません。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_FAILURE(111)	OPOS コントロールはエラー状態です。エラー状態を解除して実行してください。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。
OPOS_E_EXTENDED(114)	<a href="#">resultCodeExtended</a> = OPOS_EPTR_COVER_OPEN(201): POS プリンタカバーが開いています。 <a href="#">resultCodeExtended</a> = OPOS_EPTR_REC_EMPTY(203): レシート用紙がありません。 <a href="#">resultCodeExtended</a> = OPOS_FIT_EPTR_BLACKMARK(10001): 黒マーカーが発生しました。 <a href="#">resultCodeExtended</a> = OPOS_FIT_EPTR_FATAL (10003): フェイタルエラーが発生しました。 <a href="#">resultCodeExtended</a> = OPOS_FIT_EPTR_OVERHEAT (10006): ヘッド昇温エラーが発生しました。
その他	<a href="#">resultCode</a> の項目を参照してください

## PrintMemoryBitmap メソッド

### 形式

```
LONG PrintMemoryBitmap (LONG Station, BSTR* Data, LONG Type, LONG Width,  
LONG Alignment);
```

パラメータ	説明
<i>Station</i>	PTR_S_RECEIPT(2)を指定
<i>Data</i>	ビットマップデータを保持しているバイト配列へのポインタ。
<i>Type</i>	PTR_BMT_BMP(1)を指定
<i>Width</i>	ビットマップの印刷幅。下記の値を参照。
<i>Alignment</i>	ビットマップの印刷位置。下記の値を参照。

*Width*パラメータの値は、

値	意味
PTR_BM_ASIS(-11)	POS プリンタのドット当たり 1 ビットマップピクセルで、ビットマップを印刷します。
その他	ビットマップ幅。MapMode で定義された単位で表記します。

*Alignment*パラメータの値は、

値	意味
PTR_BM_LEFT(-1)	左寄せ。
PTR_BM_CENTER(-2)	センタリング。
PTR_BM_RIGHT(-3)	右寄せ。
その他	ビットマップ印刷を開始する左端からの距離。MapMode で定義された単位で表記します。

### 説明

指定されたステーションに対して、メモリ上に保持されたビットマップを印刷する時にこのメソッドを呼び出します。バイト配列へのポインタとして渡されたビットマップを、モノクロームまたは2色にして印刷します。

2色印刷設定の場合、黒を第一色、その他を第二色で印刷します。

印刷可能なビットマップは、横サイズ(*Width*)が RecLineWidth dot 以下 (*Alignment* が絶対位置指定の場合、*Width+Alignment*<= RecLineWidth)、且つ縦サイズが単色データは 1662dot、2色設定で2色データの場合は 831dot 以下となります。

このメソッドは、*AsyncMode* が FALSE ならば、同期的に実行され、*AsyncMode* が TRUE ならば、非同期的に実行されます。

*Width*パラメータはビットマップの変換をコントロールします。もし、*Width*が PTR\_BM\_ASIS ならば、変換は実行されません。ビットマップは POS プリンタドット当たり 1 ビットマップピクセルで印刷されます。このオプションの長所は、以下のことです。

高いパフォーマンスのビットマップ印刷ができます。

ビットマップは、水平方向と垂直方向のドット単位がプリンタ固有のアスペクト比に調整され、良好な印刷が得られます。

もし *Width* が 0 でなければ、ビットマップは、その幅が指定された幅でそのアスペクト比が変化しないように、拡大されたり圧縮されたりすることにより、変換されます。

また、TransactionPrint にはバッファリングされないため、バッファリング中においても、データをプリンタに送信します。

## 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	以下のエラーの内、一つが起こりました。 <ul style="list-style-type: none"><li>・<i>Station</i>が存在しません。</li><li>・<i>Station</i>がビットマップ印刷をサポートしていません。</li><li>・<i>Width</i>が大きすぎます。</li><li>・<i>Alignment</i>が、不正な値であるか、大きすぎます。</li></ul>
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_FAILURE(111)	OPOS コントロールはエラー状態です。エラー状態を解除して実行してください。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。)
OPOS_E_EXTENDED(114)	<b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_COVER_OPEN(201): POS プリントカバーが開いています。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。) <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_REC_EMPTY(203): 指定されたレシートは、用紙がありません。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。) <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_TOOBIG (206): 指定したビットマップが大きすぎます。 印字可能なビットマップサイズは、横 <b>RecLineWidth</b> プロパティ dot、縦 モノクロ時 1662 dot 2色設定時 831 dot の間です。 <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_BADFORMAT (207): 指定したビットマップのフォーマットが異なっています。指定されたファイルはビットマップファイルではありません。 <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_BLACKMARK(10001):黒マーカーが発生しました。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。) <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_FATAL (10003):フェイタルエラーが発生しました。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。) <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_OVERHEAT (10006):ヘッド昇温エラーが発生しました。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。)
その他	<b>resultCode</b> の項目を参照してください。

## PrintNormal メソッド

### 形式

```
LONG PrintNormal (LONG Station, BSTR Data);
```

パラメータ	説明
<i>Station</i>	PTR_S_RECEIPT(2)を指定
<i>Data</i>	印刷される文字。プリント可能な文字とエスケープシーケンス、キャリッジリターン(13 decimal)、ニューライン/ラインフィード(10 decimal)から成ります。 詳細は <b>BinaryConversion</b> プロパティを参照してください。

### 説明

レシートプリンタに *Data* を印刷する時にこのメソッドを呼び出します。最大桁数を越える分の印刷データは次の行に折り返して印刷します。

このメソッドは、**AsyncMode** が FALSE ならば、同期的に実行され、**AsyncMode** が TRUE ならば、非同期的に実行されます。

*Data* 内の特別なキャラクタの値は、以下の通りです。

値	意味
Newline/Line Feed (10)	バッファ内のデータを印字後、次の行へ進みます。(キャリッジリターンは、その行を印刷するためには必要ありません。)
Carriage Return(13)	もし、キャリッジリターンがラインフィードのすぐ前にあれば、キャリッジリターンは無視されます。 キャリッジリターンはラインフィードのように振る舞います。 <b>ValidateData</b> メソッドは、ラインフィード無しのキャリッジリターンが可能か否かと、そのために逆フィードがサポートされる必要があるか否かを決定するために利用されます。

#### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	指定した POS プリンタ（レシート以外）が存在しません。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_FAILURE(111)	OPOS コントロールはエラー状態です。エラー状態を解除して実行してください。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。
OPOS_E_EXTENDED(114)	<b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_COVER_OPEN(201): POS プリンタカバーが開いています。（ <b>AsyncMode</b> が FALSE の時のみ返されます。） <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_REC_EMPTY(203): レシート用紙がありません。（ <b>AsyncMode</b> が FALSE の時のみ返されます。） <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_BLACKMARK(10001): 黒マーカーが発生しました。（ <b>AsyncMode</b> が FALSE の時のみ返されます。） <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_FATAL (10003): フェイタルエラーが発生しました。（ <b>AsyncMode</b> が FALSE の時のみ返されます。） <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_OVERHEAT (10006): ヘッド昇温エラーが発生しました。（ <b>AsyncMode</b> が FALSE の時のみ返されます。）
その他	<b>resultCode</b> の項目を参照してください。

## PrintTwoNormal メソッド

#### 形式

```
LONG PrintTwoNormal (LONG Stations, BSTR Data1, BSTR Data2);
```

パラメータ	説明
<i>Station</i>	使用される POS プリンタステーション。
<i>Data1</i>	第 1 のステーションに印刷される文字。
<i>Data2</i>	第 2 のステーションに印刷される文字。 詳細は <b>BinaryConversion</b> プロパティを参照してください。

#### 説明

2 つの文字列を 2 つの POS プリンタに同時に印字する時にこのメソッドを呼び出します。  
このメソッドはスリッププリンタを対象としているため、本 OCX ではサポートされません。

#### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_E_ILLEGAL(106)	指定した POS プリンタ（レシート以外）が存在しません。
その他	<b>resultCode</b> の項目を参照してください。

## RotatePrint メソッド

### 形式

```
LONG RotatePrint (LONG Station, LONG Rotation);
```

<u>パラメータ</u>	<u>説明</u>
<i>Station</i>	PTR_S_RECEIPT(2)を指定
<i>Rotation</i>	回転方向。下記の値を参照。 <i>Rotation</i> の値は、以下の通りです。
<u>値</u>	<u>意味</u>
PTR_RP_RIGHT90(257)	右に 90 度回転（時計回りに）印刷の開始。
PTR_RP_LEFT90(258)	左に 90 度回転（時計と反対回りに）印刷の開始。
PTR_RP_ROTATE180(259)	180 度回転印刷、つまり、倒立印字の開始。
PTR_RP_NORMAL(1)	回転印刷の終了。

### 説明

このメソッドは、**AsyncMode** が FALSE ならば、同期的に実行され、**AsyncMode** が TRUE ならば、非同期的に実行されます。

もし、*Rotation* が PTR\_RP\_ROTATE180 ならば、倒立印刷モードが開始されます。RotatePrint が *Rotation* パラメータを PTR\_RP\_NORMAL に設定して呼ばれるまで、PrintNormal と PrintImmediate の呼び出しによるデータは倒立して印刷されます。各行は POS プリンタコントロールに送られた順に印刷され、各行の先頭はプリンタの右マージンに合わされます。PrintNormal と PrintImmediate の印刷メソッドが、倒立印刷モード中に使用されます

*Rotation* が PTR\_RP\_RIGHT90、PTR\_RP\_LEFT90 ならば、横書きモードが開始されます。RotatePrint が *Rotation* パラメータを PTR\_RP\_NORMAL に設定して呼ばれるまで、PrintNormal メソッドの呼び出しによるデータはバッファリングされます。（この場合、上記のメソッドのデータはバッファリングされるだけで、印刷は開始しません。また、**AsyncMode** プロパティの値は、そのオペレーションに影響しません。つまり、その要求に OutputID は割り当てられませんし、OutputCompleteEvent も通知しません。尚、この場合、POS プリンタのエラー状態に関わらず、各メソッドは成功します。例えば、POS プリンタの電源が切っていても、RotatePrint による印刷データのバッファリング中は、各メソッドの呼びだし時にエラーを返しません。）

横書きモード時は PrintNormal メソッドの呼び出しによるバッファリングされる文字データによって、モノクロは 0~1662dot 2色時は 0~831dot の範囲で横幅を自動設定します。OPOS コントロールは、バッファリング中の文字データを解析し、すべての行における幅の最大値にあわせて、横幅が決定されます（下記の表を参考）。ただし、文字データ内にエスケープシーケンスによるビットマップ印刷やバーコード印刷が指定された場合には横幅の算入が行われないため他の文字データで計算された横幅に収まらないビットマップやバーコードの印刷は正常に行われません。

文字データ総数の幅が 1662dot(2色時は 831dot)を超えた場合は、横幅は 1662dot(2色時は 831dot)となり、はみ出したデータについては、ページ内に折り返して印字されます。また、文字データの横幅がエスケープシーケンスによって 2 倍以上になる場合も、倍率をかけた値で計算されます。(例: フォント A ANK 文字が 横 2 倍で指定された場合は、24 dot として計算します。) 尚、バッファリングされたデータが無い場合 (**PrintNormal** メソッドが一度も実行されていない場合) は、何も印字を行いません。

文字 1 文字あたりの横幅(dot)

フォント(RecLineChars プロパティを参照してください。)	ANK	漢字
フォント A	12 dot	24 dot
フォント B	10 dot	20 dot
フォント C	8 dot	16 dot

倒立印刷モードで **PrintBitmap**, **PrintMemoryBitmap** メソッドを発行しても、ビットマップは倒立印刷されません。

倒立印刷モードで **SetBitmap** を行ったビットマップも、倒立しないで登録されます。

*Rotation* に PTR\_RP\_BARCODE、あるいは PTR\_RP\_BITMAP が含まれている場合には、(**PrintBarcode** で印刷される) バーコード、あるいは (**PrintBitmap**、または' ESC|#B' エスケープシーケンスで印刷される) ビットマップはすべて、**RotatePrint** で回転印刷できます。回転方向は、それぞれ **RecBarcodeRotationList**、**RecBitmapRotationList** プロパティで制限されます。

*Rotation* に PTR\_RP\_BARCODE が含まれている場合には、**RotateSpecial** の内容は無視されます。

もし、*Rotation* が PTR\_RP\_NORMAL ならば、回転印刷モードは終了します。もし、横向き回転印刷モードが有効な時に、あるデータが **PrintNormal** によってバッファリングされていたならば、そのバッファリングされたデータは印刷されます。全体の回転した行のブロックは、一つのメッセージとして扱われます。

**ClearOutput** メソッドを呼ぶことにより、回転印刷モードは中止されます。いかなるバッファリングされた横向き回転印刷行も削除されます。

尚、エスケープシーケンスで縦 n 倍を指定し、回転印刷を行った場合、印字が重なったり、あるいははみ出る場合があります。これらの場合は縦 n 倍のデータの前に改行コードを入れてください。(例: 縦 3 倍角のデータを出力するには、2 つの改行コードを入れておくことで正常に印字されます。基本的に縦 n 倍の場合, n-1 個の改行コードを挿入すれば問題ありません。)

## 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**resultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	指定した POS プリンタ (レシート以外) が存在しません。 または、 <i>Station</i> が指定した回転をサポートしていません。 異なる回転モード中です。一旦、PTR_RP_NORMAL(1) を指定するか、 <b>ClearOutput</b> にて回転印字をクリアした後、再実行してください。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_FAILURE(111)	OPOS コントロールはエラー状態です。エラー状態を解除して実行してください。

OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。)
OPOS_E_EXTENDED(114)	<p><b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_COVER_OPEN(201): POS プリンタカバーが開いています。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。)</p> <p><b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_REC_EMPTY(203): レシート用紙がありません。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。)</p> <p><b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_BLACKMARK(10001): 黒マーケラーが発生しました。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。)</p> <p><b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_FATAL (10003): フェイタルエラーが発生しました。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。)</p> <p><b>resultCodeExtended</b> = OPOS_FIT_EPTR_OVERHEAT (10006): ヘッド昇温エラーが発生しました。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。)</p> <p><b>resultCode</b> の項目を参照してください</p>
その他	

## SetBitmap メソッド

### 形式

```
LONG SetBitmap (LONG BitmapNumber, LONG Station, BSTR FileName, LONG Width, LONG Alignment);
```

#### パラメータ

#### 説明

<i>BitmapNumber</i>	このビットマップに割り当てられる番号。 有効な値は、1～20までの値です。
<i>Station</i>	PTR_S_RECEIPT(2)を指定
<i>FileName</i>	Windows ビットマップファイル名。ファイルは圧縮されたフォーマットではありません。(フルパスまたは相対パス指定) 空文字が設定された場合、指定された <i>BitmapNumber</i> のビットマップを POS プリンタから消去します。
<i>Width</i>	ビットマップの印刷幅。値は PrintBitmap 参照。
<i>Alignment</i>	ビットマップの印刷位置。値は PrintBitmap 参照。

### 説明

まもなく印刷するビットマップに関する情報を保存する時に呼び出します。

ビットマップは、印刷データ内にビットマップ印刷のエスケープシーケンスをもつ PrintNormal あるいは PrintImmediate を呼ぶことによって印刷されます。

2色印刷設定の場合、黒を第一色、その他を第二色で保存します。

登録可能なビットマップは、横サイズ(*Width*)が RecLineWidth dot 以下 (*Alignment* が絶対位置指定の場合、*Width+Alignment*<= RecLineWidth)、且つ縦サイズが 2304dot 以下となり、且つディザリング後 (POS プリンタに対して解釈可能なビットマップデータに変換した後) のデータサイズが、384KByte 以下のデータである必要があります。この条件に適合しない場合、OPOS\_EPTR\_TOOBIG(206)が通知されます。また、不揮発メモリ上に空き容量が存在しない場合についても、OPOS\_EPTR\_TOOBIG(206)が通知されますので、この場合、*FileName* パラメータに空白を指定して、POS プリンタからビットマップデータを削除して空き容量を確保した上で、再度実行してください。

2色印字設定の場合は、24ビットカラーのビットマップデータを登録することは出来ません。

※本 OCX では、SetBitmap を実行すると、ビットマップを POS プリンタの不揮発メモリ上に書き込む為、いったん OCX の ReleaseDevice を行った後でも、セットしたビットマップ自体は有効となります。つまり、1 度設定を行えば、エスケープシーケンスによるビットマップの印字が有効となります。

※指定されたビットマップデータがモノクロの場合、モノクロビットマップがプリンタに設定されます。モノクロ以外のデータの場合、CapRec2Color プロパティが TRUE の場合は 2 色ビットマップ印字が実行され、FALSE の場合はモノクロデータとして印字されます。

※メソッドのパラメータに PTR\_BM\_LEFT(-1), PTR\_BM\_CENTER(-2), PTR\_BM\_RIGHT(-3)で登録したビットマップを RotatePrint メソッドによる左右 90 度回転印刷時すると、標準(縦)方向の印字幅基準での左寄せ、中央寄せ、右寄せになります。

## 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**ResultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	指定した POS プリンタ（レシート以外）が存在しません。 <ul style="list-style-type: none"><li>・<i>BitmapNumber</i> が不正な値です。</li><li>・POS プリンタ（レシート以外）が存在しません。</li><li>・<i>Station</i> がビットマップ印刷をサポートしていません。</li><li>・<i>Width</i> が大きすぎます。</li><li>・<i>Alignment</i> が、不正な値であるか、大きすぎます。</li></ul>
OPOS_E_NOEXIST(109)	<i>FileName</i> で指定されたビットマップファイルが見つかりませんでした。
OPOS_E_FAILURE(111)	POS プリンタにビットマップデータを送信できませんでした。カバーが開いているか、レシート用紙がないか、POS プリンタの電源が切れてる可能性があります。
OPOS_E_BUSY(113)	デバイスが出力中のため、実行できません。
OPOS_E_EXTENDED(114)	<b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_TOOBIG(206)： ビットマップが、変換無しで印刷するにはその幅が広すぎるか、あるいは変換するには大きすぎます。 <b>resultCodeExtended</b> = OPOS_EPTR_BADFORMAT(207)： 指定されたファイルが、ビットマップファイルでないか、あるいはサポートされていないフォーマットです。 <b>resultCode</b> の項目を参照してください。
その他	

## SetLogo メソッド

### 形式

```
LONG SetLogo (LONG Location, BSTR Data);
```

パラメータ	説明
<i>Location</i>	設定するロゴ。PTR_L_TOP(1)あるいはPTR_L_BOTTOM(2)です。
<i>Data</i>	ロゴを作る文字。プリント可能な文字とエスケープシーケンス、キャリッジリターン(13 decimal)、ニューライン/ラインフィード(10 decimal)から成ります。

*Location* 設定するロゴ。PTR\_L\_TOP(1)あるいはPTR\_L\_BOTTOM(2)です。  
*Data* ロゴを作る文字。プリント可能な文字とエスケープシーケンス、キャリッジリターン(13 decimal)、ニューライン/ラインフィード(10 decimal)から成ります。

詳細は **BinaryConversion** プロパティを参照してください。

### 説明

データ文字列を上端あるいは下端のロゴとして保存する時に呼び出します。  
プリントデータ内に、上端ロゴあるいは下端ロゴのエスケープシーケンスを含んだ **PrintNormal**、あるいは **PrintImmediate** メソッドを呼ぶことによって、ロゴは印刷されます。

### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**resultCode** プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	不正な <i>Location</i> が指定されました。
その他	<b>resultCode</b> の項目を参照してください。

## TransactionPrint メソッド

### 形式

```
LONG TransactionPrint(LONG Station, LONG Control);
```

パラメータ	説明
<i>Station</i>	PTR_S_RECEIPT(2)を指定
<i>Control</i>	一括処理。下記の値を参照。
<i>Control</i> の値は、以下の通りです。	

値	意味
PTR_TP_TRANSACTION(11)	一括処理の開始。
PTR_TP_NORMAL(12)	バッファデータを印字して一括処理を終了する。

### 説明

一括処理モードに入る時または抜ける時にこのメソッドを呼び出します。  
*Control* が PTR\_TP\_TRANSACTION(11)ならば、一括処理モードに入ります。その後の PrintNormal、CutPaper、RotatePrint、PrintBarcode、PrintBitmap メソッドへの呼び出しは、*Control* パラメータに PTR\_TP\_NORMAL(12)をセットして TransactionPrint が呼び出されるまで、印刷データをサービスオブジェクトでバッファリングします。(この場合、前記のメソッドの印刷データはバッファリングされるだけで、印刷は開始しません。また、AsyncMode プロパティの値は、そのオペレーションに影響しません。つまり、その要求に OutputID は割り当てられませんし、OutputCompleteEvent も通知しません。尚、この場合、POS プリンタのエラー状態に関わらず、各メソッドは成功します。例えば、POS プリンタの電源が切れていても、TransactionPrint による印刷データのバッファリング中は、各メソッドの呼びだし時にエラーを返しません。)  
*Control* が PTR\_TP\_NORMAL(12)ならば、一括処理モードを抜けます。PrintNormal、CutPaper、RotatePrint、PrintBarcode、PrintBitmap メソッドによりデータがバッファされていたならば、そのデータは印刷されます。一括処理全体は一つのメッセージとして処理されます。このメソッドは AsyncMode が FALSE ならば、同期的に実行され AsyncMode が TRUE ならば、非同期的に実行されます。  
ClearOutput メソッドを呼び出すことによって、一括処理モードは取り消されます。バッファされた印刷行も削除されます。  
注意点として、RotatePrint メソッドを実行した場合があります。TransactionPrint メソッドを実行し、一括処理モードを抜けるまで、RotatePrint メソッドを PTR\_RP\_RIGHT90(257)で呼び出し、PrintNormal メソッド呼び出し、RotatePrint メソッドを PTR\_RP\_PTR\_RP\_NORMAL (1)で呼び出しによる印字はされません。また、RotatePrint メソッドを PTR\_RP\_RIGHT90(257)で呼び出し、TransactionPrint メソッド PTR\_TP\_TRANSACTION(11)で呼び出した場合、TransactionPrint メソッドによるバッファリングの方が優先度が高い為、この間にバッファリングされたデータは、回転印字さず、正しく印字することができません。よって、RotatePrint メソッドを実行する場合は、TransactionPrint メソッドの後に実行してください。

### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、ResultCode プロパティにも格納されます。

値	意味
OPOS_SUCCESS(0)	メソッドは正常終了しました。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	指定した POS プリンタ（レシート以外）が存在しません。
OPOS_E_NOHARDWARE(107)	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
OPOS_E_FAILURE(111)	OPOS コントロールはエラー状態です。エラー状態を解除して実行してください。
OPOS_E_BUSY(113)	出力中なので実行できません。（AsyncMode が FALSE で Control パ

OPOS\_E\_EXTENDED(114) ラメータが PTR\_TP\_NORMAL(12)の時のみ返されます。)  
**resultCodeExtended** = OPOS\_EPTR\_COVER\_OPEN(201): POS プリンタカバーが開いています。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。)  
**resultCodeExtended** = OPOS\_EPTR\_REC\_EMPTY(203): レシート用紙がありません。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。)  
**resultCodeExtended** = OPOS\_FIT\_EPTR\_BLACKMARK(10001): 黒マーケラーが発生しました。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。)  
**resultCodeExtended** = OPOS\_FIT\_EPTR\_FATAL (10003): フェイタルエラーが発生しました。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。)  
**resultCodeExtended** = OPOS\_FIT\_EPTR\_OVERHEAT (10006): ヘッド昇温エラーが発生しました。(AsyncMode が FALSE の時のみ返されます。)  
resultCode の項目を参照してください。

その他

## ValidateData メソッド

### 形式

LONG ValidateData(LONG *Station*, BSTR *Data*);

#### パラメータ

#### 説明

*Station*

PTR\_S\_RECEIPT(2)を指定

*Data*

判定されるデータ。印刷可能データとエスケープシーケンスを含みます。

詳細は **BinaryConversion** プロパティを参照してください。

### 説明

**PrintNormal**, **PrintImmediate** メソッドを呼び出す前に、指定された POS プリンタにとって、一つ以上のエスケープシーケンスを含むデータシーケンスが、有効か否かを判定する時に呼び出します。

このメソッドは、全く印刷しませんが、その POS プリンタの能力を判定するために使用されます。OPOS\_E\_ILLEGAL(106)が返されるケース 又は OPOS\_E\_FAILURE(111)が返されるケースに記載の無いエスケープシーケンスは、判定せずに全て OPOS\_SUCCESS(0)を返します。

### 戻り値

次の値のいずれかが戻され、**resultCode** プロパティにも格納されます。

#### 値

#### 意味

OPOS_SUCCESS(0)	データは有効です。
OPOS_E_ILLEGAL(106)	一つ以上のエスケープシーケンスが範囲外です。しかし、コントロールは有効な選択肢を選ぶことができます。あるいは、対象となるステーションが未サポートです。
OPOS_E_FAILURE(111)	一つ以上のエスケープシーケンスがサポートされていません。選ぶことのできる選択肢はありません。
その他	<b>resultCode</b> の項目を参照してください。

OPOS\_E\_ILLEGAL(106)が返されるケースは、以下の場合です。

### エスケープシーケンス 状況

#### 用紙カット/フィードと用紙カット

パーセンテージ' #' はサポートされていません。(1~100のみ有効)

#### アンダーライン

太さ' #' はサポートされていません。(1~2のみ有効)

#### 縦倍率

倍率' #' はサポートされていません。(1~8のみ有効)

#### 横倍率

倍率' #' はサポートされていません。(1~8のみ有効)

OPOS\_E\_FAILURE(111)が返されるケースは、以下の場合です。

### エスケープシーケンス 状況

#### フィードとカットとスタンプ印刷

サポートされていません。

#### スタンプ印刷

サポートされていません。

#### ビットマップ印刷

ビットマップ番号' #' が範囲外です。(1~20のみ有効)

#### 逆フィード

サポートされていません。

#### フォントタイプ指定

サポートされていません。

イタリック	サポートされていません。
カスタムカラー	サポートされていません。
赤色	CapRec2Color が FALSE の時、未サポート。
RGB カラー	サポートされていません。
網掛け文字	サポートされていません。
色指定	サポートされていません。
サブスクリプト/スーパースクリプト	サポートされていません。

## 4. 7. イベント

### DirectIOEvent イベント

#### 形式

```
void DirectIOEvent(LONG EventNumber, LONG* pData, BSTR* pString);
```

パラメータ	説明
<i>EventNumber</i>	イベント番号。サービスオブジェクトが割り当てた特定値です。
<i>pData</i>	数値データのポインタ。イベント番号とサービスオブジェクトで変化する特定値です。
<i>pString</i>	文字列のポインタ。イベント番号とサービスオブジェクトで変化する特定値です。このデータのフォーマットは <b>BinaryConversion</b> プロパティの値に依存します。詳細は <b>BinaryConversion</b> プロパティを参照してください。

#### 説明

アプリケーションと直接通信するために、サービスオブジェクトが通知します。このイベントにより、コントロールオブジェクトではサポートされないイベントを、サービスオブジェクトがアプリケーションに提供することが可能となります。プリンタからの通常ステータス通知以外のデータを受信した場合に、以下の *EventNumber* で 1 バイトずつ通知します。*EventNumber* には、OPOS\_FIT\_DIO\_NOT\_ASB(=101) が設定され、*pData* にバイトデータを 10 進数変換した値(0 ~ 255) が設定されます。

## ErrorEvent イベント

### 形式

```
void ErrorEvent (LONG ResultCode, LONG ResultCodeExtended, LONG ErrorLocus, LONG* pErrorResponse);
```

パラメータ	説明
ResultCode	エラーイベントを起こした要因のコード。 値は <b>ResultCode</b> の項目を参照。
ResultCodeExtended	エラーイベントを起こした要因の拡張コード。 下記の値を参照。
ErrorLocus	OPOS_EL_OUTPUT(1)に設定します。 非同期出力中にエラーが起こりました。
pErrorResponse	エラーイベント応答へのポインタです。 下記の値を参照。

もし、**ResultCode** が OPOS\_E\_EXTENDED(114) であれば、**ResultCodeExtended** は次に示す値のいずれかに設定されます。

値	意味
OPOS_EPTR_COVER_OPEN(201)	POS プリンタカバーが開いています。
OPOS_EPTR_REC_EMPTY(203)	レシート用紙がありません。
OPOS_FIT_EPTR_BLACKMARK(10001)	黒マークエラーが発生しました。
OPOS_FIT_EPTR_FATAL (10003)	POS プリンタでフェイタルエラーが発生しました。
OPOS_FIT_EPTR_OVERHEAT (10006)	プリンタでヘッド昇温が発生しました。

**pErrorResponse** によって指定される位置の内容は、OPOS\_ER\_RETRY(11)のデフォルト値にプリセットされます。

アプリケーションは、次に示す値の内の一つを設定します。

値	意味
OPOS_ER_RETRY(11)	その非同期処理を再度試みます。 エラー状態は抜けます。
OPOS_ER_CLEAR(12)	その非同期出力を含むすべてのバッファリングされたデータを削除します( <b>ClearOutput</b> メソッドと同様の効果があります)。 エラー状態は抜けます。

### 説明

非同期で実行可能なメソッド実行時に、OPOS コントロールの状態がエラー状態に移った時に通知します。

## OutputCompleteEvent イベント

### 形式

```
void OutputCompleteEvent (LONG OutputID);
```

*OutputID* パラメータは、完了した非同期出力リクエストの ID 番号を示します。

### 説明

前に開始された非同期出力リクエストが正常に終了したときに通知します。

## StatusUpdateEvent イベント

### 形式

```
void StatusUpdateEvent (LONG Status);
```

### 説明

*Status* は、次に示す値のいずれかに設定されます。

値	意味
PTR_SUE_COVER_OPEN(11)	POS プリンタカバーが開いています。
PTR_SUE_COVER_OK(12)	POS プリンタカバーが閉じています。
PTR_SUE_REC_EMPTY(24)	レシート用紙がありません。
PTR_SUE_REC_NEAREMPTY(25)	レシート用紙がニアエンドです。
PTR_SUE_REC_PAPEROK(26)	レシート用紙が用意できました。
PTR_SUE_IDLE(1001)	全ての非同期出力が、成功するか、または削除されることによって終了しました。POS プリンタの <b>State</b> は現在 OPOS_S_IDLE(2)です。FlagWhenIdle プロパティは、このイベントが通知するために TRUE でなければなりません。そして、POS プリンタコントロールは、イベントが通知する前に、そのプロパティを FALSE へ自動的にリセットします。
OPOS_SUE_POWER_ONLINE(2001)	デバイスは電源オンでかつレディ状態です。 (PowerNotify = OPOS_PN_ENABLED(1)の場合に通知)
OPOS_SUE_POWER_OFF_OFFLINE(2004)	デバイスは電源オフ、またはオフライン状態です。 (PowerNotify = OPOS_PN_ENABLED(1)の場合に通知)
OPOS_SUE_UF_PROGRESS(2100) + 1 to 100 (1 ~ 100 は進捗率)	ファームウェア進捗率を設定します。
OPOS_SUE_UF_COMPLETE(2200)	ファームウェア更新に成功しました。
OPOS_SUE_UF_FAILED_DEV_OK(2201)	ファームウェア更新処理が失敗しましたが、デバイスはまだ操作可能です。

### 説明

プリンタデバイス側に重要な状態の変化が起こった時に通知されます。

デバイスがイネーブルとなったとき、アプリケーションにデバイスの状態を知らせるために、コントロールは最初の StatusUpdateEvent を発行します。

### 参照

CapPowerReporting プロパティ、PowerNotify プロパティ

## 5. OCX が使用するレジストリについて

以下に本 OCX で使用する、レジストリ設定について下記に示します。

レジストリの値は手動で設定することも可能ですが、設定プログラムにて設定するようにしてください。またレジストリ内容は、OCX が `Open` メソッドを実行するか、`DeviceEnabled` プロパティを `TRUE` に設定したタイミングで読み込まれます。レジストリ内容が読み込まれるまでは、設定内容は OCX の動作に反映されません。新しい設定値を反映させるには、`DeviceEnabled` プロパティを一度 `FALSE` に設定してから、もう一度 `TRUE` に設定し直すか、一旦 OCX に `Close` メソッドを発行後、`Open` メソッドを発行してください。

本 OCX では、設定プログラムを使用せずにプリンタの入れ替えを可能にするため、現在接続しているプリンタのシリアル番号をレジストリに書き込み、記録しています。

User 権限でログオンしている場合、レジストリの `HKEY_LOCAL_MACHINE` には書き込みができませんので、書き込みが必要な項目は、`HKEY_CURRENT_USER` にも設けることで対処しています。

`DeviceEnabled` プロパティを `True` にするタイミングでレジストリの書き込みが行われます。

USB インターフェース使用時、設定プログラムで設定したプリンタのシリアル番号は、レジストリの `HKEY_LOCAL_MACHINE` に書き込まれますが、`DeviceEnabled` プロパティを `True` にする際に、これらの中で必要な項目を隨時、`HKEY_CURRENT_USER` にコピーして使用しています。

`HKEY_CURRENT_USER` に設ける項目は、次の通りです。

シリアル／パラレル／LAN インターフェース：“PrinterSerialNo”

USB インターフェース：“Port”、“PrinterSerialNo”

## 5. 1. POS プリンタ(LAN インターフェース用)

1 台目(MC300LANPRT\_192.168.1.1)の設定

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\OLEforRetail\ServiceOPOS  
\$POSPrinter$  
DefaultPOSPrinter="MC300USBPRT"  
\$MC300LANPRT_192.168.1.1 = OPOS.POSPRINTER.SO. NEC.MC300S2DC LAN.1  
Service=" MC3SCLANPOSPrinterSO.dll"  
Version="1.10.1"  
Description=" NEC MC300S2DC 1 Station Thermal POSPrinter"  
IPAddress ="192.168.1.1"  
SendTimeout="30000"  
InvertDrawerStatus="0"  
Smoothing="1"  
RecLineChars="48"  
RecLineCharsList="48,57,72"  
RecLineHeight="24"  
RecLineSpacing="30"  
RecLineWidth="576"  
CapRec2Color="F"  
LogLevel="-1"  
LogFolder=""  
LogFileName=""  
PowerOnNotify ="1"  
BlackMarkEnabled="F"  
CodePage ="101,102,103,437,850,851,852,857,858,860,863,864,865,866,869,932,998,1252,28592,28597"  
DefaultCodePage =" 932"  
DataCompress = "F"  
ErrorRecoveryMode = "1"  
PrintLevel = "100"  
BlackLevel = "100"  
PrintSpeed = "9"  
PowerSave = "S"  
CuterMode = "F"  
BMFeedCut = "E"  
ProcessID = "S"  
PNESense = "E"  
SerialNo = "N"  
BatchPrint = "D"  
Apartment="0"  
PrinterSerialNo=""  
ResetTimeout="15000"  
WritePortCycle="50"
```

```
HKEY_CURRENT_USER\Software\OLEforRetail\ServiceOPOS  
\$POSPrinter$  
\$MC300LANPRT_192.168.1.1  
PrinterSerialNo=""
```

## 2台目(MC300LANPRT\_192.168.1.2)の設定

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\OLEforRetail\ServiceOPOS
\$POSPrinter\$
DefaultPOSPrinter="MC300USBPRT"
\$MC300LAN2PRT_192.168.1.2= OPOS.POSPRINTER.SO. NEC.MC300S2DCLAN.1
Service=" MC3SCLANPOSPrinterSO.dll"
Version="1.10.1"
Description=" NEC MC300S2DC 1 Station Thermal POSPrinter"
IPAddress ="192.168.1.2"
SendTimeout="30000"
InvertDrawerStatus="0"
Smoothing="1"
RecLineChars="48"
RecLineCharsList="48,57,72"
RecLineHeight="24"
RecLineSpacing="30"
RecLineWidth="576"
CapRec2Color="F"
LogLevel="-1"
LogFolder=""
LogFileName=""
PowerOnNotify ="1"
BlackMarkEnabled="F"
CodePage ="101,102,103,437,850,851,852,857,858,860,863,864,865,866,869,932,998,1252,28592,28597"
DefaultCodePage =" 932"
DataCompress = "F"
ErrorRecoveryMode = "1"
PrintLevel = "100"
BlackLevel = "100"
PrintSpeed = "9"
PowerSave = "S"
CutterMode = "F"
BMFeedCut = "E"
ProcessID = "S"
PNESense = "E"
SerialNo = "N"
BatchPrint = "D"
Apartment="0"
PrinterSerialNo=""
ResetTimeout="15000"
WritePortCycle="50"
```

```
HKEY_CURRENT_USER\Software\OLEforRetail\ServiceOPOS
\$POSPrinter\$
\$MC300LANPRT_192.168.1.2
PrinterSerialNo=""
```

## 5. 2. レジストリ項目の説明(POS プリンタ)

値	意味
<b>DefaultPOSPrinter</b>	デフォルトデバイス名(MC300USBPRT)
<b>Service</b>	SO ファイル名
<b>Version</b>	SO バージョン
<b>Description</b>	SO 詳細情報
<b>Port</b>	通信ポート名
<b>Protocol</b>	通信プロトコル（シリアルインターフェースのみ）
<b>IPAddress</b>	POS プリンタ IP アドレス
<b>SendTimeout</b>	送信タイムアウト（ミリ秒単位） POS プリンタにデータを送信中にデータを送れなくなってから、OPOS_E_TIMEOUT(112)が発生するまでのタイムアウト時間。 または、プリンタにデータ送信完了後から印字確認応答取得までのタイムアウト時間。
<b>InvertDrawerStatus</b>	接続ドロワー反転フラグ ドロワーによっては、機材特性により、POS プリンタが開閉状態を逆転して通知してしまう場合があるため、通常は”0”で、反転させるには”1”を設定します。
<b>Smoothing</b>	POS プリンタでスムージングを行うかどうかを示します。 ”1” の場合は、 <b>RecLetterQuality</b> プロパティが <b>TRUE</b> に設定された場合、倍角以上のフォントをスムージング処理します。 ”2” の場合も”1”と同様ですが、”1”に比べてより綺麗にスムージング処理が行われます。 ”0” の場合は、 <b>RecLetterQuality</b> プロパティの値によらず、スムージング処理を実行しません。（”1”がデフォルト値）
<b>RecLineChars</b>	1行に印字する文字です。 <b>RecLineCharsList</b> のうちの1つが設定されます。（デフォルト “48”）
<b>RecLineCharsList</b>	POS プリンタの1行に印字可能な文字数リストです。印字させる条件によって、下記のように設定します。 レシートが 83mm で、印字文字数が1行 53 文字設定の場合 “53,64,80” 。 レシートが 80mm で、印字文字数が1行 48 文字設定の場合 “48,57,72” （デフォルト値）。 レシートが 80mm で、印字文字数が1行 42 文字設定の場合 “42,51,64” 。 レシートが 60mm で、印字文字数が1行 36 文字設定の場合 “36,43,54” 。 レシートが 58mm で、印字文字数が1行 35 文字設定の場合 “35,42,52” 。 レシートが 58mm で、印字文字数が1行 32 文字設定の場合 “32,38,48” 。
<b>RecLineHeight</b>	POS プリンタの1文字のドット単位の高さを示します。（デフォルト値”24”）
<b>RecLineSpacing</b>	POS プリンタの1行あたりのドット単位の印字間隔。 <b>RecLineHeight</b> ～127dot まで設定可能です。（デフォルト値”30”）

値	意味
<b>RecLineWidth</b>	POS プリンタの用紙幅をドット単位で指定します。印字させる条件によって、下記のように設定します。 レシートが 83mm で、印字文字数が 1 行 53 文字設定の場合” 640”。 レシートが 80mm で、印字文字数が 1 行 48 文字設定の場合” 576”（デフォルト値）。 レシートが 80mm で、印字文字数が 1 行 42 文字設定の場合” 512”。 レシートが 60mm で、印字文字数が 1 行 36 文字設定の場合” 436”。 レシートが 58mm で、印字文字数が 1 行 35 文字設定の場合” 420”。 レシートが 58mm で、印字文字数が 1 行 32 文字設定の場合” 384”。
<b>CapRec2Color</b>	2色印字可否。POS プリンタの設定が、2色印字不可となっている場合には、” F” を設定します（デフォルト値）。2色印字可能の場合は、” T” を設定します。
<b>LogLevel</b> <b>LogFolder</b> <b>LogFileName</b>	ログに関する設定は、” 7. ログファイルについて” を参照してください。
<b>PowerOnNotify</b>	POS プリンタの電源 ON 通知設定を保存します（OCX プロパティの PowerNotify プロパティとは関係なく、POS プリンタが電源 ON 時に電文を送信するかどうかの設定です） ” 0” が設定されている場合は無効、” 1” が設定されている場合は有効であることを示します。OCX からはこの値は参照されませんが、プリンタの電源断を検知出来ない場合が有るため” 1” を設定してください。
<b>BlackMarkEnabled</b>	黒マークセンサ搭載有無を設定します。” T” で搭載有り、” F” で搭載無しを選択します。 デフォルトは” F” が設定されています。
<b>CodePage</b>	POSPrinter の CharacterSetList プロパティに設定される値です。
<b>DefaultCodePage</b>	POSPrinter の CharacterSet プロパティに設定される値です。
<b>DataCompress</b>	本項目は未使用です。
<b>ErrorRecoveryMode</b>	エラー復旧方法を設定します。” 0” で、エラー時未送信データを再送信によるエラー復旧、” 1” で、エラー時未送信データは破棄し、コマンドによる復旧となります。 デフォルトは” 1” が設定されています。
<b>PrintLevel</b>	印字濃度を設定します。デフォルトの印字濃度を 100% とした割合を 70~130 まで 5% 単位で指定可能です。
<b>BlackLevel</b>	2色印字時の黒の濃度を設定します。デフォルトの黒濃度を 100% とした割合を 70~130 まで 5% 単位で指定出来ます。
<b>PrintSpeed</b>	印刷速度を設定します。1~9までの数字で設定します。デフォルトは、最大の印刷速度 ”9” が設定されています。
<b>PowerSave</b>	消費電力を低減する設定です。” S” が標準で（デフォルト値）消費電力は低減しません。 ” 1” がモード 1 で、印字濃度の設定を 80% に落とします。 ” 2” がモード 2 で、ストローブの分割数を変更します（印刷速度は低下します）
<b>CutterMode</b>	フルカット仕様の場合のみ有効です。 ” F” に設定すると（デフォルト値）、フルカットコマンドの動作はフルカットと成ります。 ” P” に設定するとフルカットコマンドの動作がパーシャルカットと成ります。

値	意味
<b>BMFeedCut</b>	黒マークセンサ搭載時にのみ有効です。 "E"(有効)に設定すると、黒マーク頭出し時にカット動作を実行します。 "D"(無効)に設定すると、カット動作は実行しません。 デフォルトは "E"(有効) が設定されています。
<b>ProcessID</b>	プロセス ID を設定します。"S" (標準) に設定すると、印字完了でプロセス ID を応答します。"H"(高速)に設定すると、データ受信の完了でプロセス ID を応答します。 デフォルトは"S" (標準) が設定されています。 ※"H"(高速)に設定した場合、連続印字の処理は速くなります、印字中のエラーによる再印字処理やエラー通知が行われないことがあるため、"S" (標準)での使用を推奨します。
<b>PNESense</b>	ペーパーニニアエンド通知を設定します。"E"(有効)に設定すると、通知を行います。"D"(無効)に設定すると、通知は行いません。 デフォルトは"E"(有効)が設定されています。
<b>SerialNo</b>	本項目は未使用です。
<b>ID</b>	ポート共有の為の識別子です。変更しないでください。
<b>BatchPrint</b>	一括印字機能を設定します。"D"(無効)にすると一括機能は無効になります、"E"(有効)にすると一括機能は有効になります。 デフォルトは"D"(無効)が設定されています。
<b>ResetTimeout</b>	USB インターフェースの場合：プリンタヘリセットコマンドを送信してから、USB ドライバがアンロードされるまでのタイムアウト時間、再ロードされるまでのタイムアウト時間を ms 単位で設定します。 LAN インターフェースの場合：プリンタヘリセットコマンドを送信してから、プリンタの電源状態がオフになるまでのタイムアウト時間、プリンタの電源オンを検知するまでのタイムアウト時間を ms 単位で設定します。
<b>PrinterSerialNo</b>	接続されているプリンタのシリアル番号です。
<b>Apartment</b>	2 台以上のプリンタを同時に制御する際の、SxJcp32.dll 初期化・終了方法について設定します。LAN インターフェース利用時のみ使用されます。 "0" に設定した場合、同プロセス空間内で 2 台以上のプリンタを制御できます。ただし、同時に起動させる OCX が、全て同プロセス内から起動されることが保障される必要があります。 "1" に設定した場合、複数プロセスから OCX を起動して、プリンタを制御することが可能になります。ただし、1 つのプロセスで使用する LAN プリンタの台数が、1 台以下であることが保障される必要があります。例えば、Visual Basic で作成した標準 EXE に、OCX を 1 つ貼り付け、作成したプログラムを複数起動して、複数の POS プリンタを制御したい場合に設定します。 デフォルトは"0" が設定されています。
<b>WritePortCycle</b>	LAN インターフェースのデータ送信周期です。 デフォルトは 50mSec 周期です。

## 6. ログファイルについて

MultiCoder 300S2DC POSPrinter OCX コントロールは、レジストリの **LogFolder**, **LogFileName**, **LogLevel** を設定することで、ログファイルを出力します。ログファイル出力時の動作は下記の通りです。

1. 以下の命名規約でログファイルを作成します。

**LogFolder** = " C:\POS\NEC\M300S2DCLAN\Log"  
**LogFileName** = " POSPrinter" と設定してある場合、  
ログファイルは、" C:\POS\NEC\M300S2DC LAN\log\[デバイス名]POSPrinter.log[DD]" で設定された  
場合、ログファイルは実行される POS の日付が 2007 年 6 月 5 日だったならば、  
" C:\POS\NEC\M300S2DCLAN\log\[デバイス名]POSPrinter.log05" というファイル名のログファイル  
が作成されます。

2. もし、1. の命名規約で作成されたファイルがすでに存在し、且つ現在の月とそのファイルの最新更新月が異なっている場合、そのログファイルを削除します。そうでない場合は、新規作成・または追加書込みとなります。
3. 結果として、最新 1 ヶ月のログファイルが POS(PC) 上にプールされることになります。また、ログファイル単体のファイルサイズ上限はありません。詳細ログを出力している場合、POS(PC) のディスクスペースを圧迫するケースも考えられるので、注意してご使用ください。
4. **LogLevel** の設定によって下記ログファイルを出力します。

**LogLevel** = -1 : ログ出力なし  
**LogLevel** = 0 : 通常トレースログ・警告・エラーログ出力  
**LogLevel** = 1 : エラーログのみ出力

※ドロワーOCX コントロールはログファイルを出力しません。

・ログファイルの見方について

LogLevel = 0 設定時

出力例：

```

20070615:165025:Inf:Default:Result : ResultCode is 0
20070615:165025:Inf:Default:Exit   : CPOSPrinter::PrintNormal
20070615:165025:Inf:Default:Prop Get: ResultCode is 0
20070615:165025:Inf:Default:Prop Get: State is 2
20070615:165025:Inf:Default:Prop Get: ResultCodeExtended is 0
20070615:165025:Inf:Default:Enter  : CPOSPrinter::PrintNormal
20070615:165025:Inf:Default:Enter  : Param: Station is 2, Data is 123
20070615:165025:Inf:Default:SendData
20070615:165025:Inf:Default:DoSendThreadSerial
    Addr : +0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8 +9 +A +B +C +D +E +F
    -----
    0000 : 1B 61 00 31 32 33 34 35 36 37 38 39 41 42 43 44      a
    0010 : 45 46 47 0A                                         EFG

```

```

20070615:165025:Inf:Default:Result : ResultCode is 0
20070615:165025:Inf:Default:Exit   : CPOSPrinter::PrintNormal
20070615:165025:Inf:Default:Prop Get: ResultCode is 0
20070615:165025:Inf:Default:Prop Get: State is 2
20070615:165025:Inf:Default:Prop Get: ResultCodeExtended is 0
20070615:165025:Inf:Default:Enter  : CPOSPrinter::PrintNormal
20070615:165025:Inf:Default:Enter  : Param: Station is 2, Data is 123
20070615:165025:Inf:Default:SendData
20070615:165025:Inf:Default:DoSendThreadSerial
    Addr : +0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8 +9 +A +B +C +D +E +F
    -----
    0000 : 1B 61 00 31 32 33 34 35 36 37 38 39 41 42 43 44      a
    0010 : 45 46 47 0A                                         EFG

```

ログの出力時間を示します。

ログ中の “Enter” はある関数に入ったことを示し、Exit は関数から出たことを示します。また、Param は設定パラメータ、ResultCode は結果となります。OCX のメソッドが実行された場合は、先頭に OCX Method が表示されます。

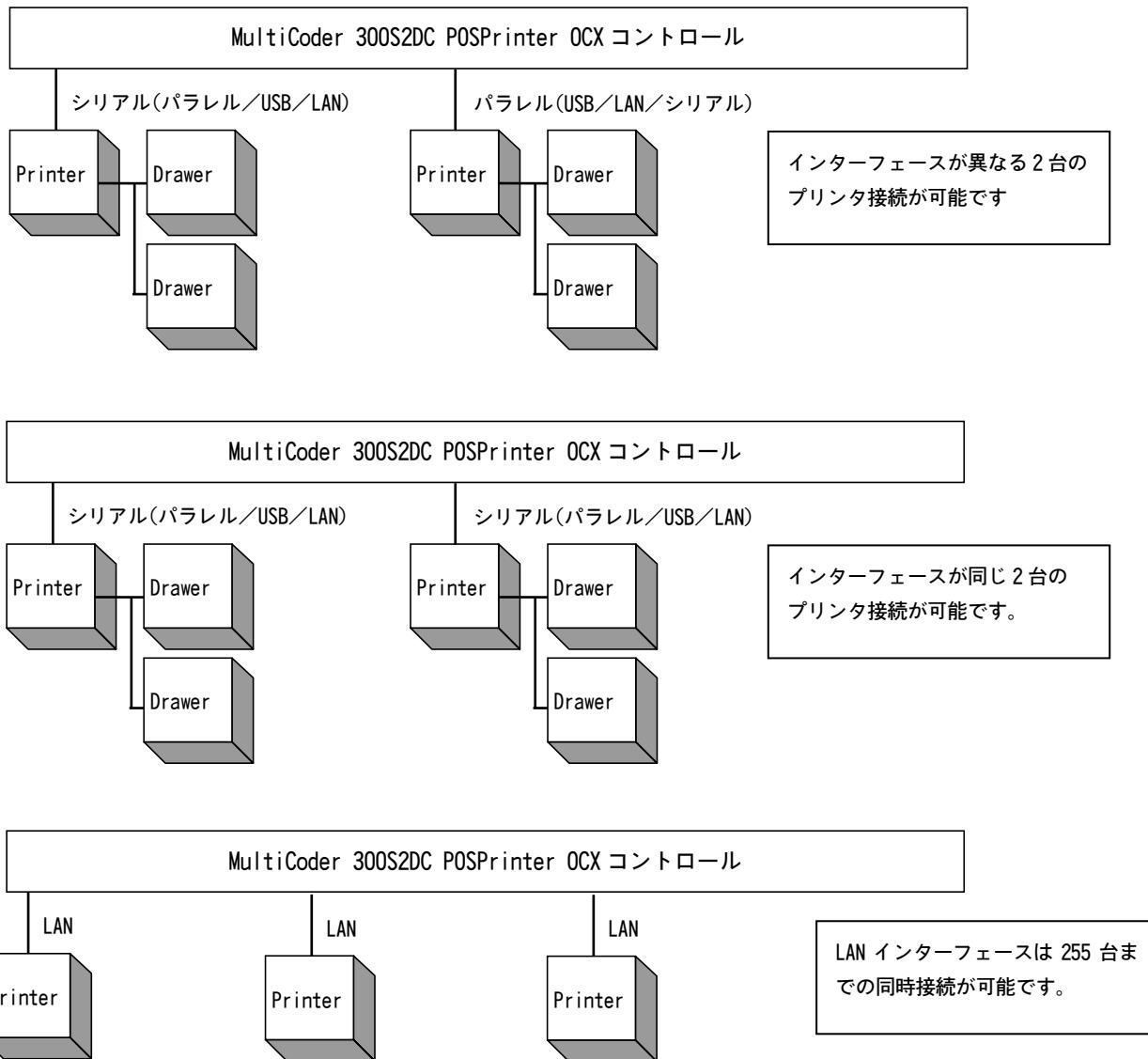
Inf は一般的な情報ログ、Err はエラーを示します。

Prop Get, Prop Set は OCX のプロパティから値を取得、設定したことを示します。

電文のやりとりを示します。受信・送信データはバイナリダンプされます。

## 7. プリンタ複数台の使用について

MultiCoder 300S2DC POSPrinter OCX コントロールは、プリンタ複数台の同時使用が可能となっています。シリアル・パラレル・USB は最大 2 台、LAN は最大 255 台まで同時使用可能です。



## 8. プリンタの入れ替え

プリンタの入れ替えは、アプリケーション終了後、新しいプリンタを接続し、アプリケーションを再起動するだけで完了します。(Close メソッド発行後、Open メソッド、ClaimDevice メソッドを発行し、DeviceEnabled プロパティ=True にする)  
設定プログラムを使用する必要はありません。

※MC300USBPRT に接続していたプリンタを MC300USB2PRT に置き換えることはできません。この反対もできません。これは、USB に 2 台接続している際に、誤ってプリンタの入れ替えが起こらないようにするためにです。

入れ替えを行いたい場合は、1 台ずつ接続し、設定プログラムで設定を行ってください。

